

Panasonic®

取扱説明書 活用ガイド デジタルカメラ

品番 DC-TZ99



困ったときは？ メッセージ表示	P.225
Q&A 故障かな？ と思ったら	P.227

知りたいことの探し方	P.2
目次	P.4
機能別目次	P.8
各部の名前と働き	P.11
メニュー一覧	P.139
さくいん	P.240

LUMIX

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(付属冊子「取扱説明書」)を必ずお読みください。

最新のサポート情報は、下記サポートサイトで確認ください。

<https://panasonic.jp/support/dsc/>

DVQP3281ZA
M0125K20

本書では、知りたいことを以下のページから探すことができます。
参照ページをクリックすると、該当ページへ移動しますので、知りたいことを素早く探
せます。

目次 → P.4 ~

機能別目次 → P.8 ~

各部の名前と働き → P.11 ~

モニターの表示一覧 → P.221 ~

メッセージ表示 → P.225 ~

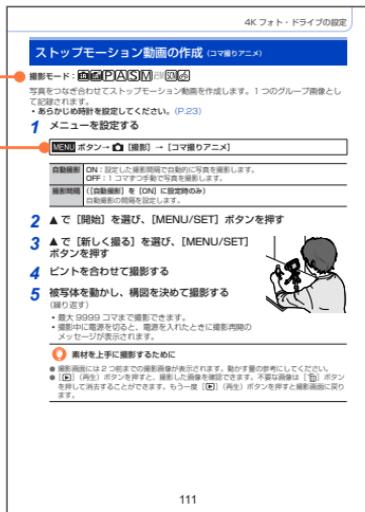
メニュー一覧 → P.139 ~

Q&A 故障かな？と
思ったら → P.227 ~

さくいん → P.240 ~

撮影モード表示

- アイコンが黒く表示されている撮影モードでは、記載されているメニューや機能を選択 / 実行できません。
- **C1** / **C2** (カスタムモード) は登録した撮影モードによって使える機能が変わります。



本文中の記号

MENU [MENU/SET] ボタンを押してメニューの設定をすることを示しています。

Wi-Fi [Wi-Fi] ボタンを押して Wi-Fi の設定をすることを示しています。

 上手に使うためのヒントや撮影のポイントを記載しています。

(P.00) 参照ページを示しています。クリックするとそのページに移動します。

メニュー設定の手順を次のように説明しています。

例) [撮影] メニューで、[クオリティ] を  に設定する

MENU ボタン →  [撮影] → [クオリティ] → 

- カーソルボタンの上下左右を  で表します。
- ダイヤル、レバーの操作を次のように表します。

コントロールダイヤルを回す	
ズームレバーを回す	



- 本書では、バッテリーパックを「バッテリー」と表記します。
- 本書では、メモリーカードを「カード」と表記します。
- 本書で説明する製品の外観と仕様は、実際とは異なる場合があります。
- 本書の画像やイラストは、機能や効果を説明するためのイメージです。

■ 知りたいことの探し方	2	■ 機能別目次.....	8
■ 本書の見方.....	3		

はじめに

■ ご使用の前に.....	10	■ 各部の名前と働き	11
---------------	----	------------------	----

準備

■ ハンドストラップを付ける	13	■ カードについて	20
■ バッテリーを充電する	14	カードをフォーマット（初期化）する.....	21
バッテリーを入れる.....	15	記録可能枚数・時間の目安	21
充電する.....	16	■ 時計を合わせる.....	23
■ カード（別売）を 入れる・取り出す	19		

基本操作

■ カメラの構え方.....	24	■ メニューを使って設定する	36
■ モニターの角度を調整する	25	■ よく使うメニューをすぐに呼び出す （クイックメニュー）	38
■ 基本の操作.....	26	■ よく使う機能をボタンに割り当てる （ファンクションボタン）	39
ズームレバー（ズームを使う）.....	26	撮影時にファンクションボタンを使う.....	39
ズームバックボタン （ズームバック機能を使う）.....	27	再生時にファンクションボタンを使う.....	41
シャッターボタン（写真を撮る）.....	28	■ コントロールリング / コントロールダイヤルの設定を 変更する	42
動画ボタン（動画を撮る）.....	29	■ 文字を入力する.....	43
モードダイヤル（撮影モードを選ぶ）.....	29		
コントロールリング / コントロールダイヤル.....	30		
カーソルボタン / [MENU/SET] ボタン （項目を選択 / 決定する）.....	31		
[DISP.] ボタン （画面の表示情報を切り換える）	31		
タッチパネル（タッチ操作）.....	33		
タッチ機能を使って撮る.....	34		

撮影モード

■ カメラにおまかせで撮る (インテリジェントオートモード).....	44
インテリジェントオートメニュー.....	46
色合いを設定する.....	47
明るさ(露出)・背景のポケ具合 (ポケ味コントロール)を設定する.....	48
■ 自分撮りをする(自分撮りモード)...	49
4K フォトモードで自分撮りをする (4K セルフィー).....	52
■ 絞り値とシャッタースピードを 自動で設定して撮る (プログラム AE モード).....	54
■ 絞り値 / シャッタースピードを 決めて撮る.....	55
絞り値を決めて撮る (絞り優先 AE モード).....	55
シャッタースピードを決めて撮る (シャッター優先 AE モード).....	55
絞り値とシャッタースピードを決めて 撮る(マニュアル露出モード).....	56
絞り効果 / シャッタースピード効果を 確認する(プレビューモード).....	57
絞り値 / シャッタースピードを 簡単に適正露出に合わせる (ワンプッシュ AE).....	58
■ 撮影シーンに合わせて撮る (シーンガイドモード).....	59
■ 画像効果を変えて撮る (クリエイティブコントロールモード)...	62
■ 絞り / シャッタースピード / ISO 感度を決めて動画を撮る (クリエイティブ動画モード).....	67
スローモーション動画を撮影する (ハイスピード動画).....	68
カメラを固定したまま パン / スーム動画を撮る (4K ライブクロープ).....	69
■ お好みの設定を登録して撮る (カスタムモード).....	71
お好みのメニュー設定を登録する (カスタムセット登録).....	71
登録したカスタムセットで撮る.....	71

ピント・明るさ(露出)・色合いの設定

■ 自動でピントを合わせる (オートフォーカス).....	72
フォーカスモードを設定する (AFS、AFF、AFC).....	73
オートフォーカスモードを切り換える.....	74
AF エリアの位置や大きさを変更する.....	80
タッチした位置にピントと明るさを 合わせる.....	82
■ 近づいて撮る(マクロ撮影).....	83
■ 手動でピントを合わせる (マニュアルフォーカス).....	84
■ ピントや露出を固定して撮る (AF/AE ロック).....	86
■ 露出を補正して撮る.....	87
■ ISO 感度を設定する.....	88
■ ホワイトバランスを調整する.....	89

4K フォト・ドライブの設定

- ドライブモードを選ぶ 92
- 連写する 93
- 4K フォトで撮影して、
写真を選んで保存する 95
 - 4K フォトで撮る 95
 - 4K 連写ファイルから写真を選び保存する...97
 - 4K フォトのお知らせ 101
- 撮影後にピントを操作する
(フォーカスセレクト/フォーカス合成)... 104
 - フォーカスセレクト撮影をする 104
 - ピントを合わせる位置を選び、写真を
保存する (フォーカスセレクト) 105
 - ピントが合う範囲を選び、1 枚の写真に
合成する (フォーカス合成) 106
 - フォーカスセレクト/
フォーカス合成のお知らせ 107
- セルフタイマーで撮る 108
- 一定の間隔で自動的に撮影する
(インターバル撮影) 109
- ストップモーション動画の作成
(コマ撮りアニメ) 111
- 設定を自動的に変えながら撮る
(ブラケット撮影) 113
 - 露出ブラケット 114

手ブレ補正・ズーム・フラッシュ

- 手ブレを補正する 115
- ズームを使って撮る 117
 - ズームの種類と用途 117
 - タッチ操作でズームを使う (タッチズーム)... 120
- フラッシュを使って撮る 121
 - フラッシュモードを切り換える 121
 - フラッシュの発光量を調整する 124

動画を撮影する

- 動画を撮る 125
 - サイズ、記録フレームレートを
設定する 127
 - 動画撮影時のピントの合わせ方
(AF 連続動作) 128
- 動画撮影中に写真を撮影する 129
- スナップムービーを撮る 130

再生・編集

- 写真を見る 132
- 動画を見る 133
 - 動画から写真を切り出す 134
- 再生方法を切り換える 135
 - 拡大して見る (再生ズーム) 135
 - 画像を一覧で見る (マルチ再生) 135
 - 画像を撮影日ごとに見る
(カレンダー再生) 136
- グループ画像を見る 137
- 写真や動画を消す (消去) 138

メニュー機能を使う

- メニュー一覧 139
 - [撮影] 140
 - [動画] 150
 - [カスタム] 152
- [セットアップ] 165
- [マイメニュー] 174
- [再生] 175

Wi-Fi/Bluetooth

- Wi-Fi®/Bluetooth® 機能で
できること..... 189
- Wi-Fi/Bluetooth 機能について..... 190
- スマートフォンと接続する 192
 - スマートフォン / タブレットアプリ
「Panasonic Image App」を
インストールする 192
 - Bluetooth low energy 対応の
スマートフォンと接続する 193
 - Bluetooth low energy に対応して
いないスマートフォンと接続する 195
- スマートフォンとつないで使う 197
 - スマートフォンで、
カメラの電源を操作する 197
 - スマートフォンで、
カメラのシャッターボタンを操作する
(リモート撮影) 198
 - カメラの画像を再生 / 保存する 200
 - 撮影した画像をスマートフォンに
自動転送する 201
 - 撮影する画像にスマートフォンの
位置情報を記録する 202
 - カメラの時刻をスマートフォンに
合わせる 202
 - スナップムービーで撮影した動画を
スマートフォンでお好みに結合する 203
- スマートフォンに画像を送る 204
- Wi-Fi 接続について 208
 - 以前と同じ設定で素早く接続する
([履歴から接続する] /
[お気に入りから接続する]) 208
- [Wi-Fi 設定] 210

他の機器との接続

- 4K 動画を楽しむ 211
 - 4K 動画を見る 211
 - 4K 動画を残す 211
- テレビで見る 212
 - ビエラリンク (HDMI)
(HDAVI Control™) を使う 213
- 写真や動画をパソコンに残す 214
 - ソフトウェアをダウンロードする 214
 - 写真、動画を取り込む 216
- 写真や動画をレコーダーに残す 218

その他 Q&A

- 別売品を使う 219
 - トライポッドグリップ (別売) 219
- 海外旅行先で使う 220
- モニターの表示一覧 221
- メッセージ表示 225
- Q&A 故障かな?と思ったら 227
- 使用上のお願いとお知らせ 233
- さくいん 240



撮影

撮影

ズームバック	P.27
撮影モード	P.29
自分撮り	P.49
プレビュー	P.57
マクロ撮影	P.83
インターバル撮影	P.109
コマ撮りアニメ	P.111
ブラケット撮影	P.113
サイレントモード	P.147

4K フォト

4K フォト	P.95
フォーカスセレクト撮影	P.104

ピント (AF/MF)

オートフォーカス	P.72
フォーカスモード	P.73、84
オートフォーカスモード	P.74
AF エリアの位置移動	P.80
マニュアルフォーカス	P.84
AF/AE ロック	P.86

ドライブ

ドライブモード	P.92
連写	P.93
セルフタイマー	P.108

露出

タッチ AE	P.35
ワンプッシュ AE	P.58
AF/AE ロック	P.86
露出補正	P.87
ISO 感度	P.88
露出ブラケット	P.114
測光モード	P.145

画質・色合い

ホワイトバランス	P.89
記録画素数	P.141
クオリティ	P.141
フォトスタイル	P.142
フィルター設定	P.144
iD レンジコントロール	P.146
超解像	P.146
回折補正	P.147
HDR	P.149

フラッシュ

フラッシュモード	P.121
フラッシュ光量調整	P.124



動画

動画

クリエイティブ動画モード	P.67
ハイスピード動画	P.68
4K ライブクローズアップ	P.69
画質設定	P.127
動画撮影中の写真撮影	P.129
スナップムービー	P.130
動画の縦位置情報	P.161

音声

風音キャンセラー	P.151
----------	-------

画面設定

モノクロライブビュー	P.157
センターマーカー表示	P.158
ゼブラパターン表示	P.159



セットアップ / カスタム

基本設定

フォーマット	P.21
時計設定	P.23
クイックメニュー	P.38
電子音	P.168
エコモード	P.169
リセット (初期化)	P.173

カスタマイズ

ファンクションボタン	P.39
カスタムモード	P.71
カスタムメニュー	P.152



再生

再生

写真の再生	P.132
動画の再生	P.133
再生ズーム	P.135
マルチ再生	P.135
消去	P.138
オートレビュー	P.157
スライドショー	P.176
画像回転 / 縦位置自動回転	P.186、188

編集

フォーカスセレクト	P.105
フォーカス合成	P.106
タイトル入力	P.178
RAW 現像	P.179
4K フォト一括保存	P.181
比較明合成	P.181
軌跡合成	P.182
クリアレタッチ	P.183
文字焼き込み	P.184
リサイズ	P.185
トリミング	P.186

画像設定

プロテクト	P.177
レーティング	P.177



Wi-Fi/Bluetooth

Image App

Image App	P.192
リモート起動	P.197
リモート撮影	P.198
自動画像転送	P.201



他機器接続

パソコン

パソコンに画像を取り込む	P.214
PHOTOfunSTUDIO	P.214
SILKYPIX	P.215

テレビ

テレビで見る	P.212
ピエラリンク	P.213

レコーダー

ダビング	P.218
------------	-------

ご使用の前に

■本機の取り扱いについて

本機に、強い振動や衝撃、圧力をかけないでください。

- 下記のような状態で使用すると、レンズやモニター、外装ケースが破壊される可能性があります。また、誤動作や、画像が記録できなくなることもあります。
 - ・ 本機を落とす、またはぶつける
 - ・ 本機をズボンのポケットに入れたまま座る、またはいっぱいになったかばんなどに無理に入れる
 - ・ 本機に取り付けたストラップに、アクセサリなどをぶら下げる
 - ・ レンズ部やモニターを強く押さえつける
- かばん内やポケット内で気付かないうちに電源ボタンが押されると、電源がオンになり鏡筒が繰り出します。鏡筒に圧力を加えると故障の原因になるため、意図せず電源がオンになることを低減したいときは、セットアップメニューの「電源ボタン（起動時）」を「長押し」に設定することをお勧めします。（P.169）

本機は、防じん・防滴・防水仕様ではありません。

ほこり・水・砂などの多い場所でのご使用を避けてください。

- 下記のような場所で使用すると、レンズやボタンの隙間から液体や砂、異物などが入ります。故障などの原因になるだけでなく、修理できなくなることがありますので、特にお気をつけください。
 - ・ 砂やほこりの多いところ
 - ・ 雨の日や浜辺など水がかかるところ

モニターに砂やほこり、水滴などの液体が付いた場合は、乾いた柔らかい布でふき取ってください。

- タッチ操作が誤認識される場合があります。

■露付きについて（レンズやモニターが曇るとき）

- 露付きは、温度差や湿度差があると起こります。レンズやモニターの汚れ、かび、故障の発生原因になりますのでお気をつけください。
- 露付きが起こった場合、電源を切り、2時間ほどそのままにしてください。周囲の温度になじむと、曇りが自然に取れます。

■事前に必ず試し撮りをしてください

大切な撮影（結婚式など）は、必ず事前に試し撮りをし、正常に撮影や録音されていることを確かめてください。

■撮影内容の補償はできません

本機およびカードの不具合で撮影や録音されなかった場合の内容の補償についてはご容赦ください。

■著作権にお気をつけください

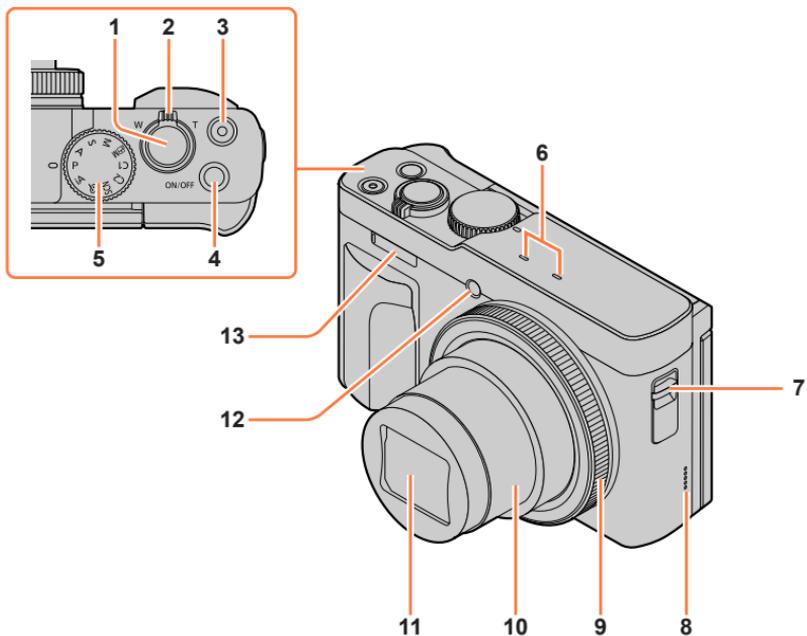
あなたが撮影や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上権利者に無断では使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

■「使用上のお願いとお知らせ」も、併せてお読みください（P.233）

■付属冊子「取扱説明書」に記載の付属品をご確認ください

別売品については本書の [219 ページ](#) および付属冊子「取扱説明書」をご確認ください。

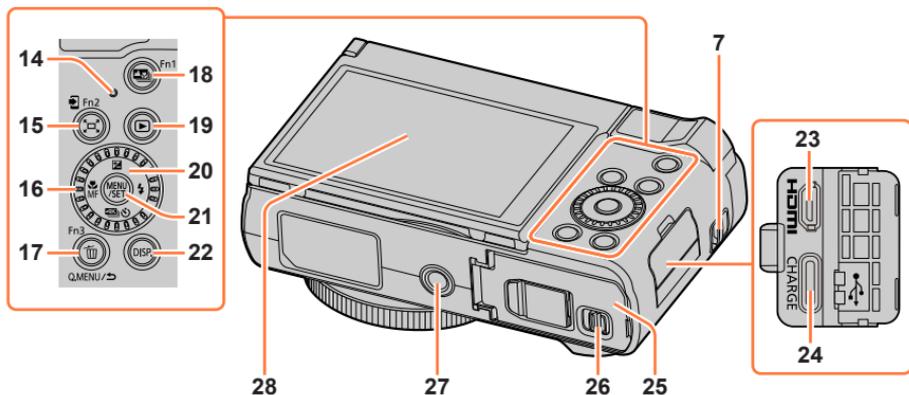
各部の名前と働き



- | | |
|---|--|
| 1 | シャッターボタン (P.28) |
| 2 | ズームレバー (P.26、117、156) |
| 3 | 動画ボタン (P.29、125) |
| 4 | 電源ボタン (P.23) |
| 5 | モードダイヤル (P.29) |
| 6 | ステレオマイク (P.24、151)
指などで塞がないようにしてください。
音が記録されにくくなります。 |

- | | |
|----|--|
| 7 | ストラップ取り付け部 (P.13) |
| 8 | スピーカー (P.24、168) |
| 9 | コントロールリング (P.30、42) |
| 10 | レンズ鏡筒 |
| 11 | レンズ部 |
| 12 | セルフタイマーランプ (P.108) /
AF 補助光ランプ (P.24、154) |
| 13 | フラッシュ発光部 (P.24、121) |

各部の名前と働き

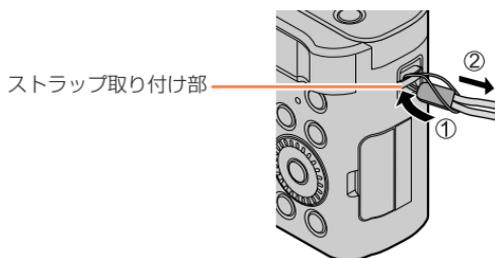


- | | | | |
|----|--|----|---|
| 7 | ストラップ取り付け部 (P.13) | 21 | [MENU/SET] ボタン (P.31、36) |
| 14 | 充電ランプ (P.17) /
ワイヤレス WIRELESS 接続ランプ (P.168、190) | 22 | [DISP.] ボタン (P.31) |
| 15 | [◀] (ズームバック) ボタン (P.27) /
[📲] (スマートフォン転送) ボタン (P.207) /
ファンクション [Fn2] ボタン (P.39) | 23 | [HDMI] 端子 (P.212) |
| 16 | コントロールダイヤル (P.30、42) | 24 | [USB/CHARGE] 端子 (P.16、216) |
| 17 | [🗑️] (消去) ボタン (P.138) /
ワイヤレスメニュー [Q.MENU] ボタン / (P.38)
[↶] (戻る) ボタン (P.37) /
ファンクション [Fn3] ボタン (P.39) | 25 | カード / バッテリー扉 (P.15、19) |
| 18 | [🔍] (フォーカスセレクト) ボタン (P.104) /
ファンクション [Fn1] ボタン (P.39) | 26 | 開閉レバー (P.15、19) |
| 19 | [▶] (再生) ボタン (P.132) | 27 | 三脚取り付け部 (P.236)
ねじの長さが 5.5 mm 以上の三脚を取り付けると、本機を三脚にしっかり固定できない場合や、本機を傷つける場合があります。 |
| 20 | カーソルボタン (P.31)
[📷] (露出補正) (▲) (P.87)
[🔦] (フラッシュ) (▶) (P.121)
[📷] (ドライブモード) (▼) (P.92)
[MF] (フォーカスモード) (◀) (P.72、83、84) | 28 | タッチパネル (P.33) / モニター (P.221) |

ファンクションボタン [Fn4] ~ [Fn8] は、タッチアイコンです。
撮影画面の [Fn] タブをタッチすると表示されます。

ハンドストラップを付ける

落下防止のため、必ずハンドストラップを取り付け、手首に通してご使用ください。



バッテリーを充電する

AC アダプターと USB 接続ケーブルを使用して充電してください。

- 充電には付属の AC アダプターまたは別売の AC アダプター (DMW-AC11) を推奨します。
- お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。充電してからお使いください。
- 本機にバッテリーを入れた状態で充電してください。

本機の状態	充電
電源オフ	できます
電源オン	できません

- バッテリーチャージャー (別売 : DMW-BTC12) でも充電できます。
- 本機は市販の AC アダプターや USB 接続ケーブルで充電できます。
 - 市販品の AC アダプターの推奨仕様
 - DC 5 V / 3 A (15 W) 出力対応
 - USB Type-C 端子
 - 充電には 15 W 出力以上の USB 接続ケーブルをお使いください。
- 充電には 5 V / 500 mA 以上の AC アダプターも使用できます。ただし、推奨の AC アダプターより充電時間が長くなる場合があります。
- 市販されているすべての機器との動作を保証するものではありません。

本機で使えるバッテリー (2024 年 12 月現在)

本機で使えるバッテリーは DMW-BLG10 です。

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、弊社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をお勧めいたします。

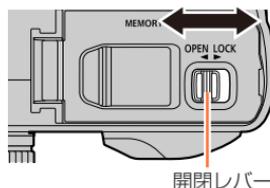
なお、弊社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

バッテリーを入れる

充電するために、バッテリーを本機に入れます。

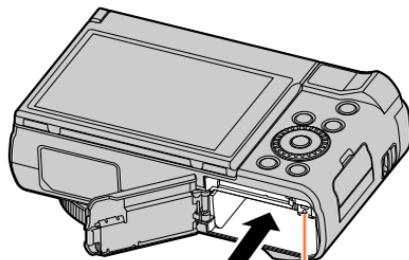
- 1 開閉レバーを [OPEN] 側にスライドし、カード/バッテリー扉を開ける

[OPEN] (開く) [LOCK] (閉じる)



開閉レバー

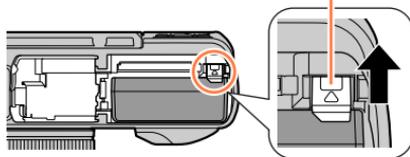
- 2 バッテリーを奥まで入れる
 - バッテリーを奥まで確実に挿入し、バッテリーにレバーがかかっていることを確認する。
- 3 カード/バッテリー扉を閉め、開閉レバーを [LOCK] 側にスライドする



バッテリーの向きを確認する

取り出す

レバーを矢印方向へ引く。



- バッテリーの取り出しは、電源を切り、画面の LUMIX 表示が消えてから行ってください。(本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります)
- 使用後は、バッテリーを取り出してください。

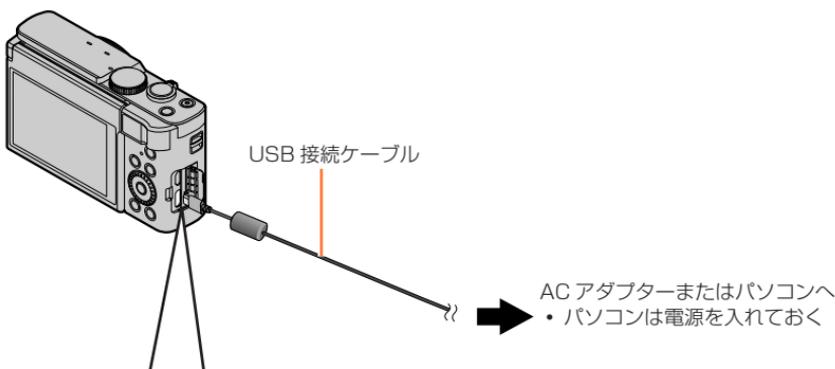
バッテリーを充電する

充電する

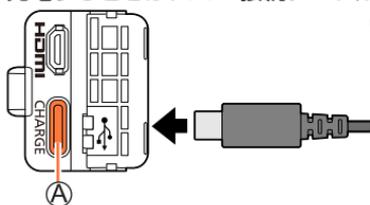
充電は周囲の温度が 10℃～30℃（バッテリーの温度も同様）のところで行うことをお勧めします。

本機にバッテリーを入れてください。
電源が切れていることを確認してください。

電源コンセントまたは、パソコンを使用して充電します。



充電するときは、USB 接続ケーブルを [USB/CHARGE] 端子に接続してください。

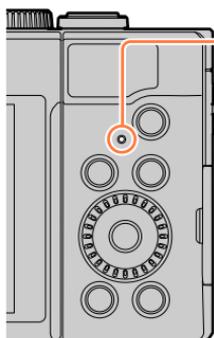


- ① : [USB/CHARGE] 端子
 - ・ 下側にある端子です。
- ・ 端子の向きを確認し、まっすぐ入れる。
（斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります）
- また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。

- 充電中にパソコンが休止状態になると、充電が中止されることがあります。
- 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合は、ノートパソコンの電池が消耗していきます。そのまま長時間放置しないでください。
- 必ずパソコン本体の USB 端子に接続してください。モニターやキーボード、プリンターの USB 端子や USB ハブには接続しないでください。

バッテリーを充電する

充電ランプ表示



充電ランプ (赤色)

点灯	充電中
消灯	充電終了 (電源コンセントまたはパソコンとの接続を解除してください)
点滅	充電エラー (対処方法: 227 ページ)

充電時間

AC アダプター (付属) 使用時	約 190 分
AC アダプター (別売: DMW-AC11) 使用時	約 190 分

- 充電時間はバッテリーを使い切ってから充電した場合の時間です。バッテリーの使用状況によって充電時間は変わります。高温 / 低温時や長時間使用していないバッテリーは充電時間が長くなります。
- パソコンからの充電時間は、パソコンの給電能力によって異なります。

- 電源プラグの接点部周辺に金属類 (クリップなど) を放置しないでください。ショートや発熱による火災や感電の原因になります。
- USB 延長ケーブルや、USB 変換アダプターは使用しないでください。
- AC アダプター (付属) と USB 接続ケーブル (付属) は本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- AC アダプター (付属) は海外でも使うことができます。(P.220)
- 使用後は、バッテリーを取り出してください。(長時間放置すると、バッテリーは消耗します)
- 使用後や充電中、充電直後などはバッテリーが温かくなっています。また使用中は本機も温かくなりますが、異常ではありません。
- バッテリー残量が残っていても、そのまま充電できますが、満充電での頻繁な継ぎ足し充電はお勧めできません。(バッテリーが膨らむ特性があります)
- 停電時など電源コンセントに異常が発生した場合は、充電が正常に終了しないことがあります。USB 接続ケーブルを抜き、接続し直してください。

バッテリーを充電する

バッテリー残量の表示



バッテリー残量表示 (バッテリー使用時のみ)

 (赤点滅)

赤点滅したら、バッテリーを充電または満充電されたバッテリーと交換してください。

- 充電が完了してもバッテリー残量表示が  にならない場合は、バッテリーが劣化している可能性があります。
該当バッテリーのご使用はお控えください。

撮影可能枚数や使用時間の目安

写真の撮影可能枚数は、CIPA (カメラ映像機器工業会) 規格による。
当社製 SDHC メモリーカード使用、付属バッテリー使用。

■ 写真撮影

撮影可能枚数	約 380 枚
撮影使用時間	約 190 分

■ 動画撮影

画質設定	[FHD/28M/60p]	[4K/100M/30p]
撮影可能時間	約 100 分	約 90 分
実撮影可能時間*	約 50 分	約 45 分

* 電源の入り切り、撮影の開始と終了などを繰り返したときに撮影できる時間です。

■ 再生

再生使用時間	約 270 分
--------	---------

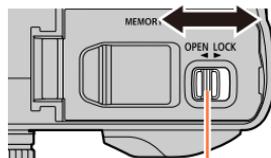
- 使用時間と撮影可能枚数は、周囲環境や使用条件によって変わります。
例えば、次の場合、使用時間は少なくなり、撮影可能枚数は減少します。
 - ・ スキー場などの低温下
 - ・ フラッシュ発光やズームなどの動作を繰り返したとき
- 著しく使用できる時間が短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

カード（別売）を入れる・取り出す

・電源が切れていることを確認してください。

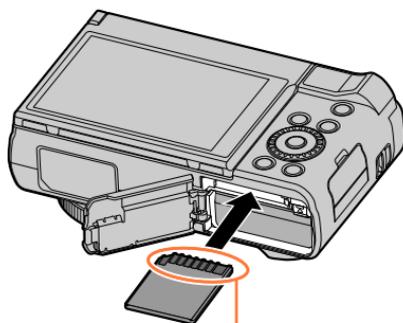
- 1 開閉レバーを [OPEN] 側にスライドし、カード/バッテリー扉を開ける

[OPEN] (開く) [LOCK] (閉じる)



開閉レバー

- 2 カードを奥まで入れる
 - ・カードの向きを確認する。
 - ・「カチッ」と音がするまで押し込む。
- 3 カード/バッテリー扉を閉め、開閉レバーを [LOCK] 側にスライドする



端子部には触れない

■取り出す

カードの中央を押す



押す ① 引き抜く ②

- カードの取り出しは、電源を切り、画面の LUMIX 表示が消えてから行ってください。（本機が正常に動作しなくなったり、カードや撮影内容が壊れる場合があります）

カードについて

SD 規格に準拠した次のカードが使用できます。

- 本書では、SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードの総称をカードと表記します。

SD メモリーカード/
SDHC メモリーカード/
SDXC メモリーカード
(最大 512 GB)

本機は UHS-I UHS Speed Class 3 規格の
SDHC / SDXC メモリーカードに対応しています。

■ 動画撮影や 4K フォトの撮影とスピードクラス

以下の SD スピードクラスや UHS スピードクラスに対応したカードをお使いください。

- SD スピードクラスや UHS スピードクラスとは、連続的な書き込みに関する速度規格です。カードのラベル面などでご確認ください。

【画質設定】	スピードクラス	表示の例
FHD/HD	Class 4 以上	CLASS 4 ④
4K/ハイスピード動画	UHS Speed Class 3	U3
4K フォト/フォーカスセレクト撮影時	UHS Speed Class 3	U3

カードアクセス中は…

カードに画像を記録しているときは、アクセス表示が赤く表示されます。



- アクセス中は、以下の操作をしないでください。カメラが正常に動作しなくなったり、カードや撮影データが壊れたりするおそれがあります。
 - 電源を切る
 - バッテリーやカードを抜く
 - カメラに振動や衝撃、静電気を与える
- 書き込み禁止スイッチを [LOCK] 側になると、データの書き込みや消去、フォーマット、撮影日時順での表示などができなくなる場合があります。
- 大切な画像はパソコンなどへの保存をお勧めします。
(電磁波や静電気、故障などにより壊れたり消えることがあります)



書き込み禁止スイッチ

カードをフォーマット（初期化）する

本機で撮影する前に、カードをフォーマットします。
フォーマットするとデータを元に戻すことができませんので、必要なデータを保存してからフォーマットしてください。

MENU ボタン →  **[セットアップ]** → **[フォーマット]**

- フォーマット中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- フォーマット中は、電源を切ったり、他の操作をしないでください。
- フォーマットは、必ず本機で行ってください。パソコンやその他の機器でフォーマットした場合、もう一度本機でフォーマットしてください。

記録可能枚数・時間の目安

記録可能枚数・時間はカードの容量と比例して増減します。（撮影条件、カードの種類により変化します）

記録可能枚数（写真：枚）

画像横縦比 [4:3]、クオリティ [] の場合

記録画素数	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
L (20M)	1450	2910	5810	11510
EX M (10M)	2630	5280	10510	20810
EX S (5M)	4600	9220	17640	34940

画像横縦比 [4:3]、クオリティ [**RAW** ] の場合

記録画素数	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
L (20M)	450	900	1810	3590
EX M (10M)	520	1050	2110	4180
EX S (5M)	570	1150	2290	4550

- 記録可能枚数が 9999 枚を超える場合は、[9999+] と表示されます。

記録可能時間（動画撮影時）（h：時間、m：分、s：秒）

- 記録可能時間は複数の動画を記録したときの合計時間です。

画質設定	16 GB	32 GB	64 GB	128 GB
4K/100M/30p	20m00s	41m00s	1h25m	2h45m
FHD/28M/60p	1h10m	2h25m	5h00m	9h55m
FHD/20M/30p	1h35m	3h15m	6h40m	13h15m
HD/10M/30p	3h05m	6h20m	12h45m	25h20m

- [画質設定] のサイズが [FHD]、[HD] の MP4 動画の場合：
ファイルサイズが 4 GB を超える場合は、ファイルは分かれて保存・再生されます。（撮影は一時中断することなく続けることができます）
[画質設定] が [FHD/28M/60p] の場合は、連続記録時間が 29 分 59 秒を超えると記録を停止します。
- [画質設定] のサイズが [4K] の MP4 動画の場合：
連続記録時間が 15 分を超えると記録を停止します。
SDHC メモリーカード使用時は、ファイルサイズが 4 GB を超える場合は、ファイルは分かれて保存・再生されます。（撮影は一時中断することなく続けることができます）
SDXC メモリーカードを使用すると、ファイルサイズが 4 GB を超えても 1 つのファイルとして記録できます。
- 画面には、連続して記録できる時間が表示されます。

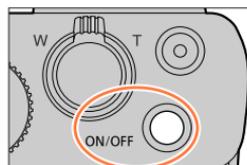
時計を合わせる

お買い上げ時は日時が設定されていません。

1 電源ボタンを押す

- お買い上げ時、電源を入れると
「時計を設定してください」と表示されます。

2 [MENU/SET] ボタンを押す



🏠 : ホームの時間
📍 : 旅行先の時間

3 ◀▶ で合わせたい項目（年・月・日・時・分）を選び、▲▼ で設定する



■表示順・時刻表示形式を設定する

「表示形式」を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと、表示順・時刻表示形式の設定画面が表示されます。

4 [MENU/SET] ボタンを押す

5 「時計を設定しました」と表示されたら、[MENU/SET] ボタンを押す

6 「ホームエリアを設定してください」と表示されたら、[MENU/SET] ボタンを押す



表示順 時刻表示形式

7 ◀▶ でお住まいの地域を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- タイムゾーンは国や地域によって改正される場合があるため、画面に表示される地名と実際のタイムゾーンが一致しない場合があります。画面下部に表示される時差も確認のうえ設定してください。

都市・地域名 現在時刻



GMT（グリニッジ標準時）との時差

■時計を合わせ直す

[セットアップ] メニューの [時計設定] で手順 3 と 4 を操作する

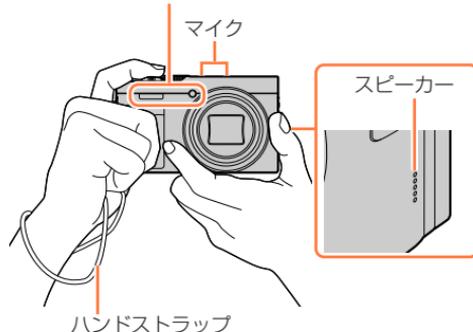
- メニュー操作について (P.36)

カメラの構え方

両手で本機を軽く持ち、脇を締め、肩幅くらいに足を開いて構える

- 落下防止のため、必ずハンドストラップを取り付け、手首に通してご使用ください。
- フラッシュ発光部や AF 補助光ランプ、マイク、スピーカーを指などで塞がないでください。
- シャッターボタンを押す瞬間に、カメラが動かないように気をつけてください。
- 足場が安定しているか確認し、周囲の人や物などにぶつからないよう気をつけて撮影してください。

フラッシュ発光部 / AF 補助光ランプ



■ 縦位置検出機能

カメラを縦に構えて撮影した写真を、再生時に自動で縦向きに表示することができます。([縦位置自動回転]を[ON]に設定している場合のみ)

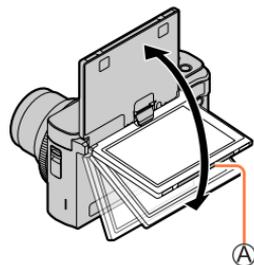
- 本機を上に向けたり、下に向けたりして撮影すると、正しく働かないことがあります。
- 動画撮影時にカメラの縦位置情報を記録する／しないを設定できます。(P.161)



モニターの角度を調整する

モニターの角度を調整することができます。

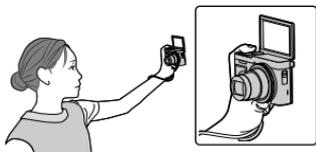
- モニターに指などを挟まないようにお気をつけください。
- モニターを回転させるときは、無理な力を加えないようお気をつけください。傷や故障の原因になります。
(A に指を添えて開閉してください。)
- 本機を使用しないときは、モニターを元の位置に完全に閉じてください。



いろいろなアングルで撮る

モニターの角度を調節すると、さまざまなアングルからの撮影が可能になり便利です。

自分撮り



- モニターを図のように回転させると自分撮りモードになります。(P.49)

ローアングル撮影

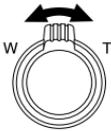
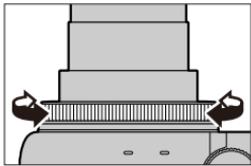


基本の操作

ズームレバー（ズームを使う）

ズームレバーまたはコントロールリングを操作して、写す範囲を調整できます。

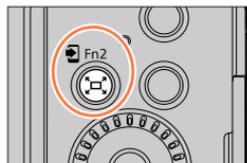
- タッチパネルを操作して、ズームを使うこともできます。(P.120)
- ズームの種類と用途について、詳しくは 117 ページをお読みください。

ズームレバー	コントロールリング*
<p>1 ズームレバーを回す</p> 	<p>1 コントロールリングを回す</p>  <p>* コントロールリングに「ズーム」または「ステップズーム」を割り当てると、ズーム操作ができます。(P.42)</p>
<p>T 側：望遠、大きく撮る W 側：広角、広く撮る 回す角度が大きい：ズームスピードが速い 回す角度が小さい：ズームスピードが遅い</p>	<p>時計回りに回す：望遠、大きく撮る 反時計回りに回す：広角、広く撮る</p>

- ズーム中、レンズ鏡筒には触れないでください。
- ピントは、ズームしたあとに合わせてください。
- ズームレバーまたはコントロールリングを操作すると、多少音がしたり振動したりしますが、故障ではありません。

ズームバックボタン（ズームバック機能を使う）

望遠で被写体を見失ったときに、一時的にズーム倍率を下げて、被写体をとらえやすくします。



望遠時に被写体を見失ったら

1 [Fn2]（ズームバック）ボタンを押す（押したままにする）

- ズーム倍率が下がり、直前の倍率（画角）を示す枠が画面中央に表示されます。（枠の位置は移動できません）



被写体を見つけたら

2 被写体を枠に合わせて、ボタンから指を離す

- ズーム倍率（画角）が元に戻ります。



■ズームバックするズーム量を設定する

MENU ボタン → [カスタム] → [操作] → [ズームバック]

設定：[L] / [S]

L	ズームバックするズーム量が大きくなります。 （[S] に設定時より、さらに広角側にズームアウトします）
S	ズームバックするズーム量が小さくなります。

- ズームバック中は、ズームバック以外のズーム操作はできません。
- 撮影中や、ズーム操作が働かない機能に設定時は、ズームバックは働きません。

シャッターボタン（写真を撮る）

1 シャッターボタンを半押し（軽く押す）して被写体にピントを合わせる

- 絞りとシャッタースピードが表示されます。（フラッシュ発光時を除き、適正露出にならないときは、赤くなり点滅します）



フォーカス表示
 (ピントが合う：点灯
 ピントが合わない：点滅)



絞りとシャッタースピード

2 シャッターボタンを全押し（さらに押し込む）して撮影する



- [フォーカス/リリース優先] を [フォーカス] に設定時は、ピントが合うまで撮影できません。
- [モニター表示速度] を [ECO 30fps] に設定時は、デジタルズームが使えません。
- メニュー操作中や画像の再生中でも、シャッターボタンを半押しすると、すぐに撮影ができる状態にすることができます。

■ピントの合う範囲

ズーム操作時に撮影可能範囲（ピントの合う範囲）が表示されます。

撮影可能範囲はズーム位置によって段階的に変化する場合があります。

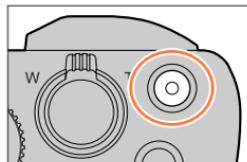
撮影可能範囲表示



- シャッターボタン半押し時に、ピントが合っていない場合は、撮影可能範囲表示が赤く表示されます。

動画ボタン（動画を撮る）

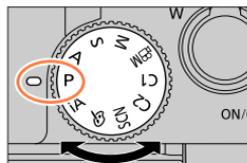
- 1 動画ボタンを押して、撮影を開始する
 - 動画ボタンは押したあと、すぐに離してください。
- 2 もう一度動画ボタンを押して、撮影を終了する



モードダイヤル（撮影モードを選ぶ）

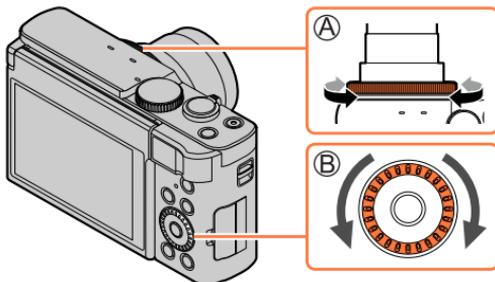
- 1 モードダイヤルを切り換える
 - モードダイヤルはゆっくり回して確実に各モードに合わせてください。

iA	インテリジェントオートモード (P.44)
	インテリジェントオートプラスモード (P.44)
P	プログラム AE モード (P.54)
A	絞り優先 AE モード (P.55)
S	シャッター優先 AE モード (P.55)
M	マニュアル露出モード (P.56)
	クリエイティブ動画モード (P.67)
C1/C2	カスタムモード (P.71)
SCN	シーンガイドモード (P.59)
	クリエイティブコントロールモード (P.62)



コントロールリング / コントロールダイヤル

コントロールダイヤルを回して、メニュー項目などを選択することができます。撮影時は、コントロールリング (A) / コントロールダイヤル (B) で設定を変更することができます。



以下はあらかじめ割り当てられている設定です。

モードダイヤル	コントロールリング*1	コントロールダイヤル
iA	ステップズーム	—
P	プログラムシフト	
A	F 絞り調整	
S	SS シャッタースピード調整	
M	F 絞り調整*2	SS シャッタースピード調整*2
M	F 絞り調整*3 / SS シャッタースピード調整*3	
SCN	F 絞り調整*4 / SS シャッタースピード調整*5	
	画像効果変更	

*1 マニュアルフォーカス設定時、コントロールリングはピント調整に割り当てられます。

*2 ▲を押すと、シャッタースピード調整と絞り調整とを切り換えることができます。

*3 [動画露出設定] を [A] / [S] / [M] に設定すると、モードダイヤルを [A] / [S] / [M] に設定時と同じ操作で、絞り値やシャッタースピードを変更できます。

*4 [料理をおいしそうに撮る] に設定時のみ操作できます。

*5 [夜景をアーティスティックに撮る] に設定時のみ操作できます。



コントロールリング / コントロールダイヤルはそれぞれをお好みの設定に変更することもできます。(P.42)

カーソルボタン / [MENU/SET] ボタン (項目を選択 / 決定する)

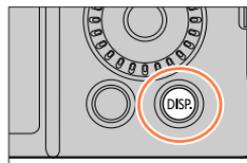
カーソルボタンを押す：
項目の選択や、数値の設定などができます。

[MENU/SET] ボタンを押す：
設定内容の決定などができます。



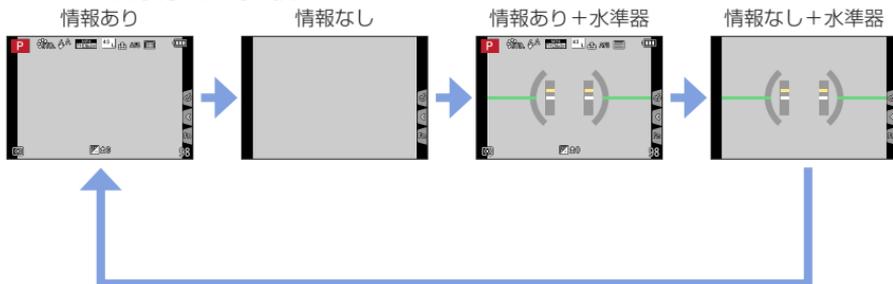
[DISP.] ボタン (画面の表示情報を切り換える)

1 [DISP.] ボタンを押して表示を切り換える



撮影時

モニターの表示方法を切り換えることができます。

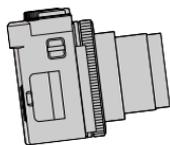


■水準器を使う

黄色い線が現在の傾き具合を表しています。白い線に合わせて本機の傾きを補正してください。

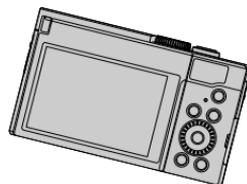
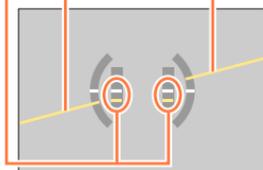
上下の傾き

- この場合、上を向いています。



左右の傾き

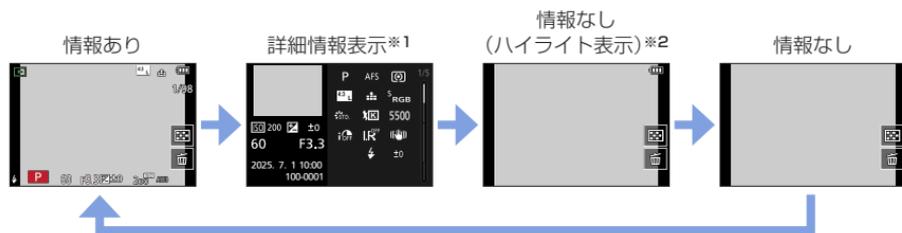
- この場合、右側が下がっています。



- カメラの傾きがほぼない状態では、水準器は緑色に変わります。

- 傾きが補正された状態でも、 $\pm 1^\circ$ 程度の誤差が生じることがあります。
- 本機を大きく上に向けたり下に向けたりして撮影すると、水準器表示が正しく表示できなかったり、縦位置検出機能が正しく働かない場合があります。

再生時



※1 ▲▼を押すと、次の表示内容に切り換わります。

- 詳細情報表示
- ヒストグラム表示
- フォトスタイル表示
- ホワイトバランス表示
- レンズ情報表示

※2 [カスタム] メニュー (モニター/表示) の [ハイライト表示] を [ON] にしているときのみ表示されます。

タッチパネル（タッチ操作）

タッチする

タッチパネルに触れて離す動作です。



ドラッグする

タッチパネルに触れたまま動かす動作です。



ピンチする（広げる / 縮める）

タッチパネルを2本の指で広げる（ピンチアウト）と拡大し、縮める（ピンチイン）と縮小します。



- タッチパネルは、清潔で乾燥している指でタッチしてください。
- 市販のモニター保護シートをご使用になる場合は、その注意書きに従ってください。（モニター保護シートの種類によっては、視認性や操作性が損なわれる場合があります）
- 次の場合、タッチパネルが正常に動作しないことがあります。
 - ・ 手袋を着用している
 - ・ タッチパネルがぬれている

タッチ機能を使って撮る

タッチした位置にピントを合わせる (タッチ AF、タッチシャッター)

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**   

1  をタッチする



2 アイコンをタッチする

- タッチするごとにアイコンが切り換わります。



 (タッチ AF)	タッチした位置にピントを合わせます。*
 (タッチシャッター)	タッチした位置にピントを合わせて撮影します。*
 (OFF)	タッチ AF、タッチシャッターを無効にします。

* [カスタム] メニュー (操作) で [タッチ設定] の [タッチ AF] を [AF+AE] に設定時は、タッチした位置にピントと明るさを合わせます。(P.82)

3 (OFF 以外に設定時)
被写体をタッチする

-  (タッチ AF) に設定時、AF エリアの位置や大きさを変更する操作については、80 ページをお読みください。



- タッチシャッターに失敗したときは、AF エリアが赤く点灯したあと消えます。

タッチした位置に明るさを合わせる（タッチ AE）

撮影モード：

人物の顔が暗く写るときに、顔に合わせて画面を明るくすることができます。

1 [◀] をタッチする



2 [AE] をタッチする

- 明るさを合わせる位置の設定画面が表示されます。
- [測光モード] はタッチ AE 専用の [AE] に変わります。



3 明るさを合わせたい被写体をタッチする

- [リセット] をタッチすると、明るさを合わせる位置は中央に戻ります。



4 [決定] をタッチする

■ タッチ AE 機能を解除する

[AE] をタッチする

- 次の場合、タッチ AE は使えません。
 - 自分撮りモード
 - デジタルズーム使用時
 - ハイスピード動画撮影中
 - 4K ライブクロップ撮影時
 - [カスタム] メニュー（操作）の [タッチ設定] で、[タッチ AF] を [AF+AE] に設定時

メニューを使って設定する

メニューの設定はボタン操作、タッチ操作のどちらでも行えます。

1 [MENU/SET] ボタンを押してメニューを表示する



2 メニューの種類を切り換える

- ① ◀ を押す
- ② ▲▼ で [🔧] などのタブを選ぶ
- ③ [MENU/SET] ボタンを押す

— タッチ操作 —

[🔧] などのタブをタッチする



 撮影 (P.140)	画像横縦比、画素数、4K フォトなどを設定できます。
 動画 (P.150)	画質などを設定できます。
 カスタム (P.152)	画面の表示方法やボタンの動きなど、本機の操作をお好みに応じて設定できます。
 セットアップ (P.165)	時計設定や電子音の切り換えなど、使いやすさの設定ができます。Wi-Fi/Bluetooth 機能に関する設定もできます。
 マイメニュー (P.174)	よく使うメニューを登録できます。
 再生 (P.175)	画像の再生や編集の設定ができます。

- 各撮影モードでのみ表示されるメニュー (P.139)

メニューを使って設定する

3 ▲▼でメニュー項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ズームレバーを回して、ページを切り換えることができます。

タッチ操作

メニュー項目をタッチする

- 画面右のバー (A) をタッチすると、ページを切り換えられます。



4 ▲▼で設定内容を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- メニュー項目により、設定方法が異なります。

タッチ操作

設定内容をタッチして決定する



5 撮影 / 再生画面に戻るまで、繰り返し [↵] ボタンを押す

- シャッターボタンを半押ししてもメニュー画面を終了できません。

タッチ操作

[↵] をタッチする



- メニュー項目や設定内容を選択中に [DISP.] ボタンを押すと、メニューの説明が表示されます。
- 設定できないメニュー項目はグレーで表示されます。一部の設定状況では、グレーのメニュー項目を選んで [MENU/SET] ボタンを押すと、設定できない理由が表示されます。

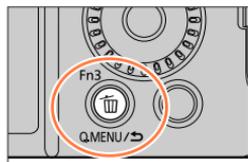


- メニュー項目などを選ぶ操作は、コントロールダイヤルを回しても操作できます。

よく使うメニューをすぐに呼び出す (クイックメニュー)

撮影時、一部のメニュー項目を簡単に呼び出して設定できます。

1 [Q.MENU] ボタンを押す



2 コントロールダイヤルを回してメニュー項目を選び、▼または▲を押す

•◀▶でも選択できます。



3 コントロールダイヤルを回して設定内容を選ぶ

•◀▶でも選択できます。



4 [Q.MENU] ボタンを押してクイックメニューを終了する

● モードや表示画面によっては設定できない項目があります。

よく使う機能をボタンに割り当てる (ファンクションボタン)

特定のボタン ([Fn1] ~ [Fn3]) または画面に表示されるアイコン ([Fn4] ~ [Fn8]) に、よく使う機能を割り当てることができます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [カスタム] →  [操作] → [Fn ボタン設定]

設定：[撮影時設定] / [再生時設定]

2 ▲▼で機能を割り当てたいファンクションボタンを選び、[MENU/SET] ボタンを押す



3 ▲▼で割り当てる機能を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [撮影時設定] で割り当てられる機能 (P.40)
- [再生時設定] で割り当てられる機能 (P.41)

■素早く機能を割り当てる

ファンクションボタン ([Fn1] ~ [Fn3]) を長押し (2 秒) すると、手順 3 の画面を表示できます。(登録した機能や表示画面などによっては、表示できない場合もあります)

- ファンクションボタンによっては、割り当てられない機能があります。
- モードや表示画面によっては、使えない機能もあります。

撮影時にファンクションボタンを使う

ファンクションボタンを押すと、割り当てた機能を使えます。

■タッチ操作でファンクションボタンを使う

- ①  をタッチする
- ② [Fn4] ~ [Fn8] のいずれかをタッチする



よく使う機能をボタンに割り当てる（ファンクションボタン）

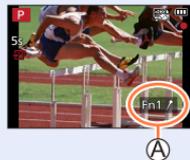
■ [撮影時設定] で割り当てられる機能

<ul style="list-style-type: none"> • 4K フォトモード* • フォーカスセレクト：[Fn1]※1 • Wi-Fi：[Fn4]※1 • Q.MENU：[Fn3]※1 • 動画撮影 • AF/AE LOCK • AF-ON • プレビュー • ワンタッチ AE • タッチ AE • 水準器表示：[Fn5]※1 • フォーカスエリア選択 • 操作ロック • フォトスタイル • フィルター効果 • 画像横縦比 • 記録画素数 	<ul style="list-style-type: none"> • クオリティ • ISO 感度 • ホワイトバランス • オートフォーカスモード • AFS/AFF/AFC • 測光モード • ブラケット • iD レンジコントロール • 超解像 • 下限シャッター速度 • HDR • シャッター方式 • フラッシュ光量調整 • iA ズーム • デジタルズーム • 手ブレ補正 • 4K ライブクロープ 	<ul style="list-style-type: none"> • スナップムービー：[Fn7]※1 • 動画画質設定 • サイレントモード • ピーキング • ヒストグラム表示：[Fn6]※1 • ガイドライン表示 • ゼブラパターン表示 • モノクロライブビュー • 記録枠表示 • ズームレバー • ズームバック：[Fn2]※1 • 露出補正 • フラッシュモード • フォーカスモード • ドライブモード • 撮影 / 再生切換 • OFF※2：[Fn8]※1
--	--	--

※1 お買い上げ時のファンクションボタン設定

※2 ファンクションボタンに機能が設定されていない状態です。

- [動画撮影] 設定時は、動画ボタンと同様に動画記録の開始 / 停止を操作できます。
- [フォーカスエリア選択] 設定時は、AF エリアまたは MF アシストの位置設定画面を表示することができます。
- [操作ロック] 設定時は、[カスタム] メニュー（操作）の [操作ロック設定] で設定した操作を無効にします。[操作ロック] を設定したファンクションボタンを再度押しすと、ロックを解除します。
- [撮影 / 再生切換] 設定時は、撮影状態と再生状態を切り換えることができます。
- ファンクションボタンの設定をお買い上げ時の状態に戻すには、[デフォルトに戻す] を選んでください。
- 画面に  のように表示された場合は、[Fn ボタン設定] で割り当てた機能ではなく、表示された操作が実行されます。



よく使う機能をボタンに割り当てる（ファンクションボタン）

再生時にファンクションボタンを使う

再生時にファンクションボタンを押すと、選んだ画像に割り当てた機能を直接設定できます。

例) [レーティング★3] を [Fn2] に設定した場合

1 ◀▶ で画像を選ぶ

2 [Fn2] ボタンを押し、画像を [レーティング★3] に設定する



■【再生時設定】で割り当てられる機能

• [Fn1]、[Fn2] のボタンに以下の機能が割り当てられます。

- | | | |
|--------------------------|------------|--------------|
| • Wi-Fi：[Fn1]※1 | • プロテクト | • レーティング★5 |
| • 撮影 / 再生切替 | • レーティング★1 | • RAW 現像 |
| • スマートフォンに画像を送る：[Fn2] ※1 | • レーティング★2 | • 4K フォト一括保存 |
| • 4K フォト再生 | • レーティング★3 | • OFF※2 |
| • 1枚消去 | • レーティング★4 | |

※1 お買い上げ時のファンクションボタン設定

※2 ファンクションボタンに機能が設定されていない状態です。

- [4K フォト再生] 設定時は、4K 連写ファイルから保存する写真の選択画面を表示します。
- ファンクションボタンの設定をお買い上げ時の状態に戻すには、[デフォルトに戻す] を選んでください。

コントロールリング / コントロールダイヤルの設定を変更する

撮影モード：

コントロールリング / コントロールダイヤルに割り当てる設定を変更することができます。

MENU ボタン → [カスタム] → [操作] → [リング / ダイヤル設定]

設定：[[]] (コントロールリング) / [[]] (コントロールダイヤル)

1 ▲▼ で設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

標準	フォトスタイル
ズーム*	フィルター効果
ステップズーム*	画像横縦比
露出補正	iD レンジコントロール
ISO 感度	超解像
ホワイトバランス	フラッシュモード
オートフォーカスモード	フラッシュ光量調整
フォーカスモード	OFF 未設定*
ドライブモード	

* コントロールリングにのみ設定できる項目

- お買い上げ時の設定に戻す場合は、[標準] を選びます。
- コントロールリングを使わない場合は、[未設定] を選んでください。

- 割り当てた機能は、撮影モードに関係なく共通で設定されます。
ただし、撮影モードとの組み合わせによっては、割り当てた機能が働かない場合があります。

文字を入力する

文字入力画面が表示されたら、以下のように操作してください。

1 ▲▼◀▶ で文字を選ぶ

2 希望の文字が表示されるまで [MENU/SET] ボタンを押す

- [] : 空白を入力できます。

■文字の種類を切り換える

- [DISP.] ボタンを押す
- ▲▼◀▶ で [切換] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■続けて文字を入力する

- ▲▼◀▶ で [] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ズームレバーをT側に回す
- コントロールダイヤルを時計回りに回す

■文字を修正する

- ① ▲▼◀▶ で [] [] を選んで [MENU/SET] ボタンを押し、
修正する文字にカーソル位置を移動する
 - ズームレバーまたはコントロールダイヤルでもカーソル位置を移動できます。
- ② ▲▼◀▶ で [消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ③ ▲▼◀▶ で正しい文字を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



3 入力が終わったら、▲▼◀▶ で [決定] を選び、 [MENU/SET] ボタンを押して終了する

- 入力できる文字数は以下のとおりです。

[かな] [カナ] : 最大 15 文字 ([個人認証] の名前設定時は最大 6 文字)

[A] [a] [1] [&] * : 最大 30 文字 ([個人認証] の名前設定時は最大 9 文字)

* []、[]、[]、[]、[] は最大 15 文字 ([個人認証] の名前設定時は最大 6 文字)

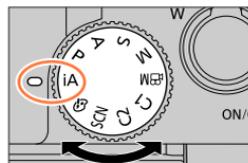
カメラにおまかせで撮る (インテリジェントオートモード)

撮影モード：  

被写体や撮影状況に合わせてカメラが最適な設定を行うので、カメラにおまかせで気軽に撮りたいときにお勧めです。

1 モードダイヤルを [iA] に合わせる

- お買い上げ時は、インテリジェントオートモードに設定されています。



2 被写体にカメラを向ける

- カメラが最適なシーンを判別すると、各シーンのアイコンに変わります。(自動シーン判別)



■インテリジェントオートプラスモードとインテリジェントオートモードを切り換える

MENU ボタン →  /  [インテリジェントオート]
→ [インテリジェントオートモード]

設定：  (インテリジェントオートモード) /  (インテリジェントオートプラスモード)



撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



 は、 の設定に加えて明るさや色合いなどの設定を変更できるので、よりお好みに合わせた撮影ができます。

(○：設定可、×：設定不可)

	 インテリジェントオートプラスモード	 インテリジェントオートモード
色合い設定	○	×
明るさ (露出) 設定	○	×
ボケ味コントロール	○	×
設定できるメニュー	多い	少ない

カメラにおまかせで撮る（インテリジェントオートモード）

オートフォーカス / 顔・瞳認識 / 個人認証

オートフォーカスモードは自動で [i:人] に設定されます。被写体をタッチすると [i:追] に切り換わり、追尾 AF 機能が働きます。

- [MENU/SET] ボタンを押し、[撮影] メニューの [オートフォーカスモード] で [i:追] (追尾) を選択しても、[i:追] に切り換わります。被写体を追尾 AF エリアに合わせ、シャッターボタンを半押しすると追尾 AF 機能が働きます。
- [個人認証] を [ON] に設定時、登録した顔に近い顔を認識すると、[i:瞳]、[i:人]、[i:追] の右上に [R] が表示されます。

フラッシュ

▶ を押して [i:閃] (オート) を選ぶと、被写体の種類や明るさに合わせて、カメラが自動で [i:閃]、[i:閃] (赤目軽減オート)、[i:閃] または [i:閃] に設定します。

- [i:閃] または [i:閃] のときは、シャッタースピードが遅くなります。

自動シーン判別

写真撮影時

i:人 i 人物	i:山 i 風景	i:花 i マクロ	i:人 i 夜景 & 人物*1
i:人 i 夜景	i:人 i 手持ち夜景*2	i:皿 i 料理	i:赤 i 赤ちゃん*3
i:焼 i タ焼け	i:山 / i:花 どのシーンにも当てはまらないとき		

動画撮影時

i:人 i 人物	i:山 i 風景	i:火 i ローライト	i:花 i マクロ
i:山 / i:花 どのシーンにも当てはまらないとき			

*1 フラッシュ使用時に表示

*2 [i 手持ち夜景] が [ON] の場合

*3 個人認証機能で登録した乳幼児（3 歳未満）を認識したとき

- [i:追] に判別時、三脚などを使用していてブレの量が少ないとカメラが判断した場合は、シャッタースピードが通常より遅くなります。撮影中はそのままカメラを動かさないようご注意ください。
- 4K フォト撮影時またはフォーカスセレクト撮影時は、動画撮影時と同じシーン判別になります。

- 撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンになることがあります。

カメラにおまかせで撮る（インテリジェントオートモード）

 逆光補正

インテリジェントオートプラスモードまたはインテリジェントオートモード時は、逆光補正が自動で働きます。逆光とは、被写体の後ろ側から光が当たることです。このとき、被写体が暗く写りますので、画像を明るくすることにより自動で逆光補正します。

インテリジェントオートメニュー

手持ちで夜景を撮る（i 手持ち夜景）

撮影モード： 

[i 手持ち夜景] は手持ち撮影時に夜景を自動判別した場合、複数枚撮影した写真を合成して、三脚を使わずに手ブレとノイズの少ない写真を記録できる機能です。

MENU ボタン →  /  [インテリジェントオート] → [i 手持ち夜景]

設定：[ON] / [OFF]

- 画角がわずかに狭くなります。
- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- フラッシュは （発光禁止）に固定されます。
- 動画撮影中の写真撮影では働きません。
- 次の場合、[i 手持ち夜景] は使えません。
 - ・ 自分撮りモード
 - ・ 連写撮影時
 - ・ 4K フォト撮影時
 - ・ フォーカスセレクト撮影時
 - ・ ブラケット撮影時
 - ・ [クオリティ] を [RAW ] [RAW ] [RAW] に設定時
 - ・ インターバル撮影時
 - ・ [コマ撮りアニメ] 時（[自動撮影] 設定時のみ）

カメラにおまかせで撮る（インテリジェントオートモード）

階調豊かな写真に合成する（iHDR）

撮影モード：  

[iHDR] は背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、露出の異なる写真を複数枚撮影して 1 枚の階調豊かな写真に合成する機能です。

[iHDR] は必要に応じて働きます。働くときは、画面に [HDR] が表示されます。

MENU ボタン →  /  [インテリジェントオート] → [iHDR]

設定： [ON] / [OFF]

- 画角がわずかに狭くなります。
- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 連写合成した場合、動いている被写体の残像が記録される場合があります。
- 動画撮影中の写真撮影では働きません。
- 次の場合、[iHDR] は使えません。
 - ・ 自分撮りモード
 - ・ フラッシュ撮影時
 - ・ 連写撮影時
 - ・ 4K フォト撮影時
 - ・ フォーカスセレクト撮影時
 - ・ ブラケット撮影時
 - ・ [クオリティ] を [RAW ] [RAW ] [RAW] に設定時
 - ・ インターバル撮影時
 - ・ [コマ撮りアニメ] 時（[自動撮影] 設定時のみ）

色合いを設定する

撮影モード： 

1  ボタン（◀）を押して設定画面を表示する

2 コントロールダイヤルを回して色合いを調整する

- ・ [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。
- ・ 設定した色合いは、電源を切る、または他の撮影モードに変更すると、標準（中心点）に戻ります。
- ・ タッチパネル操作時（P.48）



カメラにおまかせで撮る（インテリジェントオートモード）

明るさ（露出）・背景のボケ具合（ボケ味コントロール）を設定する

撮影モード：

1 ▲ を押して設定画面を表示する

- 明るさ（露出）操作の画面が表示されます。[Fn1] ボタンを押すと、ボケ味コントロール操作、操作終了に切り換わります。

2 コントロールダイヤルを回して設定する

- [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

明るさ（露出）設定時

- [カスタム] メニュー（操作）の「露出補正画面の操作」で、露出補正画面で設定する内容を変更できます。（P.155）



背景のボケ具合設定時

- ボケ具合の設定画面で  ボタンを押すと、設定が解除されます。
- オートフォーカスモードが  になります。画面をタッチすると、AF エリアの位置を設定できます。（大きさは変更できません）



■ タッチパネルで設定を変える

①  をタッチする

② 設定する項目をタッチする

：色合い：ボケ具合：明るさ

③ スライダーや露出メーターをドラッグして設定する

- [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



自分撮りをする (自分撮りモード)

撮影モード：

モニターを回転させると、自分撮りモードになります。画面を確認しながら簡単に自分撮りができます。



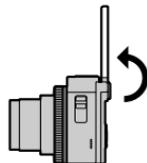
自分撮りモードでは…

- 画面を見ながら撮影するので構図が決めやすくなります。
- 撮影枚数を増やして、ポーズや表情を変えた写真を一度に撮影できます。
- 自動的にタッチ操作が可能な状態になります。
- 自分撮りモードで設定する撮影設定以外は、各撮影モードの設定に従います。



1 モニターを図のように回転させる

- モニターを回転させると、モニターに映る画像が反転します (鏡像)。



2 設定項目をタッチする



 (美肌効果)	人物の顔を明るく、肌色を滑らかにします。
No Effect (フィルター選択)	自分撮りに合う画像効果 (フィルター) を加えます。
 (背景コントロール)	検出した顔の背景のぼかし具合を設定します。  (ぼかし) : 検出した顔の背景をぼかします。(ただし、後ろのほうに離れている顔は背景と一緒にぼけます)  (くっきり) : 顔と背景をくっきりと撮影します。
 (スリムモード)	人物をスリムに撮影します。
 (シャッター)	シャッター動作を開始する方法を設定します。
 (カウントダウン / 撮影枚数)	撮影までの秒数 ([カウントダウン]) と、連続撮影する枚数 ([撮影枚数]) を設定します。

自分撮りをする (自分撮りモード)

3 スライダーをタッチする

- [OFF]、[1] ~ [10] の範囲で設定できます。スライダーの左端 (A) を選ぶと [OFF] に設定できます。
- [フィルター選択]、[背景コントロール]、[シャッター] または [撮影枚数] の場合、アイコンから選びます。



フィルター選択	No Effect (効果なし)、POP (ポップ)、RETR (レトロ)、HKEY (ハイキー)、MONO (モノクローム)、TOY (トイフォト)
背景コントロール	(OFF)、 (ぼかし)、 (くっきり)
シャッター	(本体シャッターのみ)、 (タッチ)、 (フレンドリー)、 (フェイス)
撮影枚数	1枚 (1枚)、2枚 (2枚)、3枚 (3枚)、4枚 (4枚)

4 [終了] をタッチする**5** モニターを見ながらポーズを決める

- 顔・瞳認識機能により、顔に合わせて AF エリアが表示されます。
(オートフォーカスモードを に設定できない撮影モードの場合は、各撮影モードの設定に従います)

6 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しして撮影する

- 撮影時はレンズを見てください。
- カウントダウンが開始され、カウントが終わると撮影されます。撮影枚数を複数枚にしたときは、設定した枚数まで撮影が続きます。
- [シャッター] 設定時の撮影の開始方法は、51 ページをお読みください。



自分撮りをする（自分撮りモード）

シャッター動作の開始方法を変更する

【シャッター】でシャッターボタンを押さずに撮影を開始する方法を選択できます。シャッター操作による手ブレが起こるときなどにお勧めの撮影方法です。

■【】（タッチ）

タッチした位置にピントを合わせて撮影します。

■【】（フレンドリー）

顔・瞳認識機能を使って、認識した2つの顔が近づいたときにシャッター動作を開始します。



① 顔・瞳認識の枠が2つ表示されている状態にする

- ・【】（フレンドリー）設定時は、被写体が複数人いても、顔・瞳認識の枠は2つまでになります。

② 2つの枠が一定距離以内に近づくと、シャッター動作を開始します

■【】（フェイス）

顔・瞳認識機能を使って、認識した顔を手などで隠してから再度認識させるとシャッター動作を開始します。



① 顔・瞳認識の黄色の枠が表示されている状態にする

② 手などで顔を隠して黄色の枠を一時的に消す

③ 手を外して黄色の枠を表示させると、シャッター動作を開始します

- 【シャッター】の設定にかかわらず、シャッターボタンを押しても撮影を開始できます。

自分撮りをする（自分撮りモード）

4K フォトモードで自分撮りをする（4K セルフィー）

4K フォトモードに切り換えて自分撮りをするができます。

1 モニターを回転させて自分撮りモードにする

2 [4Kセルフィー] をタッチする



3 撮影方法を選び、タッチする

- 自分撮りモードでは、背景を広く写すことができる [4K 連写 (広角)] で撮影できます。（自分撮りモード時以外は [4K 連写] に切り換わります）

 4K 連写 (広角)	[4K 連写] より画角の広い、自分撮り用の 4K フォトモード 連写速度：15 コマ / 秒 音声記録：なし
--	--

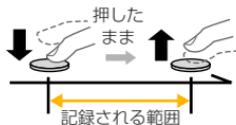
- その他の 4K フォトモードや撮影方法など (P.95 ~ 103)



4 モニターを見ながらポーズを決めて、撮影する

■ [4K 連写 (広角)] 選択時

- シャッターボタンを半押しする
- 撮影したい間、シャッターボタンを全押ししたままにする
 - 全押しから約 0.5 秒後に撮影が開始されますので、早めに全押ししてください。
 - 撮影中は [AF 連続動作] は動きません。ピントは 1 コマ目に固定されます。
 - 連写を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続ける場合があります。



- 4K フォト撮影時、画角が狭くなります。（[4K 連写 (広角)] で撮影時を除く）
- 4K フォト撮影時、[フィルター選択] のみ設定できます。

自分撮りをする（自分撮りモード）

- [自分撮り] を [OFF] に設定すると、モニターを回転させても自分撮りになりません。
- フラッシュや AF 補助光の光を直接見ないようにお気をつけください。
- 自分撮りモードでは、ズームを W 端にして撮影することをお勧めします。
- [美肌効果] を設定時は
 - ・ 効果の強さを [2] 以上に設定すると撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。また、撮影時は画像処理のために次の撮影まで時間がかかります。
 - ・ 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時に滑らかになります。
 - ・ 明るさが不十分なときは、効果が分かりにくい場合があります。
- [背景コントロール] を [ぼかし] (ぼかし) に設定時は、撮影画面が通常より遅れて表示され、コマ落としのように表示されます。また、撮影時は画像処理のために次の撮影まで時間がかかります。
- [背景コントロール] を [くっきり] (くっきり) に設定時は、周囲の明るさが不十分なところで撮影すると、意図どおりに撮影できないことがあります。
- 次の場合、自分撮りモードは使えません。
 - ・ 動画撮影時
 - ・ インターバル撮影時
 - ・ [コマ撮りアニメ] 時
- 次の場合、[美肌効果] と、[背景コントロール] の [ぼかし] (ぼかし) は使えません。
 - ・ シーンガイドモード ([水面をキラキラ撮る] [夜景をきれいに撮る] [夜空をクールに撮る] [夜景を暖かく撮る] [夜景をアーティストックに撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を手持ちで撮る] [花をふんわり撮る] [料理をおいしそうに撮る] [スイーツをかわいく撮る])
 - ・ クリエイティブコントロールモード
 - ・ マニュアルフォーカス時
- 次の場合、[背景コントロール] の [くっきり] (くっきり) は使えません。
 - ・ シーンガイドモードの [人物の肌をきれいに撮る]、[モノクロで撮る] 以外のモード
 - ・ 絞り優先 AE モード
 - ・ シャッター優先 AE モード
 - ・ マニュアル露出モード
 - ・ クリエイティブコントロールモード
- 次の場合、[フレンドリー] (フレンドリー)、[フェイス] (フェイス) は使えません。
 - ・ オートフォーカスモードの [顔] に設定できない撮影モード (P.75)
 - ・ マニュアルフォーカス時

絞り値とシャッタースピードを自動で設定して撮る

(プログラム AE モード)

撮影モード：[P]

被写体の明るさに応じて、絞り値とシャッタースピードをカメラが自動的に設定します。

1 モードダイヤルを [P] に合わせる

2 シャッターボタンを半押しする

- 画面に絞り値とシャッタースピードが表示されます。
(適正露出になっていないときは、赤色で点滅します)



絞り値
シャッタースピード

プログラムシフト

同じ露出 (明るさ) のままで絞り値とシャッタースピードの組み合わせを変更する機能を「プログラムシフト」といいます。プログラムシフトを使うと、プログラム AE モードでも絞り値やシャッタースピードを調整して撮影できます。

準備

フラッシュモードを [🚫] (発光禁止) にする。(P.121)

1 シャッターボタンを半押しする

- 画面に絞り値とシャッタースピードが表示されます。
(適正露出になっていないときは、赤色で点滅します)

2 数値が表示されている間 (約 10 秒間) に、コントロールダイヤルを回してプログラムシフトする

- コントロールリングを回しても操作できます。
- プログラムシフトを解除するには、電源を切るか、プログラムシフト表示が消えるまでコントロールダイヤルを回してください。
- ファンクションボタンに [ワンブッシュ AE] を設定すると、簡単にプログラムシフトを解除できます。(P.39、58)



絞り値
シャッタースピード
プログラムシフト表示

● 次の場合、プログラムシフトは使えません。

- フラッシュ撮影時
- 4K フォト撮影時
- フォーカスセレクト撮影時
- ISO 感度を [ISO] に設定時

絞り値 / シャッタースピードを決めて撮る

撮影モード：**A S M**

- 設定した絞り値とシャッタースピードの効果は、撮影画面に反映されません。撮影画面で確認するには、プレビューモードをお使いください。(P.57)
- 画面の明るさは、実際に撮影される画像と異なる場合があります。再生画面で確認してください。
- 絞り値またはシャッタースピードを調整すると、露出メーターが表示されます。適正露出にならない場合は、赤色で表示されます。
- シャッターボタンを半押ししたとき、適正露出にならない場合は、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり点滅します。

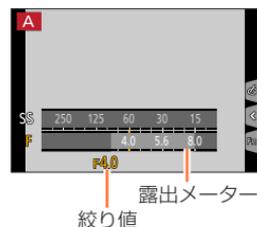
絞り値を決めて撮る（絞り優先 AE モード）

絞り値を設定すると、被写体の明るさに応じたシャッタースピードをカメラが自動的に設定します。

- 1 モードダイヤルを [A] に合わせる
- 2 コントロールダイヤルを回して絞り値を設定する
 - ・ コントロールリングを回しても操作できます。

設定可能な絞り値*1	設定されるシャッタースピード (秒)
F3.3 ~ F8.0	4*2 ~ 1/2000 (メカシャッター使用時) 1*2 ~ 1/16000 (電子シャッター使用時)

- *1 ズーム位置によっては選べない値があります。
*2 ISO 感度の設定により変わります。



絞り値
露出メーター

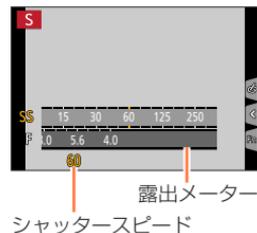
シャッタースピードを決めて撮る（シャッター優先 AE モード）

シャッタースピードを設定すると、被写体の明るさに応じた絞り値をカメラが自動的に設定します。

- 1 モードダイヤルを [S] に合わせる
- 2 コントロールダイヤルを回してシャッタースピードを設定する
 - ・ コントロールリングを回しても操作できます。

設定可能なシャッタースピード (秒)	設定される絞り値
4*3 ~ 1/2000 (メカシャッター使用時) 1*3 ~ 1/16000 (電子シャッター使用時)	F3.3 ~ F8.0

- *3 ISO 感度の設定により変わります。



シャッタースピード
露出メーター

絞り値とシャッタースピードを決めて撮る (マニュアル露出モード)

絞り値とシャッタースピードを手動で設定して、露出を決定します。

1 モードダイヤルを [M] に合わせる

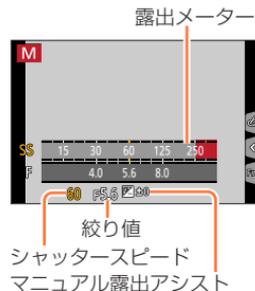
2 コントロールリングを回して絞り値を、コントロールダイヤルを回してシャッタースピードを設定する

- ▲ を押すと、コントロールリングとコントロールダイヤルの設定操作を切り換えることができます。

設定可能な絞り値*1	設定可能なシャッタースピード (秒)
F3.3 ~ F8.0	4*2 ~ 1/2000 (メカシャッター使用時) 1*2 ~ 1/16000 (電子シャッター使用時)

*1 ズーム位置によっては選べない値があります。

*2 ISO 感度の設定により変わります。



絞り値
シャッタースピード
マニュアル露出アシスト



絞り値とシャッタースピードに ISO 感度を合わせる

ISO 感度を [AUTO] に設定時、設定した絞り値とシャッタースピードで適正露出になるように、ISO 感度をカメラが自動的に設定します。

- 撮影条件により、適正露出にならなかったり、ISO 感度が高くなる場合があります。



マニュアル露出アシスト (目安)

	標準的な明るさ (適正露出) に写ります。
	明るく写ります。適正露出にするには、シャッタースピードを速くするか、絞り値を大きくします。
	暗く写ります。適正露出にするには、シャッタースピードを遅くするか、絞り値を小さくします。

絞り効果 / シャッタースピード効果を確認する (プレビューモード)

撮影モード：

- **絞り効果の確認**：実際に撮影される絞り値までレンズの絞り羽根を物理的に絞り込むことにより、被写界深度（ピントの合っている範囲）を確認することができます。
- **シャッタースピード効果の確認**：実際に撮影されるシャッタースピードでの画面を表示し、動きを確認することができます。

準備

ファンクションボタンに [プレビュー] を設定する (P.39)

次の手順は、[Fn3] ボタンに [プレビュー] を設定した場合の例です。

1 [Fn3] ボタンを押して効果確認画面を切り換える

- [Fn3] ボタンを押すごとに画面が切り換わります。



被写界深度の性質

撮影条件	絞り値	小さい	大きい
	焦点距離	望遠	広角
	被写体までの距離	近い	遠い
被写界深度 (ピントの合っている範囲)	浅い (狭い) 例：背景をぼかして撮りたいときなど	深い (広い) 例：背景までピントを合わせて撮りたいときなど	

- プレビューモード中でも撮影することができます。
- シャッタースピード効果を確認できる範囲は、8 秒～ 1/16000 秒です。
- 4K フォトの [Fn3] (4K プリ連写) で撮影時は、プレビューモードを使用できません。

絞り値 / シャッタースピードを決めて撮る

絞り値 / シャッタースピードを簡単に適正露出に合わせる (ワンプッシュ AE)

撮影モード：   **P** **A** **S** **M**  **SCN** 

露出の設定が明るすぎる、または暗すぎるとき、ワンプッシュ AE を使うと簡単に適正露出に合わせることができます。

適正露出でないときの見分け方

- シャッターボタンを半押しした際、絞り値とシャッタースピードの数値が赤色になり、点滅したとき。
- マニュアル露出モード時、マニュアル露出アシスト (P.56) が  以外で表示されたとき。



赤色で点滅

準備

ファンクションボタンに [ワンプッシュ AE] を設定する (P.39)

1 (適正露出でないときに) ファンクションボタンを押す



適正露出に変更

- 次の場合、適正露出に合わせることができません。
 - ・非常に暗い被写体など、絞り値やシャッタースピードを変えても適正露出にできないとき
 - ・フラッシュ撮影時
 - ・プレビューモード時

撮影シーンに合わせて撮る (シーンガイドモード)

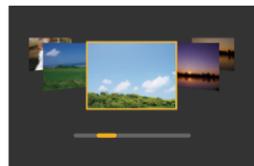
撮影モード：[SCN]

作例写真を見ながら、被写体や撮影状況に合わせてシーンを選択すると、カメラが最適な露出や色調、ピントの合わせ方などを設定し、シーンに合った撮影ができます。

1 モードダイヤルを [SCN] に合わせる

2 ◀▶ でシーンを選び、 [MENU/SET] ボタンを押す

- 作例写真やスライダーをドラッグしてシーンを選ぶこともできます。



シーンの説明や撮影のヒントを表示する

シーン選択画面で [DISP.] ボタンを押す



撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



- シーンによっては、撮影画面がコマ落としのように表示されます。
- シーンを変更したい場合は、[シーンガイド] メニューで [シーン切換] を選んで [MENU/SET] ボタンを押すと手順 2 に戻ります。
- シーンガイドモード時はカメラが自動で最適に調整するため、一部の撮影メニューが設定できません。
- シーンによってはホワイトバランスは [AWB] に固定されますが、[MENU/SET] ボタンを押し、[撮影] メニューから [ホワイトバランス] を選ぶとホワイトバランスの微調整やホワイトバランスブラケットが使えます。(P.90、91)

撮影シーンに合わせて撮る (シーンガイドモード)

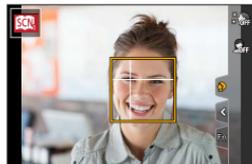
1 人物をきれいに撮る

■ [美肌効果]、[スリムモード] を設定する

自分撮りモードと共通の [美肌効果]、[スリムモード] を設定できます。

① [👤] をタッチし、設定項目を選ぶ

 (美肌効果)	人物の顔を明るく、肌色を滑らかにします。
 (スリムモード)	人物をスリムに撮影します。



② スライドバーをタッチする

- [OFF]、[1] ~ [10] の範囲で設定できます。スライドバーの左端 (A) を選ぶと [OFF] に設定できます。



③ [終了] をタッチする

- オートフォーカスマードを [👤] (顔・瞳認識) 以外に変更すると、[美肌効果] と [スリムモード] は使用できません。

2 人物の肌をきれいに撮る

- 背景などに肌色に近い色をした箇所があると、その部分も同時に滑らかになります。
- 明るさが不十分なときは、効果が分かりにくい場合があります。

3 逆光でふんわり撮る

4 逆光でしっかり撮る

5 ほのぼのした雰囲気撮る

6 子どもをかわいく撮る

- 顔をタッチするとタッチした場所にピントや露出が合い、写真が撮影されます。

7 風景をきれいに撮る

8 青空をさわやかに撮る

9 夕焼けを幻想的に撮る

撮影シーンに合わせて撮る（シーンガイドモード）

10 夕焼けを印象的に撮る**11 水面をキラキラ撮る**

- クロスフィルターを使用するため、水面以外がキラキラと強調される場合があります。

12 夜景をきれいに撮る**13 夜空をクールに撮る****14 夜景を暖かく撮る****15 夜景をアーティスティックに撮る****16 イルミネーションをキラキラ撮る****17 夜景を手持ちで撮る**

- シャッターボタンを押したあと、連写中は本機を動かさないでください。
- 画角がわずかに狭くなります。

18 夜景をバックに人物をきれいに撮る

- 三脚を使用し、セルフタイマーを使って撮影することをお勧めします。
- 被写体の人に、撮影後約 1 秒間は動かないように伝えてください。

19 花をふんわり撮る

- 近距離撮影する場合は、フラッシュを使用しないことをお勧めします。

20 料理をおいしそうに撮る

- 近距離撮影する場合は、フラッシュを使用しないことをお勧めします。

21 スイーツをかわいく撮る

- 近距離撮影する場合は、フラッシュを使用しないことをお勧めします。

22 動くペットをきちんと撮る

- [AF 補助光] の初期設定は [OFF] になります。

23 スポーツをきれいに撮る**24 モノクロで撮る**

画像効果を変えて撮る (クリエイティブコントロールモード)

撮影モード：

画像に加える効果を作例写真から選んで、画面で効果を確認できます。

1 モードダイヤルを  に合わせる

2 ▲▼ で画像効果 (フィルター) を選び、
[MENU/SET] ボタンを押す

• 作例写真をタッチして選ぶこともできます。

プレビュー表示

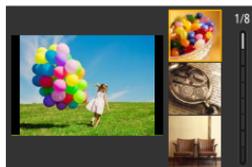


画像効果の説明を表示する

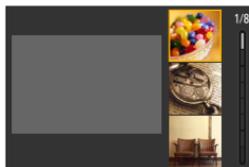
画像効果選択画面で [DISP.] ボタンを押す

• ガイド表示では、各画像効果の説明が表示されます。

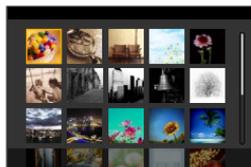
通常表示



ガイド表示



一覧表示



撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



- 画像効果によっては、撮影画面がコマ落としのように表示されます。
- ホワイトバランスは [AWB] に、ISO 感度は [AUTO] に固定されます。
- [クリエイティブコントロール] メニューで、以下のメニュー項目が設定できます。
 - [フィルター効果]：画像効果 (フィルター) の設定
 - [フィルターなし同時記録]：画像効果を加えない写真を同時に記録する設定 (P.145)



画像効果を変えて撮る（クリエイティブコントロールモード）

画像効果を好みに合わせて調整する

1 ▶ を押して設定画面を表示する

2 コントロールダイヤルを回して画像効果を調整する

- [MENU/SET] ボタンを押すと、撮影画面に戻ります。



画像効果	調整できる項目
ポップ	鮮やかさ 落ち着いた色合い ↔ 派手な色合い
レトロ	色合い 黄色っぽい色 ↔ 赤っぽい色
オールドデイズ	コントラスト 明暗差が小さい ↔ 明暗差が大きい
ハイキー	色合い ピンクっぽい色 ↔ 水色っぽい色
ローキー	色合い 赤っぽい色 ↔ 青っぽい色
セピア	コントラスト 明暗差が小さい ↔ 明暗差が大きい
モノクローム	色合い 黄色っぽい色 ↔ 青っぽい色
ダイナミックモノクローム	コントラスト 明暗差が小さい ↔ 明暗差が大きい
ラフモノクローム	粒子感 粒子感が弱い ↔ 粒子感が強い
シルキーモノクローム	ボケ具合 ボケ具合が小さい ↔ ボケ具合が大きい
インプレッシブアート	鮮やかさ 白黒 ↔ 派手な色合い
ハイダイナミック	鮮やかさ 白黒 ↔ 派手な色合い

画像効果を変えて撮る (クリエイティブコントロールモード)

画像効果	調整できる項目
クロスプロセス	<p>色合い 緑っぽい色 / 青っぽい色 / 黄色っぽい色 / 赤っぽい色</p> <ul style="list-style-type: none"> コントロールダイヤルを回して色合いを選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。 
トイフォト	<p>色合い オレンジっぽい色 ↔ 青っぽい色</p>
トイポップ	<p>周辺光量が落ちる範囲 小さい ↔ 大きい</p>
ブリーチバイパス	<p>コントラスト 明暗差が小さい ↔ 明暗差が大きい</p>
ジオラマ	<p>鮮やかさ 落ち着いた色合い ↔ 派手な色合い</p> <ul style="list-style-type: none"> [ジオラマ] について詳しくは (P.65)
ソフトフォーカス	<p>ボケ具合 ボケ具合が小さい ↔ ボケ具合が大きい</p>
ファンタジー	<p>鮮やかさ 落ち着いた色合い ↔ 派手な色合い</p>
クロスフィルター	<p>[・×] 光の輝きの長さ 輝きが短い ↔ 輝きが長い</p> <p>[×・*] 光の輝きの数 輝きが少ない ↔ 輝きが多い</p> <p>[×] 光の輝きの角度 輝きを左に回転 ↔ 輝きを右に回転</p>
ワンポイントカラー	<p>残す色の量 少し色を残す ↔ 多く色を残す</p> <ul style="list-style-type: none"> [ワンポイントカラー] について詳しくは (P.65)
サンシャイン	<p>色合い 黄色っぽい色 / 赤っぽい色 / 青っぽい色 / 白っぽい色</p> <ul style="list-style-type: none"> コントロールダイヤルを回して色合いを選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。  <ul style="list-style-type: none"> [サンシャイン] について詳しくは (P.65)

画像効果を変えて撮る (クリエイティブコントロールモード)

■ [ジオラマ] でぼかし方を設定する

- ① [📷] をタッチしたあと、[📏] をタッチする
- ② ▲▼ または ◀▶ でぼかさない部分を移動する
 - 撮影画面で画面をタッチしても、ぼかさない部分を移動できます。
 - [📏] をタッチすると、撮影する向き（ぼかす向き）を設定できます。
- ③ コントロールダイヤルを回してぼかさない部分の大きさを変更する
 - 画面をピンチアウト / ピンチインしても、拡大 / 縮小できます。
 - [DISP.] ボタンを押すと、初期設定の状態に戻ります。
- ④ [MENU/SET] ボタンを押す



- 動画に音声は録音されません。
- 動画は約 1/10 の時間で記録されます。(10 分間撮影した場合、動画記録時間は約 1 分になります) 表示される記録可能時間は約 10 倍になります。
- 動画撮影を短い時間で終了すると、一定の時間まで撮影を続けることがあります。

■ [ワンポイントカラー] で残したい色を選択する

- ① [📷] をタッチしたあと、[🎨] をタッチする
- ② ▲▼◀▶ で残す色を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - 画面をタッチすることでも、残す色を選べます。
 - [DISP.] ボタンを押すと、初期設定の状態に戻ります。



- 被写体によっては、設定した色が残らない場合があります。

■ [サンシャイン] で光源の位置と大きさを設定する

- ① [📷] をタッチしたあと、[☀️] をタッチする
- ② ▲▼◀▶ で光源の中心の位置を移動する
 - 画面をタッチして光源の位置を移動することもできます。
- ③ コントロールダイヤルを回して光源の大きさを調整する
 - ピンチアウト / ピンチインしても拡大 / 縮小できます。
 - [DISP.] ボタンを押すと、初期設定の状態に戻ります。
- ④ [MENU/SET] ボタンを押す

 光源の中心を置くときのポイント

画像の外に光源の中心を置くことで、より自然な仕上がりにできます。

画像効果を変えて撮る（クリエイティブコントロールモード）

明るさ（露出）・背景のボケ具合（ボケ味コントロール）を設定する

1 ▲ を押して設定画面を表示する

- 明るさ（露出）操作の画面が表示されます。[Fn1] ボタンを押すと、ボケ味コントロール操作、操作の終了に切り換わります。

2 コントロールダイヤルを回して設定する

- [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

明るさ（露出）設定時

- [カスタム] メニュー（操作）の [露出補正画面の操作] で、露出補正画面で設定する内容を変更できます。（P.155）



背景のボケ具合設定時

- ボケ具合の設定画面で [↵] ボタンを押すと、設定が解除されます。



■ タッチパネルで設定を変える

① [👉] をタッチする

② 設定する項目をタッチする

[👉]：画像効果の調整

[👉]：ボケ具合

[👉]：明るさ

③ スライドバーや露出メーターをドラッグして設定する

- [MENU/SET] ボタンを押すと撮影画面に戻ります。



- クリエイティブコントロールモードの [ジオラマ] では、ボケ味コントロール機能を使えません。

絞り / シャッタースピード / ISO 感度を決めて動画を撮る (クリエイティブ動画モード)

撮影モード：

モードダイヤルを [P] / [A] / [S] / [M] のいずれかに合わせたときと同じ操作で、絞り値やシャッタースピード、ISO 感度を変更できます。(プログラムシフト以外)

1 モードダイヤルを に合わせる

2 メニューを設定する

MENU ボタン →  [クリエイティブ動画] → [動画露出設定]

設定：[P] / [A] / [S] / [M]



撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



3 動画ボタン (またはシャッターボタン) を押して撮影を開始する

①  をタッチする (ハイスピード動画撮影時は使えません)

② アイコンをタッチする

 T w	ズーム	 WB	露出補正
F	絞り値	ISO	ISO 感度
SS	シャッタースピード		

③ スライドバーをドラッグして設定する

 / 	ゆっくり設定を変える
 / 	速く設定を変える

タッチ操作をすることで、動画撮影中でも静かに操作できます。



4 動画ボタン (またはシャッターボタン) を押して撮影を終了する

- ISO 感度は次の範囲で設定できます。
 - [AUTO]、80 ~ 3200

■ ISO 感度を [AUTO] に設定したときの、ISO 感度の上限を設定する

MENU ボタン →  [動画] → [ISO オート上限設定 (動画)]

設定：[AUTO] / [200] / [400] / [800] / [1600] / [3200]

絞り / シャッタースピード / ISO 感度を決めて動画を撮る (クリエイティブ動画モード)

スローモーション動画を撮影する (ハイスピード動画)

超高速撮影することにより、スローモーション動画を撮影することができます。再生時には動作などがゆっくり表示されます。

- 撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。

1 モードダイヤルを [M] に合わせる

2 メニューを設定する

MENU ボタン →  [クリエイティブ動画] → [ハイスピード動画]

240fps/VGA	MP4 の [VGA] で 240 コマ / 秒で記録します。
120fps/HD	MP4 の [HD] で 120 コマ / 秒で記録します。

240fps/VGA	MP4 の [VGA] で 240 コマ / 秒で記録します。
120fps/HD	MP4 の [HD] で 120 コマ / 秒で記録します。

3 動画ボタン (またはシャッターボタン) を押して撮影を開始する

4 動画ボタン (またはシャッターボタン) を押して撮影を終了する

- 撮影時、画角が狭くなります。
- 音声は記録されません。
- [240fps/VGA] の場合
連続記録時間が 30 分を超える場合やファイルサイズが 4 GB を超える場合は、ファイルは分かれて保存・再生されます。(撮影は一時中断することなく続けることができます)
- [120fps/HD] の場合
ファイルサイズが 4 GB を超える場合は、ファイルは分かれて保存・再生されます。(撮影は一時中断することなく続けることができます)
連続記録時間が 29 分 59 秒を超えると記録を停止します。(再生時間に換算して約 120 分までの動画を記録できます)
- ピント、ズームは撮影開始時に固定されます。
- 蛍光灯下でちらつきや横しまが出る場合があります。

絞り / シャッタースピード / ISO 感度を決めて動画を撮る (クリエイティブ動画モード)

カメラを固定したままパン / ズーム動画を撮る (4K ライブクロップ)

4K 画角からフルハイビジョン動画を切り出すことで、カメラを固定したままパンやズームイン、ズームアウトの動作を加えた動画を記録できます。



パン



ズームイン

- 撮影時は、カメラをしっかり固定してください。
- MP4 の [FHD/20M/30p] で撮影されます。

1 モードダイヤルを [c/M] に合わせる

2 メニューを設定する

MENU ボタン → [クリエイティブ動画] → [4K ライブクロップ]

設定 : [40 秒] / [20 秒] / [OFF]

3 切り出し開始枠を設定し、[MENU/SET] ボタンを押して決定する

- 初回設定時、1920×1080 の大きさの開始枠が表示されます。
- 位置や大きさは、電源を切っても記憶されます。

切り出し開始枠



操作	タッチ操作	操作内容
▲▼▶▶	タッチ	枠の移動
	ピンチアウト / ピンチイン	枠の拡大 / 縮小 (1920 × 1080 ~ 3840 × 2160 の範囲で設定できます)
[DISP.]	[リセット]	枠の位置と大きさを初回設定時の状態に戻す
[MENU/SET]	[決定]	枠の位置と大きさの決定

絞り / シャッタースピード / ISO 感度を決めて動画を撮る (クリエイティブ動画モード)

4 手順 3 を繰り返し、切り出し終了枠を設定する

- オートフォーカスモードは、[顔認識] (顔認識) に切り換わります。
(ピントを合わせる目は表示されません)



切り出し終了枠

5 動画ボタン (またはシャッターボタン) を押して撮影を開始する

- 動画ボタン (またはシャッターボタン) は押したあと、すぐに離してください。
- 設定した動作時間が経過すると、自動的に撮影が終了します。
途中で撮影を止めるには、再度動画ボタン (またはシャッターボタン) を押してください。

記録経過時間



設定した動作時間



ズームイン / ズームアウトの動作を加える場合は、切り出しの開始と終了の画角を異なる設定にしてください。例えば、ズームイン撮影では開始の画角を大きく、終了の画角を小さく設定します。

■切り出し枠の位置や大きさを変更する

撮影画面で [Fn1] ボタンを押し、手順 3、4 を行う。

■4K ライブクロップ撮影を解除する

手順 2 で [OFF] を選ぶ。

- 画角は狭くなります。
- ハイスピード動画設定時、4K ライブクロップ撮影はできません。
- ピント合わせは、切り出し開始枠内で固定されます。
- [AF 連続動作] は [OFF] になります。
- [測光モード] は [☉] (マルチ測光) になります。
- 4K ライブクロップ撮影中は、ズームできません。

お好みの設定を登録して撮る (カスタムモード)

撮影モード：[C1] / [C2]

お好みのメニュー設定を登録する (カスタムセット登録)

現在のカメラの設定内容を [カスタムセット登録] で 4 つまで登録しておくことができます。([C1]、[C2-1]、[C2-2]、[C2-3])

- お買い上げ時、カスタムセットにはプログラム AE モードの初期設定が登録されています。

準備

あらかじめ撮影モードやメニューを設定して、本機の設定を保存したい状態にしておく。

MENU ボタン →  [セットアップ] → [カスタムセット登録]
→ 登録したいカスタムセット

- 以下のメニュー項目はカスタムセット登録されません。

[カスタム] メニュー	[セットアップ] メニュー	[再生] メニュー
<ul style="list-style-type: none"> • [メニューガイド] • [個人認証] で登録されたデータ • [プロフィール設定] の設定内容 	<ul style="list-style-type: none"> • すべてのメニュー 	<ul style="list-style-type: none"> • [縦位置自動回転] • [画像表示順]

登録したカスタムセットで撮る

1 モードダイヤルを [C1] / [C2] に合わせる

- [C2] は、[C2-1] ~ [C2-3] のうち最後に使ったカスタムセットが呼び出されます。

■ [C2] のカスタムセットを変更するとき

- ① モードダイヤルを [C2] に合わせる
- ② [MENU/SET] ボタンを押して、メニューを表示する
- ③ ▲▼ で使いたいカスタムセットを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 - 選択したカスタムセットの設定に切り換わります。



[C2] で撮影時は、撮影画面の撮影モードアイコンをタッチして、選択画面を表示することもできます。



■ 登録内容を変更する

モードダイヤルを [C1] / [C2] に合わせた状態で、一時的にメニュー設定を変更しても、登録内容は変更されません。登録内容を変更する場合は、[セットアップ] メニューの [カスタムセット登録] で登録内容を上書きしてください。

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

撮影モード： **P** **A** **S** **M** **SCN**

1 ボタン（◀）を押す



2 ◀▶ で [AF] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- シャッターボタン半押し時のピント合わせの動作を設定する（P.73）
- オートフォーカスモードを切り換える（P.74）

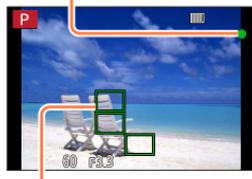
3 シャッターボタンを半押しする

- 電子音がピピッと鳴り、オートフォーカスが動きます。ピントが合わないときは、ピピピピッと鳴ります。
- 暗い環境ではフォーカス表示が [●] と表示され、通常よりピント合わせに時間がかかることがあります。

フォーカス表示

（ピントが合う：点灯

ピントが合わない：点滅）



AF エリア

（ピントが合う：緑）



次の被写体や撮影環境では、ピントが合いにくいことがあります。

- 動きの速い被写体
- 非常に明るい、または濃淡のないもの
- ガラス越しや光るものの近くで撮るとき
- 暗いときや手ブレしているとき
- 被写体に近すぎるとき
- 遠くと近くを同時に撮るとき

- 低照度時にオートフォーカスでピントが合いにくい場合、[モニター表示速度] を [60fps] に設定してください。

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

フォーカスモードを設定する（AFS、AFF、AFC）

撮影モード：   P A S M   

シャッターボタン半押し時のピント合わせの動作を設定します。

MENU ボタン →  **【撮影】** /  **【動画】** → **【AFS/AFF/AFC】**

設定	被写体の動き、 撮影シーン	設定内容
AFS	静止している (風景、記念撮影など)	AFSとは「Auto Focus Single」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。半押ししている間、ピントは固定されます。
AFF	動きが予測できない (子ども、ペットなど)	AFFとは「Auto Focus Flexible」の略で、シャッターボタンを半押しすると、自動でピント合わせを行います。半押ししている間に被写体が動いた場合、動きに合わせて自動でピントを合わせ直します。
AFC	動いている (スポーツ、鉄道など)	AFCとは「Auto Focus Continuous」の略で、シャッターボタンを半押ししている間、被写体の動きに合わせて常にピント合わせを行います。



【AFF】、【AFC】で撮影する場合は

- 動いている被写体の場合は、撮影時に予測してピント合わせを行います。（動体予測）
- W 端から T 端にズームしたり、急に被写体を遠くから近くに变えた場合、ピントが合うまで時間がかかることがあります。
- 撮影中、ピントが合いにくいときは、再度シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ直してください。
- シャッターボタンを半押ししている間、画面に揺れが見える場合があります。

- 次の場合、【AFF】または【AFC】は、【AFS】と同じ動作をします。
 - ・クリエイティブ動画モード
 - ・4K フォトの  (4K 連写 (S/S)) で撮影時
 - ・低照度時
- 4K フォト撮影時、【AFF】に設定できません。撮影時には AF 連続動作が働きます。
- フォーカスセレクト撮影時は設定できません。

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

オートフォーカスモードを切り換える

撮影モード：  P A S M   

被写体の位置や数に応じて、ピントの合わせ方を選択できます。

MENU ボタン →  **【撮影】** /  **【動画】** → **【オートフォーカスモード】**

設定：（顔・瞳認識） / （追尾） / （49点） /  など（カスタムマルチ） / （1点） / （ピンポイント）
（P.75～79）

- インテリジェントオートモード、インテリジェントオートプラスモード時は、 または  に設定できます。
- 次の場合、 に固定されます。
 - ・自分撮りモード（ に設定できない撮影モードの場合は、各撮影モードの設定に従います）
 - ・4K ライブクロップ撮影時
- 次の場合、 に固定されます。
 - ・デジタルズーム使用時
 - ・クリエイティブコントロールモード（**【ジオラマ】**）
- 次の場合、オートフォーカスモードは設定できません。
 - ・フォーカスセレクト撮影時
 - ・**【スナップムービー】** の **【ピント送り】** を **【ON】** に設定時

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

人物を正面から撮るとき （顔・瞳認識）

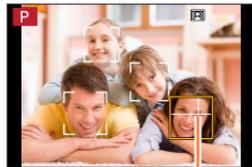
人の顔と目を自動的に検知します。ピントは本機に近い側の目に、露出は顔に合わせてます。
 （[測光モード] を （マルチ測光）に設定時）

- 検知できる顔は 15 個までです。検知できる目はピントを合わせる顔の目だけです。
- カメラが顔を認識すると AF エリアとピントを合わせる目が表示されます。

黄色：シャッターボタンを半押しし、ピントが合うと緑色に変わります。

白色：複数の顔を認識すると表示されます。

黄色の AF エリア枠内と同じ距離にある顔にはピントが合います。



ピントを合わせる目

■ピントを合わせる目を変更する

ピントを合わせる目をタッチする

-  をタッチする、または [MENU/SET] ボタンを押すと、ピントを合わせる目の設定が解除されます。



- 次の場合、（顔・瞳認識）に設定できません。
 - シーンガイドモード（[夜景をきれいに撮る] [夜空をクールに撮る] [夜景を暖かく撮る] [夜景をアーティストティックに撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を手持ちで撮る] [料理をおいしそうに撮る] [スイーツをかわいく撮る]）
- 4K ライブクロップ設定時、ピントを合わせる目の変更はできません。
- 被写体の動きが速いときなど、状況によって顔を認識できない場合は、（49点）に切り換わります。

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

動いている被写体を自動でフォーカスロックするとき （追尾）

ボタン操作

被写体を追尾 AF エリアに合わせ、シャッターボタンを半押しする

被写体を認識すると追尾 AF エリアが緑色になります。シャッターボタンを離すと追尾 AF エリアが黄色に変わり、自動的にピントを合わせ続けます。

- ・ 追尾 AF を解除するとき → [MENU/SET] ボタンを押す
- ・ ピントが合う範囲：[AF ]（AF マクロ）と同じ（P.83）



追尾 AF エリア

タッチ操作

被写体をタッチする

タッチシャッター機能を解除した状態で行ってください。

ロック中は追尾 AF エリアが黄色になります。

- ・ 追尾 AF を解除するとき → [] をタッチする



- AF ロックに失敗したときは、赤く点滅したあと消えます。
- [測光モード] を []（マルチ測光）に設定すると、ロックした被写体に合わせて露出を調整します。（P.145）
- 被写体が小さいときや暗いときなど、撮影状況によっては、追尾 AF が正しく動作しない場合があります。追尾 AF が動かないときは、[]（1点）となります。
- インターバル撮影時は [] は使えません。
- 次の場合、[] は []（1点）の動作になります。
 - ・ シーンガイドモード（[水面をキラキラ撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [花をふんわり撮る] [モノクロで撮る]）
 - ・ クリエイティブコントロールモード（[セピア] [モノクローム] [ダイナミックモノクローム] [ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン]）
 - ・ [フォトスタイル] の [モノクローム]

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

被写体が中央にないとき （49点）

撮影画面の広範囲（最大49点）の中の被写体にピントを合わせます。



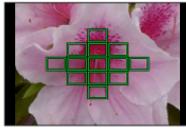
AFエリアの形状を設定するとき  など（カスタムマルチ）

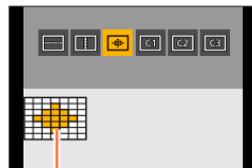
49点のAFエリアから、被写体に合わせて、自由にAFエリアの形状を設定できます。

MENU ボタン →  **【撮影】** /  **【動画】** → **【オートフォーカスモード】**

1 カスタムマルチアイコン（ など）を選び、▲を押す

2 ◀▶ で設定項目を選ぶ

 （横）	流し撮りなどの撮影に便利な形状です。	
 （縦）	建築物の撮影などに便利な形状です。	
 （中央）	中央周辺にピントを合わせたい場合に便利な形状です。	
 /  /  （カスタム）	カスタム登録した内容を設定できます。	



現在のAFエリアの形状

3 ▼を押す

- AFエリア設定画面が表示されます。

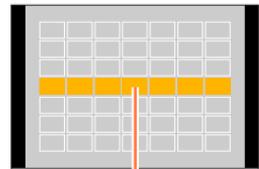
自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

4 AF エリアを選ぶ

[] / [] / [] 選択時

① AF エリアを変更する

操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	タッチ	位置の移動
	ピンチアウト / ピンチイン	大きさの変更 (3段階)
[DISP.]	[リセット]	AF エリアを中央に戻す ・もう一度押すと、大きさが 初期設定に戻ります。



選択されている AF エリア

② [MENU/SET] ボタンを押す

[C1] / [C2] / [C3] 選択時

① AF エリアを変更する

ボタン操作

▲▼◀▶ で AF エリアを選び、[MENU/SET] ボタンで設定する（繰り返す）

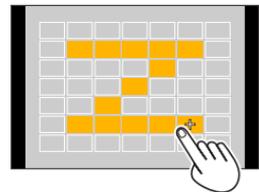
- ・もう一度 [MENU/SET] ボタンを押すと選択が解除されます。
- ・[DISP.] ボタンを押すと、すべての選択が解除されます。

タッチ操作

AF エリアにしたい場所をタッチする

- ・選択された AF エリアをタッチすると選択が解除されます。

② [Fn2] ボタンを押す



■設定した AF エリアを [C1]、[C2]、[C3]（カスタム）に登録する

① 手順 2 の画面で、▲ を押す

② ▲▼ で登録先を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 4K フォト撮影中や [AF 連続動作] で動画撮影中は、AF エリアの中央でピントを合わせます。
- [] / [] / [] で調整した設定は、電源を切るとお買い上げ時の設定に戻ります。

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

ピントを合わせる位置が決まっているとき （1点） / （ピンポイント）（1点）

AF エリア内にピントを合わせます。



 で被写体が撮りたい構図の中央にないときなどは、被写体に AF エリアを合わせ、シャッターボタン半押しでピントと露出を固定し、半押ししたまま撮りたい構図に本機を動かして撮影することもできます。（[撮影] メニューの [AFS/AFF/AFC] を [AFS] に設定時のみ）

（ピンポイント）

（1点）より小さな点で繊細なピント合わせができます。シャッターボタンを半押しすると、ピントが合っている位置を確認するための画面が拡大表示されます。

- 動画撮影中や 4K フォト撮影時、（ピンポイント）に設定している場合は、（1点）に切り換わります。
- 次の場合、（ピンポイント）に設定できません。
 - [撮影] メニューの [AFS/AFF/AFC] を [AFF] または [AFC] に設定時

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

AF エリアの位置や大きさを変更する

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

オートフォーカスモードの 、、、 では、AF エリアの位置や大きさを設定することができます。 では、ロック開始位置を設定できます。

- 撮影画面をタッチすることでも、AF エリア設定画面を表示できます。
（[カスタム] メニュー（操作）の [タッチ設定] で、[タッチ AF] を [AF] に設定時）
- タッチシャッター機能を解除した状態で行ってください。

- [測光モード] が （スポット）のときは、測光ターゲットも AF エリアに合わせて移動します。
- デジタルズーム領域では、AF エリアの位置と大きさを変えることはできません。

/ / 選択時

MENU ボタン → **[撮影]** / **[動画]** → **[オートフォーカスモード]**

- ① 、 または を選び、▼ を押す
 - AF エリア設定画面が表示されます。
- ② AF エリアを変更する



操作	タッチ操作	操作内容
	タッチ	AF エリアの移動
—	ピンチアウト / ピンチイン	AF エリアを細かく拡大 / 縮小*
	—	AF エリアを拡大 / 縮小*
[DISP.]	[リセット]	AF エリアを中央に戻す • もう一度押すと、大きさが初期設定に戻ります。

* の場合は操作できません。

- ③ [MENU/SET] ボタンを押す
 - 選択時は、設定した場所に と同じ動きの AF エリアが表示されます。
[MENU/SET] ボタンを押す、または をタッチすると AF エリアの設定を解除できます。

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

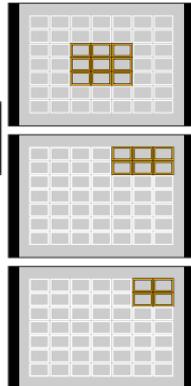
■ [AF] 選択時

AF エリアのグループを選ぶことで、ピントを合わせる位置を設定できます。49 点の AF エリアは 9 点（画面の端では 6 点または 4 点）ごとのグループに分けられています。

MENU ボタン → **【撮影】** / **【動画】**
→ **【オートフォーカスモード】**

- ① を選び、▼ を押す
 - AF エリア設定画面が表示されます。
- ② ▲ ▼ ◀ ▶ で AF エリアのグループを選択する
- ③ **[MENU/SET]** ボタンを押す
 - **[MENU/SET]** ボタンを押す、または をタッチすると AF エリアの設定が解除されます。

グループの例



■ [+] 選択時

画面を拡大することで、ピントを合わせる位置の細かい設定ができます。
• 画面の端にはピントを合わせる位置の設定ができません。

MENU ボタン → **【撮影】** / **【動画】** → **【オートフォーカスモード】**

- ① を選び、▼ を押す
- ② ▲ ▼ ◀ ▶ でピントを合わせる位置を決め、
[MENU/SET] ボタンを押す
 - ピントを合わせる位置を決めるための拡大画面が表示されます。
- ③ をピントを合わせる位置に移動する



操作	タッチ操作	操作内容
▲ ▼ ◀ ▶	タッチ	の移動
—	ピンチアウト / ピンチイン	画面を細かく拡大 / 縮小
	—	画面を拡大 / 縮小
—		拡大表示の切り換え（画面の一部 / 画面全体）
[DISP.]	[リセット]	手順 ② の画面に戻す

- 画面の一部のときは約 3 倍～6 倍、画面全体のときは約 3 倍～10 倍に拡大 / 縮小できます。
- をタッチすることでも、写真を撮影することができます。

- ④ **[MENU/SET]** ボタンを押す

自動でピントを合わせる（オートフォーカス）

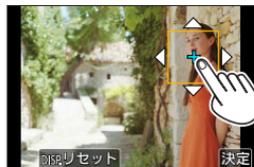
タッチした位置にピントと明るさを合わせる

撮影モード：

MENU ボタン → [カスタム] → [操作] → [タッチ設定] → [タッチ AF] → [AF+AE]

1 明るさを合わせたい被写体にタッチする

- タッチした場所に と同じ動きの AF エリアが表示されます。(P.80)
- 明るさを合わせる位置が AF エリアの中央に表示され、AF エリアに合わせて移動します。
- [測光モード] はタッチ AE 専用の に変わります。



2 [決定] をタッチする

- ([] 設定時は []) をタッチすると、[AF+AE] の設定が解除されます。



背景が明るくなりすぎた場合などは、露出補正をすることで、背景との明るさのバランスを調整できます。



- タッチシャッター撮影時は、タッチした位置でピントと明るさを合わせて撮影します。
- 画面の端では、タッチした場所の周辺の明るさに影響を受ける場合があります。
- 次の場合、[AF+AE] は動きません。
 - デジタルズーム使用時
 - 4K ライブクロップ撮影時

近づいて撮る（マクロ撮影）

撮影モード： **P** **A** **S** **M** **SCN**

花などの被写体に近づいて撮りたいときに設定します。

1 ボタン（◀）を押す



2 ◀▶ でモードを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

 AF (AF マクロ)	ズームを最も広角（W 端）にすると、レンズから 3 cm まで接近して撮影できます。
 (ズームマクロ)	被写体に近づいて、さらに拡大して撮りたいときに合わせてください。W 端の距離（3 cm）のまま、最大 3 倍までデジタルズームして撮影します。 <ul style="list-style-type: none"> • 通常撮影時よりも画質が劣化します。 • ズーム領域表示は青色（デジタルズーム領域）になります。

- 近距離で撮影するときは、フラッシュを使用しないことをお勧めします。
- 撮影可能範囲外で使用しているときは、フォーカス表示が点灯しているも、ピントが合っていない場合があります。
- 近距離を撮影する場合は…
 - 三脚を使用し、セルフタイマー（P.108）を使って撮影することをお勧めします。
 - ピントの合っている範囲（被写界深度）が非常に狭くなりますので、ピントを合わせたあと、カメラと被写体との距離が変化するとピントが合いにくくなります。
 - 画像の周辺部の解像度が少し低下する場合がありますが、故障ではありません。
- 次の場合、[ズームマクロ] に設定できません。
 - シーンガイドモード（[[夜景を手持ちで撮る]]）
 - ハイスピード動画撮影時
 - クリエイティブコントロールモード（[[インプレッシブアート]] [[トイフォト]] [[トイポップ]] [[ジオラマ]]）
 - [HDR] を [ON] に設定時
 - [クオリティ] を [RAW] [RAW] [RAW] に設定時

手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

撮影モード： **P** **A** **S** **M** **SCN**

ピントを固定して撮影したいときや、オートフォーカスでピントが合いにくい環境では、マニュアルフォーカスが便利です。

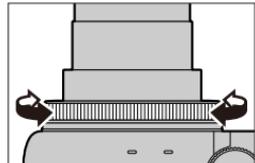
1 **[MF]** ボタン（◀）を押す

2 ◀▶ で **[MF]** を選び、**[MENU/SET]** ボタンを押す



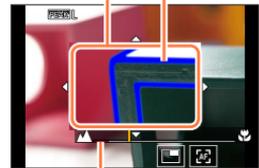
3 コントロールリングを回してピントを調整する

時計回りに回す：近くにピントを合わせる
反時計回りに回す：遠くにピントを合わせる



- ピントが合っている部分に色が付いて表示されます。（ピーキング）（P.157）
- アシスト画面に切り換わり、拡大表示されます。（MF アシスト）
画面をドラッグすると、拡大表示する位置を移動できます。
- 画面をピンチアウトするか 2 回タッチしても、拡大表示できます。

MF アシスト（拡大画面）
ピーキング



MF ガイド（P.159）

手動でピントを合わせる（マニュアルフォーカス）

操作	タッチ操作	操作内容
▲▼◀▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動
—	ピンチアウト / ピンチイン	画面を細かく拡大 / 縮小
	—	画面を拡大 / 縮小
—		拡大表示の切り換え（画面の一部 / 画面全体）※ 
[DISP.]	[リセット]	拡大表示する部分を中央に戻す ・ もう一度押すと、大きさが初期設定に戻ります。

※画面の一部のときは約3倍～6倍、画面全体のときは約3倍～10倍に拡大 / 縮小できます。

4 シャッターボタンを半押しする

- ・ 撮影画面が表示されます。
- ・ [MENU/SET] ボタンを押しても操作できます。

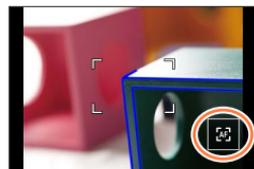


オートフォーカスを使って素早くピントを合わせる

マニュアルフォーカス時に、オートフォーカスでピントを合わせることができます。

1 [AF-ON] をタッチする

- ・ 枠の中心でオートフォーカスが働きます。
- ・ 次の操作でもオートフォーカスが働きます。
 - [AF-ON] を設定したファンクションボタンを押す (P.39)
 - モニターをドラッグしてピントを合わせたい位置で指を離す
- ・ 4K ライブクロップ設定時、この機能は使えません。



ピントや露出を固定して撮る (AF/AE ロック)

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**  **SCN** 

撮影前にピントや露出を固定し、そのまま構図を変えて撮影します。
画面の端にピントを合わせたいときや逆光時などに便利です。

準備

ファンクションボタンに [AF/AE LOCK] を設定する。(P.39)

- 1 被写体にカメラを向ける
- 2 ファンクションボタンを押したままにし、ピントや露出を固定する
・ファンクションボタンを離すと、ロックは解除されます。
- 3 ファンクションボタンを押したまま、撮りたい構図に本機を動かし、シャッターボタンを全押しする

■ [AF/AE LOCK] の機能を設定する

MENU ボタン →  [カスタム] →  [フォーカス/リリース]
→ [AF/AE ロック切換]

AE LOCK	露出だけを固定します。 ・露出が合うと、[AEL] が表示されます。
AF LOCK	ピントだけを固定します。 ・ピントが合うと、[AFL] が表示されます。
AF/AE LOCK	ピントと露出を固定します。 ・ピントと露出が合うと、[AFL] と [AEL] が表示されます。
AF-ON	オートフォーカスが働きます。

- マニュアル露出モード時は、AE ロックは無効になります。
- マニュアルフォーカス時は、AF ロックは無効になります。
- AE ロック時でも、プログラムシフトを設定できます。

露出を補正して撮る

撮影モード： **P** **A** **S** **M** **SCN**

逆光時や、暗すぎる / 明るすぎる場合に露出を補正します。

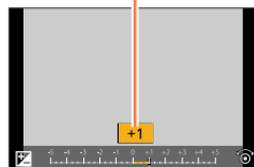
1 ボタン (▲) を押す



露出補正

2 コントロールダイヤルを回して露出を補正する

- ・ [カスタム] メニュー (操作) の [露出補正画面の操作] で、露出補正画面で設定する内容を変更できます。(P.155)



暗すぎる



[+] 方向へ
補正

適度な明るさ



[-] 方向へ
補正

明るすぎる



3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- ・ シャッターボタン半押しでも決定できます。

- マニュアル露出モードでは、ISO 感度を [AUTO] に設定時のみ露出補正できます。([Q.MENU] ボタンでクイックメニューを表示して、露出補正を選択してください)
- -5 EV ~ +5 EV の範囲で補正できます。
- 動画、4K フォト、フォーカスセレクト撮影時は、-3 EV ~ +3 EV の範囲で補正できます。
- 明るさによっては、補正できない場合があります。
- 露出補正值が -3 EV ~ +3 EV の範囲を超える場合、撮影画面の明るさはそれ以上変化しません。撮影画像の実際の明るさは、オートレビューや再生画面で確認しながら撮影することをお勧めします。
- 設定した露出補正值は、電源を切っても記憶しています。([露出補正リセット] を [OFF] に設定時)

ISO 感度を設定する

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

ISO 感度（光に対する感度）を設定します。

MENU ボタン → **【撮影】** / **【動画】** → **【ISO 感度】**

1 コントロールダイヤルを回して ISO 感度を選ぶ



AUTO	被写体の明るさに応じて、最大 3200（フラッシュ使用時：1600）*1 までの範囲で自動設定します。
ISO (インテリジェント ISO)	被写体の動きと明るさに応じて、最大 3200（フラッシュ使用時：1600）*1 までの範囲で自動設定します。 ・シャッタースピードはシャッターボタン半押し時に固定されず、全押しするまで常に被写体の動きに合わせて変化します。
80 ~ 3200、H.6400 *2	それぞれの ISO 感度に固定します。

*1 **【撮影】** メニューの **【ISO オート上限設定（写真）】** を **【AUTO】** に設定時

*2 **【カスタム】** メニュー（露出）の **【拡張 ISO 感度】** が **【ON】** の場合のみ

2 **【MENU/SET】** ボタンを押して決定する

・シャッターボタン半押しでも決定できます。



設定の目安

ISO 感度	80	↔	3200
適した撮影場所	明るい（屋外）		暗い
シャッタースピード	遅くなる		速くなる
ノイズ	減る		増える
被写体ブレ	多い		少ない

- **【AUTO】** 設定時のフラッシュ撮影可能範囲については、[123 ページ](#)をお読みください。
- シャッター優先 AE モード時やマニュアル露出モード時は、**【ISO】** は選択できません。
- 動画撮影中、ISO 感度は **【AUTO】**（動画用）の動作になります。（クリエイティブ動画モード時以外）
- クリエイティブ動画モード時（**【動画】** メニューの **【ISO 感度】** から設定）、4K フォト、フォーカスセレクト撮影時は、次の範囲で設定できます。
 - ・ **【AUTO】**、80 ~ 3200

ホワイトバランスを調整する

撮影モード： **P** **A** **S** **M** **SCN**

光源に合わせて見た目に近い白色に調整します。

MENU ボタン → **[撮影]** → **[ホワイトバランス]**

1 コントロールダイヤルを回してホワイトバランスを選ぶ

<p>AWB/ AWBc/ AWBw</p>	<p>環境光に応じて、自動で色合いを調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 白熱電球下など赤みがかかる光源下では、 <ul style="list-style-type: none"> – [AWBc] は被写体本来の色を優先し、赤みを抑えます。 – [AWBw] は見た目の印象を優先し、赤みを残します。 [AWBc] または [AWBw] に設定時、光源によっては [AWB] と同じ色に調整される場合があります。
	<p>晴天下に適した色合いに調整します。</p>
	<p>曇天下に適した色合いに調整します。</p>
	<p>日陰に適した色合いに調整します。</p>
	<p>白熱灯の照明下に適した色合いに調整します。</p>
	<p>フラッシュ撮影時に適した色合いに調整します。</p>
	<p>手動で設定した設定値を使用します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ▲ を押す 画面中央の枠内に紙など白いものを映し、シャッターボタンを押す <ul style="list-style-type: none"> ホワイトバランスが設定され、撮影画面に戻ります。 被写体が明るすぎたり、暗すぎたりすると、正しくホワイトバランスが設定できない場合があります。
	<p>色温度でホワイトバランスを設定できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ▲ を押す ▲▼ で色温度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す <ul style="list-style-type: none"> [2500K] ~ [10000K] まで設定できます。



*動画、4K フォト、フォーカスセレクト撮影時は [AWB] の動作になります。

2 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- シャッターボタン半押しでも決定できます。



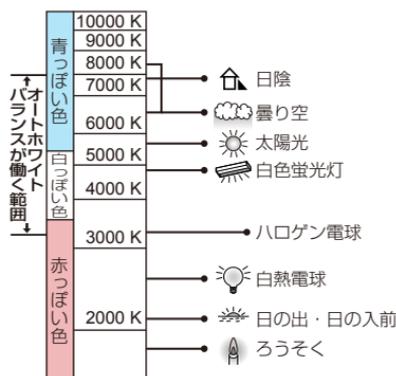
蛍光灯や LED などの照明下では、その種類によって最適なホワイトバランスは異なりますので、[AWB]、[AWBc]、[AWBw] または 、、、 に設定してください。

ホワイトバランスを調整する

- フラッシュ撮影時、フラッシュ撮影可能範囲外で撮影すると、ホワイトバランスが合わない場合があります。
- シーンガイドモードでは、それぞれのシーンに適した設定になります。
- シーンガイドモードでは、シーンまたは撮影モードを変更すると、設定したホワイトバランス（ホワイトバランス微調整も含む）は、[AWB] に戻ります。

■オートホワイトバランス

AWB（オートホワイトバランス）に設定すると、光源に合わせて色合いを調整します。ただし、明暗の極端な状況では、画像が赤っぽくなったり、青っぽくなったりします。また、光源が複数の場合は、正常に働かない場合があります。この場合は、ホワイトバランスを [AWB]、[AWBc]、[AWBw] 以外に設定して調整してください。



ホワイトバランスを微調整する

ホワイトバランスを設定しても思いどおりの色合いにならないとき、ホワイトバランスを個々に微調整することができます。

1 「ホワイトバランスを調整する」(P.89) の手順 **1** でホワイトバランスを選び、▼を押す

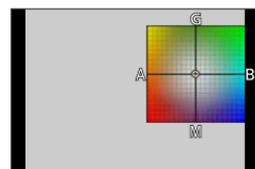
2 ▲▼◀▶でホワイトバランスを微調整する

- ◀: A (アンバー：オレンジ系) ▶: B (ブルー：青系)
- ▲: G (グリーン：緑系) ▼: M (マゼンタ：赤系)

- ホワイトバランスのグラフをタッチしても微調整することができます。
- [DISP.] ボタンを押すと中心点に戻ります。

3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- シャッターボタン半押しで、撮影画面に戻ります。



- ホワイトバランスを A (アンバー) または B (ブルー) 方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンが微調整した色に変わります。
- ホワイトバランスを G (グリーン) または M (マゼンタ) 方向に微調整すると、画面に表示されるホワイトバランスアイコンに [+] または [-] が表示されます。

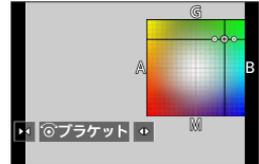
ホワイトバランスを調整する

ホワイトバランスのブラケット撮影をする

ホワイトバランス微調整の調整値を基準にブラケット設定を行い、1回の撮影操作で異なる色合いの写真を自動的に3枚撮影します。

1 「ホワイトバランスを微調整する」(P.90) の手順 2 で ホワイトバランスを微調整し、コントロールダイヤルを 回してブラケット設定を行う

- [▶◀] / [◀▶] / [◀▶] / [▶◀] をタッチしてもブラケット設定することができます。



2 [MENU/SET] ボタンを押して決定する

- シャッターボタン半押しで、撮影画面に戻ります。

- ホワイトバランスブラケットは、[撮影] メニューの [ブラケット] でも設定できます。(P.113)
- 次の場合、ホワイトバランスブラケットは働きません。
 - シーンガイドモード（[水面をキラキラ撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を手持ちで撮る] [花をふんわり撮る]）
 - 連写撮影時
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - 動画撮影中の写真撮影
 - [クオリティ] を [RAW] [RAW] [RAW] に設定時
 - インターバル撮影時
 - [コマ撮りアニメ] 時（[自動撮影] 設定時のみ）

ドライブモードを選ぶ

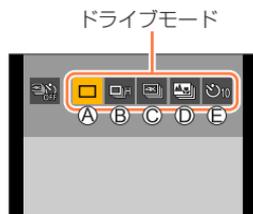
撮影モード：

シャッターボタンを押したときの動作を切り換えることができます。

1 ボタン (▼) を押す



2 ◀▶ でドライブモードを選び、
[MENU/SET] ボタンを押す



① 単写	シャッターボタンを押すと 1 枚だけ撮影します。
② 連写 (P.93)	シャッターボタンを押している間、連続撮影します。
③ 4K フォト (P.95)	シャッターボタンを押すと 4K フォトで撮影します。
④ フォーカスセレクト (P.104)	シャッターボタンを押すとフォーカスセレクト撮影をします。
⑤ セルフタイマー (P.108)	シャッターボタンを押すと、設定した時間後に撮影します。

- を選ぶと、単写 (お買い上げ時の設定) に戻ります。

連写する

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

■ [連写速度] を設定する

- ① 92 ページの手順 2 で連写を選んで ▲ を押す
- ② ◀▶ で連写速度を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

		[H] (高速)	[M] (中速)	[L] (低速)
連写速度	AFS/MF	10 コマ / 秒	5 コマ / 秒	2 コマ / 秒
	AFF/AFC	5 コマ / 秒		
連写中のライブビュー	AFS/MF	なし	あり	あり
	AFF/AFC	あり		
連写コマ数※1	RAW ファイルあり	26 コマ以上		
	RAW ファイルなし	100 コマ以上		

※1 当社測定条件による撮影時。

カードの空き容量がいっぱいになるまで撮影されますが、途中から連写速度が遅くなります。撮影条件やカードの種類またはカードの状態などによって制限されます。

■ 連続撮影可能枚数について

シャッターボタンを半押しすると、連続撮影可能枚数が表示されます。撮影速度を維持しながら撮影できる枚数の目安が確認できます。

例) 20 枚のとき：[r20]



- 撮影を始めると連続撮影可能枚数は減少します。
[r0] と表示されると、撮影速度が低下します。
- [r99+] と表示されているときは、100 枚以上の連続撮影ができます。

■ 連写を解除する

[] ボタン (▼) を押して [□] (単写) または [OFF] を選ぶ

**連写時のピントについて**

ピント合わせはフォーカスの設定と [カスタム] メニュー (フォーカス / レリーズ) の [フォーカス / レリーズ優先] の設定によって異なります。

フォーカスの設定	フォーカス / レリーズ優先	H	M, L
AFS	フォーカス / バランス / レリーズ	1 コマ目	
AFF/AFC*2	フォーカス	予測ピント*3	常時ピント*4
	バランス / レリーズ	予測ピント*3	
MF	—	マニュアルで設定したフォーカス	

*2 被写体が暗い場合は、ピントは 1 コマ目に固定されます。

*3 連写速度を優先し、可能な範囲でピントの予測を行います。

*4 常時ピントを合わせながら連写するので、連写速度は遅くなることがあります。

- 連写速度は、次の設定によって低下することがあります。
[ISO 感度] / [記録画素数] / [クオリティ] / [AFS/AFF/AFC] / [フォーカス / レリーズ優先]
- 連写速度を [H] (フォーカスモードが [AFS] または [MF] の場合) 設定時は、1 コマ目の露出に固定されます。その他の場合は、1 コマごとに露出を調整します。
- **連写した写真の保存には時間がかかる場合があります。保存中に引き続き連写した場合は、連写コマ数が減少します。連写時は、高速タイプのカードのご使用をお勧めします。**
- 次の場合、連写は無効になります。
 - シーンガイドモード ([水面をキラキラ撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を手持ちで撮る] [花をふんわり撮る])
 - クリエイティブコントロールモード ([ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ジオラマ] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン])
 - 自分撮りモード
 - フラッシュ撮影時
 - インターバル撮影時
 - [コマ撮りアニメ] 時 ([自動撮影] 設定時のみ)

4K フォトで撮影して、写真を選んで保存する

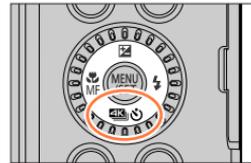
4K フォトで撮る

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**   

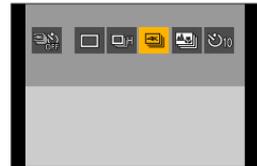
約 800 万画素の写真を 30 コマ / 秒で連写撮影します。撮影後、連写ファイルから一瞬を選び出し、保存することができます。

- 撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。

1 ボタン (▼) を押す

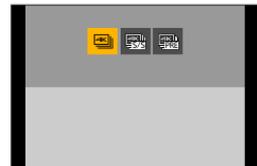


2 ◀▶ で 4K フォトを選び、▲ を押す



3 ◀▶ で撮影方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 撮影方法は、[撮影] メニューの [4K フォト] でも設定できます。

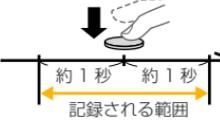


 4K 連写	動きが速い被写体のベストな一瞬をとらえたいとき (スポーツ、飛行機、鉄道など) 音声記録：なし
 4K 連写 (S/S) S/S とは「Start/Stop」の略を表します。	いつ起こるか分からないシャッターチャンスをとらえたいとき (植物、動物、子どもなど) 音声記録：あり*
 4K プリ連写	シャッターチャンスの瞬間に合わせて撮りたいとき (ボールを投げる瞬間など) 音声記録：なし

* 本機で再生する場合、音声は再生されません。

4K フォトで撮影して、写真を選んで保存する

4 4K フォトで撮影する

 4K 連写	① シャッターボタンを半押しする ② 撮影したい間、シャッターボタンを全押ししたままにする ・全押しから約 0.5 秒後に撮影が開始されますので、早めに全押ししてください。	
 4K 連写 (S/S) S/S とは「Start/Stop」の略を表します。	① シャッターボタンを全押しする ・撮影を開始します。 ② もう一度、シャッターボタンを全押しする ・撮影を終了します。  撮影中に [Fn1] ボタンを押すと、マーカーを付けることができます。(1 回の記録につき最大 40 個まで) 4K 連写ファイルから写真を選び保存するときに、マーカーを付けた位置へスキップできます。	
 4K ブリ連写	① シャッターボタンを全押しする ・オートフォーカス時はピントを合わせ続けます。マニュアル露出モード以外では、露出も合わせ続けます。 ・通常の撮影画面と比べて滑らかさが劣る場合があります。  被写体が中央にないときなどで、ピントや露出を固定したい場合は、AF/AE ロックをお使いください。(P.86)	

- ・連写した画像は、1 つの 4K 連写ファイルとして MP4 形式で保存されます。
- ・オートレビューを設定している場合、写真を選ぶ画面が自動で表示されます。続けて撮影する場合は、シャッターボタンを半押しして、撮影画面を表示してください。
- ・4K 連写ファイルから写真を選び保存する方法は、97 ページをお読みください。

■4K フォトを解除する

[] ボタン (▼) を押して [] (単写) または [] を選ぶ



4K フォトモードで自分撮りをする (4K セルフィー)

4K フォトモードに切り換えて自分撮りをすることができます。(P.52)

- ・自分撮りモードでは、背景を広く写すことができる [4K 連写 (広角)] で撮影できます。(自分撮りモード時以外は [4K 連写] に切り換わります)

4K フォトで撮影して、写真を選んで保存する



本機の温度やバッテリーの消耗について

- 周囲の温度が高かったり、連続で 4K フォトの撮影を行ったとき、 が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- (4K プリ連写) に設定しているときは、バッテリーの消耗が早くなり、本機の温度も上昇します。(本機の保護のため、 (4K 連写) に切り換わる場合があります) 撮影するときだけ (4K プリ連写) に設定してください。

4K 連写ファイルから写真を選び保存する

1 再生画面で が付いた画像を選び、▲ を押す

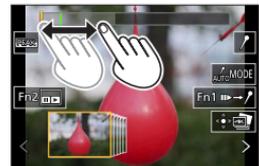
- をタッチしても操作できます。
- (4K プリ連写) で撮影した場合は、手順 3 へ進んでください。



2 スライダーをドラッグし、おおまかにシーンを選ぶ

- スライドフォトセレクト画面での操作方法は、98 ページをお読みください。
- をタッチする (または [Fn2] ボタンを押す) と 4K 連写再生画面でシーンを選ぶこともできます。(P.99)

スライドフォトセレクト画面



3 ドラッグし、写真として保存するコマを選ぶ

- ◀▶ でも操作できます。



4 をタッチし、写真を保存する

- 選んだ写真は、4K 連写ファイルとは別に JPEG 形式で新規保存されます。
- 保存する写真には、シャッタースピード、絞り、ISO 感度などの撮影情報 (Exif 情報) も記録されます。

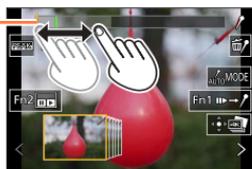


[再生] メニューの [4K フォト一括保存] を使うと、5 秒分の写真を一括保存することができます。(P.181)

4K フォトで撮影して、写真を選んで保存する

<スライドフォトセレクト画面>

表示中のコマの位置



操作	タッチ操作	操作内容
—	タッチ / ドラッグ	表示するシーンの選択 • 選んだシーンの前後のコマをスライドフォトで表示します。
	ドラッグ	コマの選択 • スライドフォトセレクトを切り換えるには、端のコマを選択し、[<] または [>] をタッチしてください。
長押し	長押し	シーンまたはコマを連続して戻す / 送る
	ピンチアウト / ピンチイン	表示の拡大 / 縮小
	ドラッグ	拡大表示位置の移動 (拡大表示中)
—		表示するマーカーの切り換え (P.100)
[Fn1]		マーカー操作への切り換え (P.100)
[Fn2]		4K 連写再生画面を表示
—	/	マーカーの追加 / 削除
—		ピントが合っている部分に色を付けて表示 (ピーキング) • [PEAKS OFF] → [PEAKS L] (低) → [PEAKS H] (高) の順に切り換わります。
[MENU/SET]		写真の保存

4K フォトで撮影して、写真を選んで保存する

< 4K 連写再生画面 >



一時停止中



連続再生中

操作	タッチ操作	操作内容
—	タッチ/ドラッグ	表示するシーンの選択 (一時停止中)
▲		連続再生*/一時停止 (連続再生中)
▼		連続戻し再生*/一時停止 (連続戻し再生中)
		早送り再生/コマ送り (一時停止中)
		早戻し再生/コマ戻し (一時停止中)
	ピンチアウト/ ピンチイン	表示の拡大/縮小 (一時停止中)
▲▼◀▶	ドラッグ	拡大表示位置の移動 (拡大表示中)
—		表示するマーカーの切り換え (P.100)
[Fn1]		マーカー操作への切り換え (P.100)
[Fn2]		スライドフォトセレクト画面を表示 (一時停止中)
—		マーカーの追加/削除
—		ピントが合っている部分に色を付けて表示 (ピーキング) • [PEAK OFF] → [PEAK L] (低) → [PEAK H] (高) の順に切り換わります。
[MENU/SET]		写真の保存 (一時停止中)

* [4K 連写 (広角)] で撮影した 4K 連写ファイルは、連続再生、連続戻し再生速度が 2 倍速になります。

- 画面を 2 回連続で素早くタッチしても、拡大表示できます。(拡大表示していた場合は、等倍表示に戻ります)

4K フォトで撮影して、写真を選んで保存する

マーカー

4K 連写ファイルから写真を選んで保存するときに、マーカーの位置へスキップすると、写真を選びやすくなります。

マーカーには 2 種類あります。

白色：撮影時や再生時に手動で設定したマーカー

緑色：撮影時にカメラが自動で設定したマーカー
(オートマーキング機能)

マーカー操作画面



■ マーカーの位置へスキップする

スライドフォトセレクト画面、または 4K 連写再生画面で [▶▶→] をタッチするとマーカー操作画面に切り換わり、マーカーの位置へスキップすることができます。
[▶▶→] をタッチすると、元の操作に戻ります。

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
◀/▶	◀▶/▶▶	前 / 次のマーカーの位置へ移動



オートマーキング機能

カメラが被写体の動きや顔を検出したシーンに、自動でマーカーを設定します。

(例：乗り物が横切るシーン、風船が割れるシーン、人が振り向くシーン)

- 1 ファイルにつき最大 10 個まで表示されます。
- 次のような場合、撮影条件や被写体の状態によって、オートマーキング機能によるマーカーが設定されないことがあります。
 - 流し撮りや手ブレなどでカメラが動いている
 - 被写体の動きが遅い / 小さい、被写体が小さい
 - 顔が正面を向いていない

■ 表示するマーカーを切り換える

スライドフォトセレクト画面、4K 連写再生画面、またはマーカー操作画面で [MODE] をタッチする

オート	顔を検出したシーンや、動きを検出したシーンのマーカーを表示します。
顔優先	顔を検出したシーンのマーカーを優先して表示します。
動き優先	動きを検出したシーンのマーカーを優先して表示します。
OFF	手動で設定したマーカーのみ表示します。

- オートマーキング機能によるマーカーは削除できません。
- 4K 連写ファイルを本機以外で動画分割して再び本機で再生すると、オートマーキング機能によるマーカーは、正しく表示されない場合があります。
- 次の場合、オートマーキング機能によるマーカーは表示されません。
 - [4K プリ連写] で撮影した 4K 連写ファイル

4K フォトで撮影して、写真を選んで保存する

4K フォトのお知らせ

■横縦比を変更する

[撮影] メニューの [画像横縦比] を設定することで、4K フォトの横縦比を設定できます。

■被写体ブレを抑えて撮る

シャッタースピードを速くすることで、被写体ブレを抑えることができます。

- ① モードダイヤルを [S] に合わせる
- ② コントロールダイヤルを回してシャッタースピードを設定する
 - ・ 晴天の屋外でのシャッタースピードの目安：1/1000 秒以上
 - ・ シャッタースピードを速くすると、ISO 感度が高くなり、画面にノイズが増えることがあります。

■手ブレを抑えて撮る

[比較明合成] や [軌跡合成] を行う場合、カメラのブレを抑えるために、三脚を使用し、スマートフォンと接続してリモート撮影することをお勧めします。(P.198)

■4K フォト撮影時のシャッター音

- ・ [連写] (4K 連写) や [連写] (4K プリ連写) で撮影時は、[シャッター音音量] と [シャッター音音色] で電子シャッター音を設定できます。(P.168)
- ・ [連写] (4K 連写 (S/S)) で撮影時は、[電子音音量] で開始音 / 終了音の音量を設定できます。
- ・ サイレントモードと組み合わせて 4K フォト撮影すると、静かに高速連写撮影ができます。(P.147)

■4K フォトが苦手な撮影シーン

室内での撮影

蛍光灯や LED などの照明下で撮影すると、色合いや明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。

速く動く被写体

速く動く被写体を撮影すると、被写体がゆがんで撮影される場合があります。

4K フォトで撮影して、写真を選んで保存する

■4K フォトでのカメラの設定

4K フォトの撮影に最適な設定に自動で切り換わります。

- 次の設定が固定されます。

記録画素数	[4K] (8M)	
	[4:3] : 3328 × 2496 [16:9] : 3840 × 2160	[3:2] : 3504 × 2336 [1:1] : 2880 × 2880
クオリティ	[📷]	
シャッター方式	[電子シャッター]	
画質設定*	[4K/100M/30p]	
AF 連続動作*	[ON]	

* [動画] メニューでの設定は、4K フォトで撮影する 4K 連写ファイルに反映されません。

- 次の撮影機能が制限されます。

	[📷] (4K 連写) / [📷] (4K 連写 (S/S))	[📷] (4K プリ連写)
プログラムシフト	×	
露出補正	- 3 EV ~ + 3 EV	
シャッタースピード	1/30 ~ 1/16000	
下限シャッター速度	1/1000 ~ 1/30	
AFS/AFF/AFC (AFF)	×	
オートフォーカスモード ([+])	×	
MF アシスト	○	×
ホワイトバランス ([📷])	×	
ISO 感度	[AUTO]、80 ~ 3200	
フラッシュ	×	
ブラケット撮影	×	

- 以下のメニューは設定できません。

インテリジェントオート	[i 手持ち夜景] / [iHDR]
クリエイティブコントロール	[フィルターなし同時記録]
撮影	[記録画素数] / [クオリティ] / [フラッシュ光量調整] / [シャッター方式] / [ブラケット] / [HDR]
カスタム	[記録枠表示] / [個人認証] / [プロフィール設定]
セットアップ	[エコモード] ([📷] (4K プリ連写) のみ) / [モニター表示速度]

4K フォトで撮影して、写真を選んで保存する

- 連続記録時間が 15 分を超えると記録を停止します。
SDHC メモリーカード使用時は、ファイルサイズが 4 GB を超える場合は、ファイルは分かれて保存・再生されます。(撮影は一時中断することなく続けることができます)
SDXC メモリーカードを使用すると、ファイルサイズが 4 GB を超えても 1 つのファイルとして記録できます。
- 撮影時、画角が狭くなります。([4K 連写 (広角)] で撮影時を除く)
- 4K フォト撮影時、次のようになります。
 - ・ [トラベル日付] の [旅行先] は記録できません。
 - ・ [フィルター設定] の [フィルターなし同時記録] は設定できません。
 - ・ HDMI 出力することはできません。
- [4K 連写] (4K プリ連写) で撮影時、[ステップズーム] は動きません。
- インテリジェントオートモードでのシーン判別は、動画撮影時と同じシーン判別になります。
- 次の場合、4K フォトは無効になります。
 - ・ シーンガイドモード ([逆光でしっかり撮る] [水面をキラキラ撮る]
[夜景をアーティストックに撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る]
[夜景を手持ちで撮る] [夜景をバックに人物をきれいに撮る] [花をふんわり撮る])
 - ・ クリエイティブコントロールモード ([ラフモノクローム] [シルキーモノクローム]
[ジオラマ] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン])
 - ・ 動画撮影時
 - ・ インターバル撮影時
 - ・ [コマ撮りアニメ] 時
- パソコンで 4K 連写ファイルから写真を選び保存する場合は、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をお使いください。ただし、「PHOTOfunSTUDIO」で 4K 連写ファイルを動画として編集することはできません。

撮影後にピントを操作する (フォーカスセレクト/フォーカス合成)

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**  

4K 連写でピント位置を変えながら撮影し、撮影後にピント位置を選ぶことができます。動きのない被写体に適した機能です。



自動でピントをずらしながら 4K フォト連写



合わせたいピント位置をタッチ



お好みのピント位置での写真が完成

- ・撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。
- ・フォーカス合成する場合は、三脚の使用をお勧めします。

フォーカスセレクト撮影をする

1 ボタンを押す

2 ◀▶ で [ON] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・  ボタン (▼) を押して、◀▶ でフォーカスセレクトアイコン () を選んでも [ON] に設定できます。

3 構図を決めて、シャッターボタンを半押しする

- ・オートフォーカスが動き、画面内のピント位置を検出します。(シャッターボタンを半押ししている間、画面に揺れが見える場合があります)
- ・画面内にピントが合う位置がない場合、フォーカス表示 (●) が点滅し、撮影できません。

フォーカスセレクトアイコン



シャッターボタン半押し後から撮影終了までは

- ・被写体との距離や構図が変わらないようにしてください。

撮影進捗バー

4 シャッターボタンを全押しして撮影を開始する

- ・ピント位置を自動で変えながら撮影します。撮影進捗バーが消えると、撮影が自動で終了します。
- ・1 つのファイルとして MP4 形式で保存されます。
- ・オートレビューを設定している場合、ピントを合わせる位置を選ぶ画面が自動で表示されます。(P.105)



■フォーカスセレクトを解除する

手順 2 で [OFF] を選ぶ。

- ・  ボタン (▼) を押して、 (単写) または  を選んでも解除できます。

撮影後にピントを操作する（フォーカスセレクト/フォーカス合成）

 本機の温度について

周囲の温度が高かったり、連続でフォーカスセレクト撮影を行ったとき、 が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。

ピントを合わせる位置を選び、写真を保存する（フォーカスセレクト）

1 再生画面で  が付いた画像を選び、▲ を押す

- アイコン () をタッチしても操作できます。



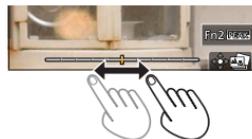
2 ピントを合わせる位置をタッチする

- 選んだ位置にピントが合う写真がない場合、赤い枠が表示され、写真を保存できません。
- 画面の端は選べません。



操作	タッチ操作	操作内容
	タッチ	ピント位置の選択 • 拡大表示中は選択できません。
		表示の拡大
		表示の縮小（拡大表示中）
[Fn1]		フォーカス合成操作への切り換え (P.106)
[Fn2]		ピントが合った部分に色を付けて表示（ピーキング） • [PEAK OFF] → [PEAK L]（低）→ [PEAK H]（高）の順に切り換わります。
[MENU/SET]		写真の保存

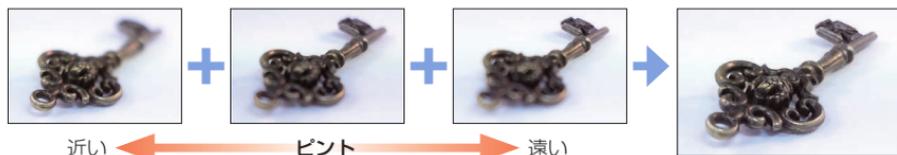
- 拡大表示中は、スライダーをドラッグし、ピントを微調整することができます。（  でも操作できます）

3  をタッチし、写真を保存する

- 選んだ写真は、別ファイルとして JPEG 形式で新規保存されます。

撮影後にピントを操作する（フォーカスセレクト/フォーカス合成）

ピントが合う範囲を選び、1 枚の写真に合成する（フォーカス合成）



1 「ピントを合わせる位置を選び、写真を保存する（フォーカスセレクト）」（P.105）の手順 2 で、画面の [Fn] をタッチする

- [Fn1] ボタンを押しても操作できます。

2 合成方法をタッチする

自動合成	合成に適した写真を自動で選び、1 枚の写真に合成します。 <ul style="list-style-type: none"> • 近距離側の写真を優先して選びます。 • 合成が実行され写真が保存されます。
指定範囲合成	選択したピント位置の写真を 1 枚の写真に合成します。

〔指定範囲合成〕選択時

3 ピントを合わせる位置をタッチする

- 2 点以上の位置を選んでください。
- 選択した 2 点の間にピントが合っている位置があれば、その位置も選択されます。
- 選択できない位置や、選択すると不自然な写真になる可能性がある位置はグレーで表示されます。

- もう一度、タッチすると選択が解除されます。
- 画面をドラッグすると、位置を続けて選択できます。



操作	タッチ操作	操作内容
▲▼▶▶	タッチ	位置の選択
[Fn2]	[設定 / 解除]	位置の設定 / 解除
[DISP.]	[全範囲]	すべての位置を選択（位置の選択前）
	[リセット]	すべての選択を解除（位置の選択後）
[MENU/SET]	⏏ [Fn]	写真の合成・保存

4 [Fn] をタッチし、写真を合成し保存する

- 写真は JPEG 形式で保存され、最も近い位置の写真のシャッタースピード、絞り、ISO 感度などの撮影情報（Exif 情報）も記録されます。

撮影後にピントを操作する（フォーカスセレクト/フォーカス合成）

フォーカスセレクト/フォーカス合成のお知らせ

■フォーカスセレクト撮影時のカメラの設定

- 4K フォトと同様の画質で撮影するため、撮影機能やメニュー設定に制限があります。詳しくは、[102 ページ](#)の「4K フォトでのカメラの設定」をお読みください。
- フォーカスセレクト撮影時は、4K フォトの制限事項に加え、以下が制限されます。
 - [オートフォーカスモード] と [AFS/AFF/AFC] は設定できません。
 - マニュアルフォーカス操作はできません。
 - 次の [カスタム] メニューは設定できません。
[シャッター半押し AF]
 - 動画撮影はできません。
 - デジタルズームは使えません。

- 撮影時、画角が狭くなります。
- 次の場合、フォーカスセレクト撮影は無効になります。
 - ・ シーンガイドモード（[逆光でしっかり撮る] [水面をキラキラ撮る] [夜景をアーティストックに撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を手持ちで撮る] [夜景をバックに人物をきれいに撮る] [花をふんわり撮る]）
 - ・ クリエイティブコントロールモード（[ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ジオラマ] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン]）
 - ・ 自分撮りモード
 - ・ インターバル撮影時
 - ・ [コマ撮りアニメ] 時
- ピントを選んで保存する場合、HDMI マイクロケーブルで本機とテレビを接続して、テレビの画面で写真を選んで保存することはできません。
- 次の場合、不自然な写真に合成されることがあります。
 - ・ 被写体が動いた場合
 - ・ 被写体までの距離の差が大きい場合
 - ・ ボケ具合が大きい場合（絞り値を大きくして撮影すると不自然さが軽減することがあります）
- フォーカス合成時は、手ブレによる画像のずれを自動で調整します。その場合、合成時に画角がわずかに狭くなります。
- フォーカス合成できるのは本機でフォーカスセレクト撮影した画像のみです。

セルフタイマーで撮る

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**   

■ [セルフタイマー] の動作を設定する

- ① 92 ページの手順 2 でセルフタイマーを選んで ▲ を押す
- ② ◀▶ で動作設定を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

	10 秒後に撮影します。
	10 秒後に約 2 秒間隔で 3 枚撮影します。
	2 秒後に撮影します。シャッターボタンを押したときのカメラのブレを防ぐのにも効果的です。

■ セルフタイマーを解除する

 ボタン (▼) を押して (単写) または  を選ぶ

- セルフタイマーランプが点滅後、撮影を開始します。
- フォーカスと露出はシャッターボタン半押し時に固定されます。
- 三脚の使用をお勧めします。
- 次の場合、 に設定できません。
 - ・ブラケット撮影時
 - ・[フィルター設定] の [フィルターなし同時記録] を [ON] に設定時
- 次の場合、セルフタイマーは無効になります。
 - ・自分撮りモード (自分撮りモード撮影時は、[カウントダウン] (P.49) でセルフタイマーの設定をすることができます)
 - ・動画撮影時
 - ・インターバル撮影時
 - ・[コマ撮りアニメ] 時 ([自動撮影] 設定時のみ)

一定の間隔で自動的に撮影する (インターバル撮影)

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**  **SCN** 

撮影開始時刻や撮影間隔などをあらかじめ設定しておく、自動的に写真を撮影します。動物の経過観察や風景などの定点撮影に便利です。1つのグループ画像として記録されます。

- ・あらかじめ時計を設定してください。(P.23)

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  **[撮影]** → **[インターバル撮影]**

撮影間隔設定	ON：撮影開始から次の撮影開始までの時間を設定します。 OFF：撮影終了後、間隔を空けずに次の撮影を開始します。	
開始時刻	即時開始	シャッターボタンを全押しすると、撮影を開始します。
	開始時刻設定	最大 23 時間 59 分後まで設定可能です。 ① ◀▶ で項目 (時・分) を選び、▲▼ で開始時刻を設定し、 [MENU/SET] ボタンを押す
撮影枚数 撮影間隔*1	◀▶：項目 (桁) 選択 ▲▼：設定 [MENU/SET] ボタン：決定	

*1 [撮影間隔設定] が [ON] の場合のみ設定できます。

- ・設定画面に撮影の終了予定時刻が表示されます。([撮影間隔設定] を [OFF] に設定時は、シャッター優先 AE モードまたはマニュアル露出モードで、フォーカスモードを [MF] に設定時のみ表示されます)
- ・撮影条件によっては、設定した撮影間隔や撮影枚数どおりに撮影できなかつたり、終了予定時刻に終了しなかつたりする場合があります。

2 ▲ で [開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ピントを合わせて撮影する

- ・シャッターボタンを全押しすると、インターバル撮影を開始します。
- ・撮影待機中、一定時間何も操作しないと、自動的に電源が切れます。電源が切れてもインターバル撮影は継続され、撮影開始時刻になると自動的に電源が入ります。手で電源を入れる場合はシャッターボタンを半押ししてください。
- ・撮影待機中の操作 (電源が入った状態)

ボタン操作	タッチ操作	操作内容
[Fn1]*2	 *3	一時停止または終了の選択画面を表示
		再開または終了の選択画面を表示 (一時停止中)

*2 [撮影間隔設定] を [OFF] に設定して撮影時は、撮影中でも [Fn1] を押すことができます。[Fn1] を押したときの画像の撮影 (露光) が終了してから、選択画面を表示します。

*3 [撮影間隔設定] を [OFF] に設定して撮影時は、タッチ操作はできません。

一定の間隔で自動的に撮影する（インターバル撮影）

4 動画の作成方法を選ぶ

画質設定	動画の画質を設定します。
フレームレート	1 秒当たりのコマ数を設定します。数字が大きいほど滑らかな動画になります。
動画化順番	撮影順：撮影した順番で画像をつなげます。 逆順：撮影した順番とは逆の順番で画像をつなげます。

5 ▲ で [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・ [再生] メニューの [インターバル動画作成] から動画化できます。

- システム用途（監視カメラ）の機能ではありません。
- ズームを使うと、レンズ鏡筒が伸びてカメラが傾くおそれがあります。三脚を使用するなどして、カメラを固定してください。
- 次の場合、インターバル撮影は一時停止します。
 - ・ バッテリー残量がなくなったとき
 - ・ 電源を切ったとき
 設定した枚数まで撮り終わってない場合は、一時停止中に電源を切りバッテリー、カードを交換し、電源を入れて再開することができます。（ただし、再開後に撮影された画像は別のグループ画像として記録されます）
- [撮影間隔] を長く設定し、撮影待機中に電源が自動的に切れる場合は、オートフォーカスでインターバル撮影することをお勧めします。
- 画質設定のサイズを [4K] に設定して動画を作成する場合、記録時間が 29 分 59 秒を超える動画は作成できません。SDHC メモリーカード使用時は、ファイルサイズが 4 GB を超える場合は動画作成できません。SDXC メモリーカードを使用すると、ファイルサイズが 4 GB を超えても動画作成できます。
- 画質設定のサイズを [FHD] または [HD] に設定して動画を作成する場合、記録時間が 29 分 59 秒を超える、またはファイルサイズが 4 GB を超える動画は作成できません。
- 次の場合、[インターバル撮影] は使えません。
 - ・ シーンガイドモード（[夜景を手持ちで撮る]）
 - ・ 自分撮りモード
 - ・ [コマ撮りアニメ] 時

ストップモーション動画の作成 (コマ撮りアニメ)

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**   

写真をつなぎ合わせてストップモーション動画を作成します。1つのグループ画像として記録されます。

- あらかじめ時計を設定してください。(P.23)

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [撮影] → [コマ撮りアニメ]

自動撮影	ON：設定した撮影間隔で自動的に写真を撮影します。 OFF：1コマずつ手で写真を撮影します。
撮影間隔	([自動撮影] を [ON] に設定時のみ) 自動撮影の間隔を設定します。

2 ▲で [開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

3 ▲で [新しく撮る] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ピントを合わせて撮影する

5 被写体を動かし、構図を決めて撮影する
(繰り返す)

- 最大 9999 コマまで撮影できます。
- 撮影中に電源を切ると、電源を入れたときに撮影再開のメッセージが表示されます。



素材を上手に撮影するために

- 撮影画面には2つ前までの撮影画像が表示されます。動かす量の参考にしてください。
- [▶] (再生) ボタンを押すと、撮影した画像を確認できます。不要な画像は [🗑️] ボタンを押して消去することができます。もう一度 [▶] (再生) ボタンを押すと撮影画面に戻ります。

ストップモーション動画の作成 (コマ撮りアニメ)

6  をタッチして撮影を終了する

- [撮影] メニューから [コマ撮りアニメ] を選び、[MENU/SET] ボタンを押しても終了できます。
- [自動撮影] を [ON] に設定時は、確認画面で [終了] を選んでください。([一時停止] を選んだ場合、撮影を再開するにはシャッターボタンを全押ししてください)



7 動画の作成方法を選ぶ

画質設定	動画の画質を設定します。
フレームレート	1 秒当たりのコマ数を設定します。数字が大きいほど滑らかな動画になります。
動画化順番	撮影順：撮影した順番で画像をつなげます。 逆順：撮影した順番とは逆の順番で画像をつなげます。

8 ▲ で [実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [再生] メニューの [コマ撮りアニメ作成] からも動画化できます。

■ 撮影済みのコマ撮りグループに画像を追加する

手順 3 で [続きから撮る] を選ぶと、[コマ撮りアニメ] で撮影したグループ画像が表示されます。グループ画像を選んで [MENU/SET] ボタンを押し、確認画面で [はい] を選んでください。

- フラッシュ撮影時など、撮影条件によっては撮影に時間がかかるため、設定した撮影間隔どおりに自動撮影できないことがあります。
- 画質設定のサイズを [4K] に設定して動画を作成する場合、記録時間が 29 分 59 秒を超える動画は作成できません。SDHC メモリーカード使用時は、ファイルサイズが 4 GB を超える場合は動画作成できません。SDXC メモリーカードを使用すると、ファイルサイズが 4 GB を超えても動画作成できます。
- 画質設定のサイズを [FHD] または [HD] に設定して動画を作成する場合、記録時間が 29 分 59 秒を超える、またはファイルサイズが 4 GB を超える動画は作成できません。
- 1 枚だけ撮影された画像を [続きから撮る] で選ぶことはできません。
- 次の場合、[コマ撮りアニメ] は使えません。
 - 自分撮りモード
 - インターバル撮影時
- 次の場合、[コマ撮りアニメ] の [自動撮影] は使えません。
 - シーンガイドモード ([夜景を手持ちで撮る])

設定を自動的に変えながら撮る (ブラケット撮影)

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**   

シャッターボタンを押すと、自動的に設定を変えて複数枚の画像を撮影できます。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [撮影] → [ブラケット] → [ブラケット種類]

 (露出ブラケット)	シャッターボタンを押すと、露出を変えながら撮影します。(P.114)
WB  (ホワイトバランスブラケット)	1回シャッターボタンを押すと、ホワイトバランスの調整値を変えた画像を自動的に3枚撮影します。(P.91)

2 ▼で [詳細設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- ・ [詳細設定] については、各機能のページをお読みください。
- ・ シャッターボタンを半押ししてメニューを終了してください。

3 ピントを合わせて撮影する

- ・ 露出ブラケット設定時は、設定枚数分がすべて撮影されるまでブラケット表示が点滅します。設定枚数分がすべて撮影されるまでにブラケットの設定を変更したり、電源を切ったりした場合は、1枚目からの撮影になります。

■ブラケットを解除する

手順 **1** で [OFF] を選ぶ。

- 次の場合、ブラケット撮影は無効になります。
 - ・ シーンガイドモード ([水面をキラキラ撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を手持ちで撮る] [花をふんわり撮る])
 - ・ クリエイティブコントロールモード ([ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ジオラマ] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン])
 - ・ 自分撮りモード
 - ・ フラッシュ撮影時 (ホワイトバランスブラケットを除く)
 - ・ 動画撮影時
 - ・ 4K フォト撮影時
 - ・ フォーカスセレクト撮影時
 - ・ インターバル撮影時
 - ・ [コマ撮りアニメ] 時 ([自動撮影] 設定時のみ)

設定を自動的に変えながら撮る (ブラケット撮影)

露出ブラケット

■ 詳細設定 (113 ページの手順 2)

補正幅	撮影枚数と露出補正幅を設定します。 【3・1/3】 (3 枚撮影・1/3 EV 幅) ~ 【7・1】 (7 枚撮影・1 EV 幅)
ブラケット順序	画像の撮影順を設定します。
単写時撮影方法*	<input type="checkbox"/> : シャッターボタンを押すごとに 1 枚撮影。 <input checked="" type="checkbox"/> : 1 回シャッターボタンを押すと設定枚数すべてを撮影。

* 連写設定時は設定できません。シャッターボタンを押し続けると設定枚数まで連続撮影します。

補正幅 : 【3・1/3】、ブラケット順序 : 【0 / - / +】 設定時の例

1 枚目



± 0 EV

2 枚目



- 1/3 EV

3 枚目



+ 1/3 EV

● 露出補正をしてから露出ブラケット撮影をする場合は、補正された露出値を基準にして撮影します。

手ブレを補正する

撮影モード：      

本機では、手ブレを自動で感知して補正します。

MENU ボタン →  【撮影】 /  【動画】 → 【手ブレ補正】

 (通常)	上下左右の動きに対する手ブレを補正します。
 (流し撮り)	上下の動きに対する手ブレを補正します。流し撮り（一定の方向に向かって動いている被写体の動きに合わせて、本機を動かしながら撮影する方法）するときに適しています。
OFF	手ブレ補正は動きません。



手ブレを防ぐために

手ブレ警告表示が表示されたときは、手ブレ補正、三脚、セルフタイマーなどをお使いください。

- シャッタースピードを遅くするとブレやすくなります。特に、次の場合にはシャッタースピードが遅くなって撮影されますので、シャッターを切ったあと、画像が出るまで本機を固定してください。三脚の使用をお勧めします。
 - ・ スローシンクロ
 - ・ 赤目軽減スローシンクロ
 - ・ シーンガイドモード（[夜景をきれいに撮る] [夜空をクールに撮る] [夜景を暖かく撮る] [夜景をアーティスティックに撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景をバックに人物をきれいに撮る]）



手ブレを補正する

- 三脚を使用するときは、[手ブレ補正] を [OFF] に設定することをお勧めします。
- 次の場合、 (流し撮り) にしていても、 (通常) に切り換わります。
 - ・ 動画撮影時
 - ・ 4K フォト撮影時
 - ・ フォーカスセレクト撮影時
- ハイスピード動画撮影時、手ブレ補正は使えません。
- 動画撮影時は 5 軸ハイブリッド手ブレ補正機能が自動的に働きます。ズームしたり、歩きながら撮影するときなど、さまざまな揺れに対してブレにくくします。
 - ・ 写る範囲が狭くなる場合があります。
- 次の場合、5 軸ハイブリッド手ブレ補正機能は動きません。
 - ・ デジタルズーム使用時
 - ・ [画質設定] が [4K/100M/30p] の動画撮影時
 - ・ 4K ライブクロップ撮影時
- 次の場合、補正が効きにくくなる場合があります。
 - ・ 手ブレが大きいとき
 - ・ ズーム倍率が高いとき (デジタルズーム領域を含む)
 - ・ 動きのある被写体を追いながら撮影するとき
 - ・ 室内や薄暗い場所で撮る (シャッタースピードが遅い) とき
- 次の場合、 での流し撮りの効果が出にくくなります。
 - ・ 夏の日中など、明るいところ
 - ・ シャッタースピードが 1/100 秒より速い場合
 - ・ 被写体の動きが遅く、本機を動かす速度があまりにも遅い場合 (背景が流れません)
 - ・ 本機が被写体の動きにうまく追いつけていない場合

ズームを使って撮る

ズーム操作やズームバック機能について、詳しくは 26 ～ 27 ページをお読みください。

ズームの種類と用途

光学ズーム

画質を劣化させずに拡大します。

最大倍率：30 倍

- 次の場合、光学ズームは使えません。
 - ・ズームマクロ撮影時

EX 光学ズーム

[EX] 付きの記録画素数を選ぶと働きます。画質を劣化させずに光学ズームより拡大します。記録画素数により、最大倍率は変わります。

最大倍率：59.2 倍（光学ズームの倍率を含む）

- 次の場合、EX 光学ズームは使えません。
 - ・クリエイティブ動画モード
 - ・シーンガイドモード（[夜景を手持ちで撮る]）
 - ・クリエイティブコントロールモード（[トイフォト] [トイポップ]）
 - ・4K フォト撮影時
 - ・フォーカスセレクト撮影時
 - ・[HDR] を [ON] に設定時
 - ・[i 手持ち夜景] を [ON] に設定時
 - ・[iHDR] を [ON] に設定時
 - ・[クオリティ] を [RAW] に設定時
 - ・[記録枠表示] を [] に設定時
 - ・ズームマクロ撮影時
 - ・動画撮影時

ズームを使って撮る

iA ズーム

超解像技術によって、画質の劣化を抑えつつ、元のズーム倍率の2倍までズーム倍率を上げることができます。

MENU ボタン →  **【撮影】** /  **【動画】** → **【iA ズーム】**

設定：[ON] / [OFF]

- [記録画素数] を [S] に設定時は、元のズーム倍率の1.5倍までズーム倍率を上げることができます。
- インテリジェントオートモードまたはインテリジェントオートプラスモード時は、iA ズームは自動で働きます。
- 次の場合、iA ズームは使えません。
 - ・ シーンガイドモード（[夜景を手持ちで撮る]）
 - ・ クリエイティブコントロールモード（[インプレッシブアート] [トイフォト] [トイポップ]）
 - ・ ズームマクロ撮影時
 - ・ [HDR] を [ON] に設定時
 - ・ [i 手持ち夜景] を [ON] に設定時
 - ・ [iHDR] を [ON] に設定時
 - ・ [クオリティ] を [RAW ] [RAW ] [RAW] に設定時

ズームを使って撮る

デジタルズーム

撮影モード：

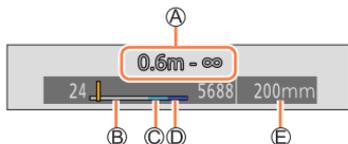
元のズーム倍率の最大 4 倍まで拡大できます。ただし、ズームするほど画質は粗くなります。

MENU ボタン → [撮影] / [動画] → [デジタルズーム]

設定： [ON] / [OFF]

- iA ズームを併用しているときは、iA ズームとの合計ズーム倍率が 4 倍までになります。
- デジタルズーム使用時は三脚を使用し、セルフタイマー (P.108) を使って撮影することをお勧めします。
- デジタルズーム領域では、AF エリアは中央で大きく表示されます。
- 次の場合、デジタルズームは使えません。
 - ・ [モニター表示速度] を [ECO 30fps] に設定時 (お買い上げ時の設定)
 - ・ シーンガイドモード ([夜景を手持ちで撮る])
 - ・ クリエイティブコントロールモード ([インプレッシブアート] [トイフォト] [トイポップ] [ジオラマ])
 - ・ フォーカスセレクト撮影時
 - ・ ハイスピード動画撮影時
 - ・ [HDR] を [ON] に設定時
 - ・ [クオリティ] を [RAW] [RAW] [RAW] に設定時

プログラム AE モードで、光学ズーム、iA ズーム、デジタルズームを併用したときの表示例



- Ⓐ ピントが合う範囲
- Ⓑ 光学ズームの範囲
- Ⓒ iA ズームの範囲
- Ⓓ デジタルズームの範囲
- Ⓔ 現在のズーム位置 (35 mm フィルムカメラ換算の焦点距離)

タッチ操作でズームを使う（タッチズーム）

1 [◀] をタッチする

2 [T W ⇅] をタッチする

- スライドバーが表示されます。



3 スライドバーをドラッグして、ズームする

- タッチする位置により、ズームスピードは変わります。

▼ / ▲	ゆっくりズームする
⇓ / ▲	速くズームする

- もう一度 [T W ⇅] をタッチすると、タッチズーム操作を終了します。



- 次の場合、タッチズームは使えません。
 - 自分撮りモード

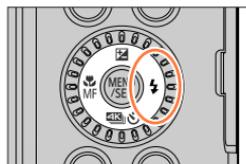
フラッシュを使って撮る

フラッシュモードを切り換える

撮影モード：  P A S M  

撮影内容に合わせて、フラッシュの発光のしかたを設定します。

1  ボタン (▶) を押す



 A (オート)  A (オート)*	撮影状況に応じて、自動的にフラッシュが発光します。
 A [⊙] (赤目軽減オート)	撮影状況に応じて、赤目を抑えるように自動的にフラッシュを発光します <ul style="list-style-type: none"> • 暗い場所で人物を撮影するときなどに適しています。
 (強制発光)  [⊙] (赤目軽減強制発光)	フラッシュを強制的に発光させます。 <ul style="list-style-type: none"> • 逆光時や蛍光灯などの照明の下に被写体があるときに適しています。
 S (スローシンクロ)  S [⊙] (赤目軽減スローシンクロ)	フラッシュ発光とともにシャッタースピードを遅くして背景の夜景なども明るく写します。 <ul style="list-style-type: none"> • 夜景を背景に人物を撮影するときなどに適しています。 • シャッタースピードを遅くすると画像がブレることがあります。三脚の使用をお勧めします。
 (発光禁止)	どのような撮影状況でもフラッシュが発光しません。 <ul style="list-style-type: none"> • フラッシュ禁止の場所で撮影するときなどに適しています。

* インテリジェントオート ([]) または ([]) モードでのみ設定できます。被写体や撮影状況に応じて、アイコンが切り換わります。

フラッシュは2回発光します。特に []、 []、 [] に設定した場合は、発光間隔が長くなりますので、2回目の発光終了まで動かないようにしてください。

- 赤目軽減の効果には個人差があり、被写体までの距離や被写体の人が予備発光を見えないなどの条件によって、効果が現れにくい場合があります。

フラッシュを使って撮る

■撮影モード別フラッシュ設定 (○：設定可、×：設定不可)

撮影モード※1		⚡A ⚡	⚡A [Ⓞ] ⚡ [Ⓞ]	⚡S	⚡S [Ⓞ]	Ⓞ
P	プログラム AE モード	○	○	○	○	○
A	絞り優先 AE モード	○	○	○	○	○
S	シャッター優先 AE モード	○	○	×	×	○
M	マニュアル露出モード	○	○	×	×	○
SCN シーンガイド モード (◎：初期設定)	人物をきれいに撮る	○	◎※4	×	×	○
	人物の肌をきれいに撮る	○	◎※4	×	×	○
	逆光でしっかり撮る	◎※2	×	×	×	○
	子どもをかわいく撮る	○	◎※4	×	×	○
	夜景をバックに人物をきれいに撮る	×	×	×	◎	○
	花をふんわり撮る	◎※3	×	×	×	○
	料理をおいしそうに撮る	◎※3	×	×	×	○
	スイーツをかわいく撮る	◎※3	×	×	×	○
	動くペットをきちんと撮る	◎※3	×	×	×	○
	スポーツをきれいに撮る	◎※3	×	×	×	○
モノクロで撮る	◎※3	○	○	○	○	

※1 インテリジェントオート ([iA] または [iA⁺]) モード時のフラッシュ設定については、[45 ページ](#)をお読みください。

※2 [⚡A] には設定できません。

※3 初期設定は、[⚡A] になります。

※4 初期設定は、[⚡A[Ⓞ]] になります。

- 次の場合、[Ⓞ] (発光禁止) に固定されます。
 - シーンガイドモード ([逆光でふんわり撮る] [ほのぼのした雰囲気撮る] [風景をきれいに撮る] [青空をさわやかに撮る] [夕焼けを幻想的に撮る] [夕焼けを印象的に撮る] [水面をキラキラ撮る] [夜景をきれいに撮る] [夜景をクールに撮る] [夜景を暖かく撮る] [夜景をアーティスティックに撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [夜景を手持ちで撮る])
 - 動画撮影時
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - 電子シャッター使用時
 - [HDR] を [ON] に設定時
 - [サイレントモード] を [ON] に設定時
 - [フィルター設定] の [フィルター効果] で画像効果設定時
- シーンガイドモードのフラッシュ設定はシーンを変更するたびに初期設定に戻ります。

フラッシュを使って撮る

■フラッシュモード別のシャッタースピード

フラッシュモード	シャッタースピード	フラッシュモード	シャッタースピード
⚡A	1/60 秒*1 ~ 1/2000 秒	⚡S	1 ~ 1/16000 秒
⚡A [⊙]		⚡S [⊙]	
⚡		Ⓢ	4*2 ~ 1/16000 秒
⚡ [⊙]			

*1 シャッター優先 AE モード、マニュアル露出モード時は 4 秒になります。

*2 シーンガイドモードの [夜景をアーティスティックに撮る] で撮影時は 30 秒になります。

- インテリジェントオート ([iA]) または ([iA⁺]) モード時のシャッタースピードは判別シーンによって異なります。

■フラッシュ撮影可能範囲

ズームを使わずに、至近距離 (W 端付近) でフラッシュを使って撮影すると、画像の端が暗くなることがあります。少しズームすると改善することがあります。

W 端時	T 端時
約 0.6 m ~ 約 5.6 m	約 2.0 m ~ 約 2.9 m

- ISO 感度を [AUTO]、[ISO オート上限設定 (写真)] を [AUTO] に設定時の範囲です。

- 熱や光で変形、変色する場合がありますので、次のことはしないでください。
 - フラッシュに物を近づける
 - 発光中にフラッシュを手で塞ぐ
- バッテリー残量が少ないときや、連続して発光させたときは、フラッシュの充電に時間がかかることがあります。フラッシュ充電中は、フラッシュアイコンが赤に点滅し、シャッターボタンを全押ししても、撮影できません。

フラッシュの発光量を調整する

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**  **SCN** 

フラッシュ撮影した写真が明るすぎたり暗すぎたりする場合は、フラッシュの発光量を調整してください。

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【フラッシュ光量調整】**

1 ◀▶ でフラッシュの発光量を設定し、**【MENU/SET】** ボタンを押す

設定：-2EV ~ +2EV (1/3EV 単位)

フラッシュ発光量を調整しない場合は、**【±0 EV】** を選んでください。

- フラッシュ発光量が調整されているときは、フラッシュのアイコンに **【+】** または **【-】** が表示されます。

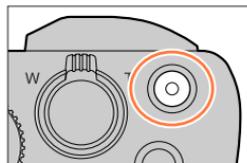
動画を撮る

撮影モード：

MP4 で記録される 4K 動画やフルハイビジョン動画などを撮影できます。(P.127)
音声はステレオで記録されます。

1 動画ボタンを押して、撮影を開始する

- 各動画モードに適した動画が撮影できます。
- 動画ボタンは押したあと、すぐに離してください。
- 動画の記録中は、記録動作表示（赤）が点灯します。



動画記録中の赤枠表示
(P.160)

2 もう一度動画ボタンを押して、終了する

- 静かな環境下での撮影では、絞りやフォーカスなどの動作音が録音されることがあります。これは異常ではありません。

動画撮影中のフォーカス動作は [AF 連続動作] で [OFF] に設定することができます。(P.128)



撮影終了時の操作音

撮影終了時の動画ボタンの操作音が気になる場合は、以下をお試しください。

- 3 秒ほど長めに撮影し、[再生] メニューの [動画分割] (P.187) で動画の終わりの部分を分割してください。

■ クリエイティブ動画モードで撮影する

絞りやシャッタースピード、ISO 感度をタッチ操作で設定して動画を撮影できます。(P.67)

- 周囲の温度が高かったり、連続で動画撮影を行ったとき、が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- 動画撮影中にズームやボタン、ダイヤル操作などをすると、その動作音が記録される場合があります。
- 動画ボタンを押す前に EX 光学ズームを使っていた場合は、それらの設定が解除されるため、撮影範囲が大きく変わります。
- 画像横縦比の設定が写真と動画で異なる場合、動画撮影開始時に画角が変わります。
【記録枠表示】を  に設定すると、動画撮影時の画角が表示されます。
- 動画撮影中はズーム速度が遅くなります。
- カードの種類によっては、動画記録後、カードアクセス表示がしばらく出る場合がありますが、異常ではありません。
- 動画撮影中、ISO 感度は [AUTO] (動画用) の動作になります。クリエイティブ動画モードでは、ISO 感度を設定して動画を撮影できます。
- 次の場合、以下の動画撮影モードになります。

選択されているシーンガイドモード	動画撮影時の撮影モード
逆光でしっかり撮る	人物モード
夜景をきれいに撮る / 夜景をアーティストティックに撮る / 夜景を手持ちで撮る / 夜景をバックに人物をきれいに撮る	ローライトモード

- 次の場合、動画撮影できません。
 - ・ シーンガイドモード ([水面をキラキラ撮る] [イルミネーションをキラキラ撮る] [花をふんわり撮る])
 - ・ クリエイティブコントロールモード ([ラフモノクローム] [シルキーモノクローム] [ソフトフォーカス] [クロスフィルター] [サンシャイン])
 - ・ フォーカスセレクト設定時
 - ・ インターバル撮影中
 - ・ [コマ撮りアニメ] 中

サイズ、記録フレームレートを設定する

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  [動画] → [画質設定]

画質設定	サイズ	記録フレームレート	センサー出力	ビットレート
4K/100M/30p*1	3840 × 2160	30p	30 コマ / 秒	100 Mbps
FHD/28M/60p	1920 × 1080	60p	60 コマ / 秒	28 Mbps
FHD/20M/30p	1920 × 1080	30p	30 コマ / 秒	20 Mbps
HD/10M/30p	1280 × 720	30p	30 コマ / 秒	10 Mbps

*1 4K 動画

- 「ビットレート」の数値が大きいくほど高画質になります。本機は VBR 記録方式を採用しており、撮影する被写体によりビットレートが自動的に変わるため、動きの激しい被写体を記録した場合、記録時間は短くなります。
- クリエイティブコントロールモードの [ジオラマ] では、4K 動画に設定できません。
- 4K 動画を撮影時は UHS Speed Class 3 のカードをお使いください。
- 4K 動画の場合、他のサイズの動画よりも画角が狭くなります。
- 4K 動画は高い精度でピントを合わせるためにオートフォーカスの速度を抑えて撮影します。オートフォーカスでピントが合いにくいことがあります。異常ではありません。
- 連続記録の制限について (P.22)

■ 撮影した動画の互換性

MP4 で撮影された動画は、対応機器であっても、再生すると画質や音質が悪くなったり、再生できない場合があります。また撮影情報が、正しく表示されない場合があります。

- MP4 の [4K/100M/30p] で記録した動画については、[211 ページ](#)の「4K 動画を楽しむ」をお読みください。

動画撮影時のピントの合わせ方（AF 連続動作）

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**   **SCN** 

ピント合わせはフォーカスの設定と [動画] メニューの [AF 連続動作] の設定によって異なります。

MENU ボタン →  [動画] → [AF 連続動作]

フォーカスの設定	AF 連続動作	設定
AFS、AFF、AFC	ON	動画撮影中も自動でピントを合わせ続けます。
	OFF	動画撮影開始時のピント位置で固定します。
MF	ON/OFF	手動でピントを合わせます。

- フォーカスの設定を [AFS]、[AFF] または [AFC] に設定時、動画撮影中にシャッターボタンを半押しするとピントを合わせ直します。
- 撮影環境によっては、動画撮影時にオートフォーカスが働くと、動作音が記録される場合があります。動作音が気になる場合は、[AF 連続動作] を [OFF] に設定して撮影することをお勧めします。
- 動画撮影時にズームすると、ピントが合うまでに時間がかかることがあります。
- 次の場合、[AF 連続動作] は動きません。
 - [スナップムービー] の [ピント送り] の動作中
 - ハイスピード動画撮影時
 - 4K ライブクロップ撮影時

動画撮影中に写真を撮影する

撮影モード：  P A S M   

1 動画撮影中にシャッターボタンを全押しする

- 写真を記録中は同時記録表示が出ます。
- タッチシャッター機能を使って撮影することもできます。



- 動画の画質設定に応じた記録画素数で写真を記録します。
- 動画撮影中の写真の記録可能枚数は、最大 40 枚までです。
（[画質設定] のサイズが [4K] の動画の場合：最大 10 枚まで）
- 写真の画像横縦比は [16:9] に固定されます。
- [クオリティ] を [RAW ]、[RAW ] または [RAW] に設定時は JPEG 画像のみ記録されます。
（[RAW] 設定時は [クオリティ] は [] で記録されます）
- 次の場合、同時記録はできません。
 - [スナップムービー] を [ON] に設定時

スナップムービーを撮る

撮影モード：

撮影時間をあらかじめ指定し、スナップ写真を撮るような感覚で動画を撮影します。ピント送りやフェード効果を加えることもできます。

- MP4の[FHD/20M/30p]で撮影されます。
- 本機で撮影した動画を、スマートフォン/タブレットアプリ「Panasonic Image App」でつなぎ合わせて音楽を付けることなどができます。

MENU ボタン →  **[動画]** → **[スナップムービー]** → **[ON]**

- シャッターボタンを半押ししてメニューを終了してください。

1 動画ボタンを押して撮影を開始する

- 動画ボタンは押したあと、すぐに離してください。
- 途中で動画撮影は終了できません。設定した撮影時間が経過すると自動的に撮影が終了します。

記録経過時間



設定した撮影時間

■スナップムービーを解除する

[スナップムービー] で [OFF] を選ぶ。

■設定を変更する

MENU ボタン →  **[動画]** → **[スナップムービー]** → **[設定]**

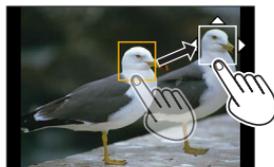
撮影時間	動画撮影する時間を設定します。
ピント送り	撮影開始時にピントをゆっくりと変えることで、ドラマチックな映像表現を行います。 (P.131)
フェード	映像と音声撮影を開始するとフェードイン（ゆっくりと現れる）または、撮影の終了にかけてフェードアウト（ゆっくりと消える）する効果です。 [WHITE-IN] / [WHITE-OUT] : 白い画面でフェードイン、フェードアウトする効果です。 [BLACK-IN] / [BLACK-OUT] : 黒い画面でフェードイン、フェードアウトする効果です。 [COLOR-IN] / [COLOR-OUT] : 白黒からカラーへフェードイン、またはカラーから白黒へフェードアウトする効果です。 音声は通常どおりに記録されます。 [OFF]

スナップムービーを撮る

- [WHITE-IN]、[BLACK-IN] で撮影した動画は、再生時のサムネイル表示が白または黒になります。
- [カスタム] メニュー (操作) の [Fn ボタン設定] (P.39) に [スナップムービー] を設定すると、設定したファンクションボタンを押して [スナップムービー] の [ON] / [OFF] の切り換え画面を表示できます。画面表示中に [DISP.] ボタンを押すとスナップムービーの設定を変更できます。
- [スマートフォンとつないで使う] で Wi-Fi 接続すると、[スナップムービー] は [OFF] に切り換わります。
- 次の場合、[スナップムービー] は使えません。
 - ・クリエイティブコントロールモード ([ジオラマ])
 - ・4K フォト設定時
 - ・フォーカスセレクト設定時
 - ・4K ライブクロップ設定時
 - ・ハイスピード動画撮影時

【ピント送り】の設定をする

ピント送りの開始位置 (1 点目) と終了位置 (2 点目) の枠を設定します。



タッチ操作

被写体をタッチし (1 点目)、ドラッグして指を離す (2 点目)

- ・ [AF] をタッチすると、枠の設定が解除されます。

ボタン操作

- ① ファンクションボタン ([Fn1] ~ [Fn3]) に [オートフォーカスモード] を割り当てる (P.39)
- ② 手順 ① のファンクションボタンを押す
- ③ ▲▼◀▶ で枠を移動し、[MENU/SET] ボタンを押す (1 点目)
 - ・ [MENU/SET] ボタンを押す前に [DISP.] ボタンを押すと、枠は中央に戻ります。
- ④ 手順 ③ を繰り返す (2 点目)
 - ・ [MENU/SET] ボタンを押すと、枠の設定が解除されます。



- 遠くから近く、近くから遠くのように、開始と終了でピントの変化を大きくすると効果が大きくなります。
- ピント設定後は、被写体との距離が変化しないようにしてください。

- 枠の設定に失敗したときは、枠が 1 点目に戻ります。
- [ピント送り] を [ON] に設定時は
 - ・ オートフォーカスモードは [ピント送り] 専用の [AF] に変わります。
 - ・ 写真撮影時は、1 点目の枠で [AF] のオートフォーカス動作を行います。
- [測光モード] が [SPOT] (スポット) のときは、測光ターゲットは 1 点目の枠に設定されます。
- 次の場合、[ピント送り] は使えません。
 - ・ マニュアルフォーカス時
 - ・ デジタルズーム使用時

写真を見る

1 【▶】（再生）ボタンを押す



2 ◀▶ で表示する画像を選ぶ

- ◀▶ を押したままにすると、連続して画像を送ることができます。
- コントロールダイヤルを回す、または画面を水平にドラッグしても画像を送ることができます。
- ドラッグして画像を送ったあとに画面の左右の端をタッチしたままにすると、画像を連続して送ることができます。（画像は縮小して表示されます）



■再生を終了する

再度、【▶】（再生）ボタンを押してください。またはシャッターボタンを半押ししてください。

- 電源を切っているときに【▶】（再生）ボタンを長押しすると、再生状態で電源を入れることができます。
- [レンズ収納] を [ON] に設定時は、撮影画面から再生画面に切り換えると、約 15 秒後にレンズ鏡筒が収納されます。
- 本機は一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格 DCF（Design rule for Camera File system）および、Exif（Exchangeable Image File Format）に準拠しています。DCF 規格に準拠していないファイルは再生できません。
- 他機で撮影された画像は、本機で正しく再生されない場合や、本機の機能を使用できない場合があります。

動画を見る

本機で再生できる動画のファイル形式は MP4 です。

- 動画には動画アイコン ([]) が表示されます。

1 ▲ を押して再生する

- 画面中央の [] をタッチしても動画を再生できます。
- [スナップムービー] で撮影した動画は自動再生されます。



動画記録時間

■ 動画再生中の操作

操作	タッチ操作	操作内容
▲	[▶/⏸]	再生 / 一時停止
◀	[◀◀]	早戻し*1
	[◀◀⏸]	(一時停止中) コマ戻し
▶	[▶▶]	早送り*1
	[▶▶⏸]	(一時停止中) コマ送り
▼	[■]	停止
	[-] / [+]	音量を下げる / 音量を上げる

*1 もう一度 ◀▶ を押すと、早戻し / 早送り速度が速くなります。

■ スナップムービー自動再生中の操作

▲	最初から再生
◀	前の画像に戻す
▶	次の画像へ送る

- 画面をタッチすると自動再生が停止します。

● パソコンで見る場合は、「PHOTOfunSTUDIO」で再生できます。

動画から写真を切り出す

1 動画再生中に ▲ を押して一時停止にし、写真にしたい画像を表示する

- 一時停止中に ◀▶ を押すと、位置の細かい調整をすることができます。



2 [MENU/SET] ボタンを押す

- [] をタッチしても操作できます。
- [画像横縦比] は [16:9] で、[クオリティ] は [] で保存されます。記録画素数は再生する動画により異なります。

画質設定	記録画素数
4K	M (8M)
FHD、HD	S (2M)

- 元の動画の画質設定により、画質が少し粗くなります。
- 動画から作成された写真には、再生時に [] が表示されます。

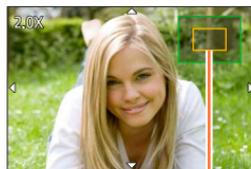
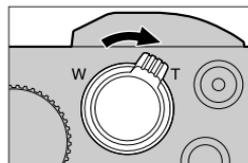
再生方法を切り換える

拡大して見る（再生ズーム）

1 ズームレバーを T 側に回す

- ズームレバーを T 側に回すごとに、1/2/4/8/16 倍に拡大します。

操作	タッチ操作	操作内容
	—	画像を拡大 / 縮小
—	ピンチアウト / ピンチイン	画像を細かく拡大 / 縮小
	ドラッグ	拡大表示位置の移動（拡大表示中）
	—	ズーム倍率、ズーム位置を保持したまま画像を送る（拡大表示中）



ズーム位置表示

- 画像を 2 回連続で素早くタッチしても、拡大表示できます。（拡大表示していた場合は、等倍表示に戻ります）

● [クオリティ] を [RAW] にして撮影した画像は、拡大倍率が 8 倍までになります。

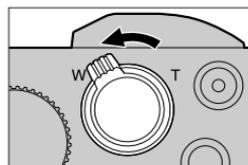
画像を一覧で見える（マルチ再生）

1 ズームレバーを W 側に回す

- ズームレバーを W 側に回すと、1 画面表示 → 12 画面表示 → 30 画面表示 → カレンダー画面に切り替わります。（T 側に回すと戻ります）
- 以下のアイコンをタッチすると、再生画面を切り換えることができます。

	1 画面		12 画面
	30 画面		カレンダー再生 (P.136)

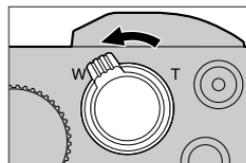
- 画面を上下にドラッグすると、一覧画面をスクロールできます。
- 12 画面または 30 画面で、カーソルボタンで画像を選んで [MENU/SET] ボタンを押すと、1 画面表示されます。（動画選択時は、動画が自動で再生されます）



● [!] と表示される画像は再生できません。

画像を撮影日ごとに見る（カレンダー再生）

1 ズームレバーを W 側に回して、カレンダー画面を表示する



選択日

2 ▲▼◀▶ で撮影日を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 12 画面表示に切り換わります。
- カレンダー画面表示に戻すには、ズームレバーを W 側に回してください。



- カレンダーの表示できる範囲は、2000 年 1 月から 2099 年 12 月までです。
- 時計設定を行わずに撮影した画像は、2025 年 1 月 1 日に表示されます。
- [ワールドタイム] で旅行先を設定して撮った画像は、旅行先の日付でカレンダー画面に表示されます。

グループ画像を見る

複数枚の画像を1つにまとめたグループ画像を、連続再生したり、1枚ずつ再生します。

	[4K フォト一括保存] で保存したグループ画像
	インターバル撮影で撮影したグループ画像
	コマ撮りアニメで撮影したグループ画像



- グループ単位での消去や編集ができます。(例えば、グループ画像を消去すると、グループ内のすべての画像が消去されます)

● 時計設定を行わずに撮影した場合、画像はグループ化されません。

グループ画像を連続再生する

1 ▲ を押す

- グループ画像アイコン (、、) をタッチしても操作できます。
- グループ画像を1枚ずつ再生しているときは、選択肢が表示されます。
[連写再生] (または [連続再生]) を選んだあとに、以下の再生方法を選んでください。
[最初の画像から見る] : グループの先頭画像から連続再生されます。
[この画像から見る] : 再生中の画像から連続再生されます。

■ 連続再生中の操作

操作	タッチ操作	操作内容	操作	タッチ操作	操作内容
▲		連続再生 / 一時停止	▼		停止
◀		早戻し再生	▶		早送り再生
		(一時停止中) 前の画像に戻す			(一時停止中) 次の画像へ送る

グループ画像を1枚ずつ再生する

1 ▼ を押す

- 、、 をタッチしても操作できます。

2 ◀▶ を押して画像を送る



- もう一度 ▼ を押す、または、 をタッチすると、通常の再生画面に戻ります。
- グループ内の画像に対して、通常の写真再生時と同様の操作が可能です。(マルチ再生、再生ズーム、画像の消去など)

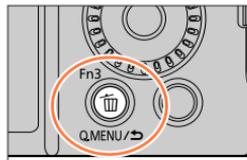
写真や動画を消す (消去)

一度消した画像は元に戻せません。

1 枚消去

1 消去する画像を表示中に [🗑️] ボタンを押す

- [🗑️] をタッチしても操作できます。



2 ▲ で [1 枚消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

複数消去 (100 枚*まで) / 全画像消去

*グループ画像は 1 枚として扱います。(選んだグループ画像内のすべての画像が消去されます)

1 画像を表示中に [🗑️] ボタンを押す

2 ▲▼ で [複数消去] / [全画像消去] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [レーティング] を設定した画像があるときは、[全画像消去] を選択すると [レーティング以外全消去] が選べます。

([複数消去] 選択時)

3 ▲▼◀▶ で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す (繰り返す)

- 解除するとき→再度 [MENU/SET] ボタンを押す



4 [DISP.] ボタンを押して実行する

- 消去枚数により、時間がかかることがあります。

メニュー一覧

各撮影モードでのみ表示されるメニュー

[インテリジェントオート]

- インテリジェントオートモード (P.44)
- i手持ち夜景 (P.46)
- iHDR (P.47)

M [クリエイティブ動画]

- 動画露出設定 (P.67)
- ハイスピード動画 (P.68)
- 4K ライブクロップ (P.69)

C [カスタムモード]

[C1]、[C2-1]、[C2-2]、[C2-3] から使いたいカスタムセットを選べます。(P.71)

SCN [シーンガイド]

- シーン切換 (P.59)

[クリエイティブコントロール]

- フィルター効果 (P.62)
- フィルターなし同時記録 (P.62)

[撮影]	P.140
------	-------

[動画]	P.150
------	-------

[カスタム]	P.152
--------	-------

[セットアップ]	P.165
----------	-------

[マイメニュー]	P.174
----------	-------

[再生]	P.175
------	-------

【撮影】

- 画像横縦比 (P.140)
- 記録画素数 (P.141)
- クオリティ (P.141)
- AFS/AFF/AFC* (P.73)
- ISO 感度* (P.88)
- ホワイトバランス (P.89)
- オートフォーカスマード* (P.74)
- フォトスタイル* (P.142)
- フィルター設定* (P.144)
- 測光モード* (P.145)
- iD レンジコントロール* (P.146)
- 超解像* (P.146)
- フラッシュ光量調整 (P.124)
- ISO オート上限設定 (写真) (P.146)
- 下限シャッター速度 (P.147)
- 回折補正* (P.147)
- 手ブレ補正* (P.115)
- iA ズーム* (P.118)
- デジタルズーム* (P.119)
- 連写速度 (P.93)
- 4K フォト (P.95)
- セルフタイマー (P.108)
- インターバル撮影 (P.109)
- コマ撮りアニメ (P.111)
- サイレントモード (P.147)
- シャッター方式 (P.148)
- ブラケット (P.113)
- HDR (P.149)

*【撮影】メニューと【動画】メニューで共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

【画像横縦比】

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**   

画像の横縦比（アスペクト比）を選択できます。

MENU ボタン →  **【撮影】** → **【画像横縦比】**

4:3	4:3 テレビの横縦比
3:2	一般のフィルムカメラの横縦比
16:9	ハイビジョンテレビなどの横縦比
1:1	正方形横縦比

【記録画素数】

撮影モード：  P A S M   

写真の画像サイズを設定します。

MENU ボタン →  【撮影】 → 【記録画素数】

画像横縦比	4:3	3:2	16:9	1:1
記録画素数	L (20M) 5184 × 3888	L (17M) 5184 × 3456	L (14.5M) 5184 × 2920	L (14.5M) 3888 × 3888
	EX M (10M) 3712 × 2784	EX M (9M) 3712 × 2480	EX M (8M) 3840 × 2160	EX M (7.5M) 2784 × 2784
	EX S (5M) 2624 × 1968	EX S (4.5M) 2624 × 1752	EX S (2M) 1920 × 1080	EX S (3.5M) 1968 × 1968

- 4K フォト撮影時、またはフォーカスセレクト撮影時は、記録画素数は [4K] に固定されます。

【クオリティ】

撮影モード：  P A S M   

画像を保存するときの圧縮率を設定します。

MENU ボタン →  【撮影】 → 【クオリティ】

設定	ファイル形式	設定内容
	JPEG	画質を優先して、JPEG 形式で記録します。
		標準画質で、JPEG 形式で記録します。 画素数を変えずに記録枚数を増やす場合などに便利です。
RAW 	RAW + JPEG	RAW 画像と JPEG 画像 ([] または []) を同時に記録できます。
RAW 		
RAW	RAW	RAW 形式で記録します。



RAW 形式

RAW 形式とは、カメラ内で画像処理が行われていないデータ形式です。RAW 画像の再生・編集には、本機または専用のソフトウェアが必要です。

- [再生] メニューの [RAW 現像] で RAW 画像を現像できます。(P.179)
- パソコンで RAW ファイルを現像または編集するには、ソフトウェア (アドワー「SILKYPIX Developer Studio」) を Web サイト (P.215) からダウンロードし、パソコンにインストールしてお使いください。

- RAW 画像は常に画像横縦比 [4:3] (5184 × 3888) で記録されます。
- [RAW]、[RAW] で撮影した画像を本機で消去すると、RAW 画像と JPEG 画像が同時に消去されます。
- [RAW] で撮影した画像を再生時は、撮影時の画像横縦比に合わせてグレーの領域が表示されます。
- 4K フォトと、フォーカスセレクト撮影時は [] に固定されます。
- 次の場合、[RAW] [RAW] [RAW] に設定できません。
 - ・ シーンガイドモード ([夜景を手持ちで撮る])

【フォトスタイル】

撮影モード： P A S M SCN

撮りたいイメージに合わせて、色や画質を調整できます。

MENU ボタン → 【撮影】 / 【動画】 → 【フォトスタイル】

STD.	スタンダード	標準的な設定です。
VIVID	ヴィヴィッド	彩度やコントラストが高めの設定です。
NAT	ナチュラル	コントラストが低めの設定です。
MONO	モノクローム	白黒など、単色の階調のみで表現する設定です。
SCNY	風景	青空や緑を鮮やかにする設定です。
PORT	人物	肌色を健康的に見せる設定です。
CUST	カスタム	あらかじめ登録した色や画質に設定できます。

- インテリジェントオートプラスモードでは、
 - [スタンダード] と [モノクローム] のみ設定できます。
 - 撮影モードを切り換えたり、電源を切ったりすると、[スタンダード] にリセットされます。
 - 画質調整はできません。
- シーンガイドモードでは、画質の調整のみできます。(P.143)

■画質を調整する



- ① ◀▶ でフォトスタイルの種類を選ぶ
 ② ▲▼ で項目を選び、◀▶ で調整する

① (コントラスト)	+	画像の明暗差を大きくします。
	-	画像の明暗差を小さくします。
② (シャープネス)	+	画像の輪郭を強調します。
	-	画像の輪郭を柔らかくします。
NR (ノイズリダクション)	+	ノイズリダクションの効果を強め、ノイズを軽減します。解像感がわずかに低下する場合があります。
	-	ノイズリダクションの効果を弱め、より解像感のある画質を得ることができます。
🌈 (彩度)*1	+	派手で鮮やかな色になります。
	-	落ち着いた色になります。
🌈 (色調)*1	+	青っぽい色になります。
	-	黄色っぽい色になります。
🎱 (フィルター効果)*2	黄	被写体のコントラストを強調します。(効果：弱) 青空をくっきりと撮影できます。
	オレンジ	被写体のコントラストを強調します。(効果：中) 青空を色濃く撮影できます。
	赤	被写体のコントラストを強調します。(効果：強) 青空をさらに色濃く撮影できます。
	緑	人物の肌や唇を落ち着いた色にします。緑の葉を明るくし、強調します。
	OFF	—

*1 [モノクローム] 選択時のみ [色調] が表示されます。それ以外では [彩度] が表示されます。

*2 [モノクローム] 選択時のみ表示されます。

- 画質を調整すると、フォトスタイルアイコンに [+] が表示されます。

- ③ [MENU/SET] ボタンを押す

■調整した画質の設定を [カスタム] に登録する

- ① [画質を調整する] の手順 ② で画質を調整し、[DISP.] ボタンを押す

【フィルター設定】

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

絞り優先 AE モードなどで、クリエイティブコントロールモードと同じ画像効果（フィルター）を加えることができます。（P.62）

MENU ボタン → 【撮影】 / 【動画】 → 【フィルター設定】 → 【フィルター効果】

設定： [ON] / [OFF] / 【設定】

■ タッチパネルで設定を変える

① をタッチする

② 設定する項目をタッチする

：画像効果の入/切

[POP]：画像効果（フィルター）

：画像効果の調整



- 次の場合、[ラフモノクローム] / [シルキーモノクローム] / [ソフトフォーカス] / [クロスフィルター] / [サンシャイン] は使えません。
 - ・ クリエイティブ動画モード
 - ・ 動画撮影時
- ISO 感度は 3200 までの設定になります。
- [ハイダイナミック] 設定時は、ISO 感度は [AUTO] に固定されます。
- 【フィルター効果】 使用時は、クリエイティブコントロールモードで設定できない機能も設定できなくなります。
- 次の場合、【フィルター設定】 は使えません。
 - ・ ハイスピード動画撮影時
 - ・ 4K ライブクロップ撮影時

■ 画像効果の適用前と適用後の写真を撮る（フィルターなし同時記録）

1 回シャッターボタンを押すと、効果適用前と適用後の写真を同時に撮影できます。

MENU ボタン →  **[撮影]** /  **[動画]** → **[フィルター設定]** → **[フィルターなし同時記録]**

設定：[ON] / [OFF]

- 画像効果あり、画像効果なしの順で撮影されます。
- 撮影後、[オートレビュー] で表示される写真は、効果適用後の写真のみになります。

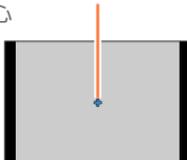
- 次の場合、[フィルターなし同時記録] は動きません。
 - 連写撮影時
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - 動画撮影中の写真撮影
 - [クオリティ] を [RAW ] [RAW ] [RAW] に設定時
 - プラケット撮影時
 - インターバル撮影時
 - [コマ撮りアニメ] 時

【測光モード】

撮影モード：   **P** **A** **S** **M**  **SCN** 

明るさを測る測光方式を切り換えることができます。

MENU ボタン →  **[撮影]** /  **[動画]** → **[測光モード]**

測光モード	明るさの測定位置	こんなとき
 (マルチ測光)	画面全体	通常使用 (バランスがとれた写真になります)
 (中央重点)	画面中央とその周囲	被写体が画面中央にあるとき
 (スポット)	[+] (スポット測光ターゲット) の中心 	被写体と背景の明るさが極端に異なるとき (舞台上のスポットライトが当たった人物を撮るとき、逆光時など)

- スポット測光ターゲットを画面の端に設定したときは、周辺の明るさの影響を受けます。

[iD レンジコントロール]

撮影モード： **P** **A** **S** **M** **SCN**

背景と被写体の明暗差が大きい場合に、コントラストや露出を自動調整して見た目に近い色にします。

MENU ボタン → [撮影] / [動画] → [iD レンジコントロール]

設定：[AUTO] / [強] / [中] / [弱] / [OFF]

- 撮影条件によっては、補正効果が得られない場合があります。
- 次の場合、[iD レンジコントロール] は働きません。
 - ・ [HDR] を [ON] に設定時
 - ・ [ISO 感度] を [H.4000]、[H.5000]、[H.6400] に設定時

[超解像]

撮影モード： **P** **A** **S** **M** **SCN**

超解像技術を使って、より輪郭のはっきりした、解像感がある画像を撮影できます。

MENU ボタン → [撮影] / [動画] → [超解像]

設定：[強] / [中] / [弱] / [OFF]

[ISO オート上限設定 (写真)]

撮影モード： **P** **A** **S** **M** **SCN**

ISO 感度を [AUTO] または [ISO] に設定したときの ISO 感度の上限を設定します。

MENU ボタン → [撮影] → [ISO オート上限設定 (写真)]

設定：[AUTO] / [200] / [400] / [800] / [1600] / [3200]

- 次の場合、[ISO オート上限設定 (写真)] は設定できません。
 - ・ シーンガイドモード ([夜景をきれいに撮る] [夜空をクールに撮る] [夜景を暖かく撮る] [夜景をアーティスティックに撮る] [夜景を手持ちで撮る])

【下限シャッター速度】

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

ISO 感度を [AUTO] または [ISO] に設定時のシャッタースピードの最低速度を設定します。

MENU ボタン → 【撮影】 → 【下限シャッター速度】

設定： [AUTO] / [1/16000] ~ [1/1]

- 適正露出にならない撮影状況では、シャッタースピードが設定値より遅くなることがあります。

【回折補正】

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

絞りを絞ったときの回折現象のボケを補正し、画像の解像感を高めます。

MENU ボタン → 【撮影】 / 【動画】 → 【回折補正】

設定： [AUTO] / [OFF]

- 高い ISO 感度では、画面周辺のノイズが目立つ場合があります。

【サイレントモード】

撮影モード： **P** **A** **S** **M**

操作音と発光の禁止を一括で設定します。

MENU ボタン → 【撮影】 → 【サイレントモード】

設定： [ON] / [OFF]

- スピーカーからの音声は消音に、フラッシュや AF 補助光は発光禁止に設定されます。次の機能は固定されます。
 - [フラッシュモード]： [] (発光禁止)
 - [シャッター方式]： [電子シャッター]
 - [AF 補助光]： [OFF]
 - [電子音音量]： [] (OFF)
 - [シャッター音音量]： [] (OFF)

- [ON] に設定していても、次の機能は点灯 / 点滅します。
 - セルフタイマーランプ
 - WIRELESS 接続ランプ
- レンズの絞りの音など、本機の動作音は消音されません。

[シャッター方式]

撮影モード：  **P** **A** **S** **M**   

メカシャッター方式と電子シャッター方式の2種類のシャッター方式で撮影できます。

	メカシャッター方式	電子シャッター方式
フラッシュ	○	×
シャッタースピード	4秒 ^{*1} 、 ^{*2} 1/2000秒	1秒 ^{*1} ～1/16000秒
シャッター音	メカシャッター音 + 電子シャッター音 ^{*3}	電子シャッター音 ^{*3}

*1 ISO感度の設定により変わります。(P.88)

*2 シーンガイドモードの[夜景をアーティストティックに撮る]で撮影時は30秒になります。

*3 [シャッター音音量]と[シャッター音音色]で、電子シャッター音の設定ができます。(P.168)

MENU ボタン →  **[撮影]** → **[シャッター方式]**

自動切換	撮影状況やシャッタースピードに応じて、シャッター方式が自動で切り換わります。 <ul style="list-style-type: none"> フラッシュ撮影などで機能の制約の少ない、メカシャッター方式を優先して使います。
メカシャッター	メカシャッター方式のみで撮影します。
電子シャッター	電子シャッター方式のみで撮影します。

- 画面に  が表示されている場合は、電子シャッターで撮影されます。
- 電子シャッターで撮影時は、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。
- 電子シャッターで撮影時は、蛍光灯やLEDなどの照明下では、横しみが撮影されることがあります。このようなときは、シャッタースピードを遅くすると横しみが軽減されることがあります。

[HDR]

撮影モード：

露出の異なる写真を 3 枚撮影して 1 枚の階調豊かな写真に合成します。背景と被写体の明暗差が大きい場合などに、黒つぶれや白飛びを抑えて撮影することができます。HDR 合成した画像は JPEG で記録されます。

MENU ボタン →  **【撮影】** → **[HDR]**

設定：**[ON]** / **[OFF]**

- シャッターボタンを押したあと、連写中はカメラを動かさないでください。
- 撮影後、連写した写真を合成するため、しばらくの間、次の撮影ができません。
- 動いている被写体を撮影すると、残像のように不自然に撮影される場合があります。
- フラッシュは  (発光禁止) に固定されます。
- 動画撮影中の写真撮影では動きません。
- 次の場合、[HDR] は使えません。
 - ・ 自分撮りモード
 - ・ 連写撮影時
 - ・ 4K フォト撮影時
 - ・ フォーカスセレクト撮影時
 - ・ ブラケット撮影時
 - ・ [クオリティ] を  [RAW ] [RAW] に設定時
 - ・ インターバル撮影時
 - ・ [コマ撮りアニメ] 時 ([自動撮影] 設定時のみ)

【動画】

- 画質設定 (P.127)
- スナップムービー (P.130)
- AFS/AFF/AFC* (P.73)
- AF 連続動作 (P.128)
- ISO 感度* (P.88)
- オートフォーカスマード* (P.74)
- フォトスタイル* (P.142)
- フィルター設定* (P.144)
- 測光モード* (P.145)
- iD レンジコントロール* (P.146)
- 超解像* (P.146)
- ISO オート上限設定 (動画) (P.67)
- 回折補正* (P.147)
- 手ブレ補正* (P.115)
- フリッカー軽減 (P.150)
- 動画傾き補正 (P.150)
- iA ズーム* (P.118)
- デジタルズーム* (P.119)
- 風音キャンセラー (P.151)
- ズームマイク (P.151)

* [撮影] メニューと [動画] メニューで共通のメニュー項目です。どちらかの設定を変更すると、もう一方の設定も変更されます。

【フリッカー軽減】

撮影モード：   **PAS**M   

シャッタースピードを固定して、動画のちらつきや横しまを軽減します。

MENU ボタン →  **【動画】** → **【フリッカー軽減】**

設定： [1/50] / [1/60] / [1/100] / [1/120] / [OFF]

【動画傾き補正】

撮影モード：   **PAS**M   

動画撮影時のカメラの傾きを自動的に検出して、動画が傾かないように水平に補正します。

MENU ボタン →  **【動画】** → **【動画傾き補正】**

設定： [ON] / [OFF]

- 歩きながら撮影したり、カメラの傾きが大きい場合、動画を水平に補正できないことがあります。
- 動画撮影開始時に画角が少し狭くなります。
- 動画撮影中に撮影した写真は、水平に補正されません。
- 次の場合、動画傾き補正は働きません。
 - ハイスピード動画撮影時
 - 4K ライブクロップ撮影時
 - [手ブレ補正] を [OFF] に設定時
 - [画質設定] が [4K/100M/30p] の動画撮影時

【風音キャンセラー】

撮影モード：  P A S M   

音質を保ちながら、内蔵マイクに当たる風音ノイズを低減します。

MENU ボタン →  【動画】 → 【風音キャンセラー】

設定：[強] / [標準] / [OFF]

- [強] は強風を検出すると、低音を抑えてより効果的に風音を低減する設定です。
- [標準] は音質を損なうことなく、風音だけを抽出して低減する設定です。

- 撮影状況によっては十分な効果が得られない場合があります。

【ズームマイク】

撮影モード：  P A S M   

ズーム操作に連動して、望遠では遠くの音、広角では周囲の音をよりクリアに記録します。

MENU ボタン →  【動画】 → 【ズームマイク】

設定：[ON] / [OFF]

- [ON] に設定時、ズームすると周囲の音に合わせて動作音も強調されて記録される場合があります。また、[OFF] のときよりも録音レベルが下がります。
- 望遠時には、音声のステレオ感がなくなります。

【カスタム】

☑ 露出

- ISO 感度ステップ (P.153)
- 拡張 ISO 感度 (P.153)
- 露出補正リセット (P.153)

FOCUS フォーカス / レリーズ

- AF/AE ロック切替 (P.86)
- AF/AE ロック維持 (P.153)
- シャッター半押し AF (P.153)
- シャッター半押しレリーズ (P.153)
- クイック AF (P.153)
- ピンポイント AF 設定 (P.154)
- AF 補助光 (P.154)
- ダイレクトフォーカス移動 (P.154)
- フォーカス / レリーズ優先 (P.155)
- AF+MF (P.155)
- MF アシスト (P.155)
- MF アシスト表示 (P.155)

🔧 操作

ファンクション

- Fn ボタン設定 (P.39)
- 露出補正画面の操作 (P.155)
- リング / ダイヤル設定 (P.42)
- 操作ロック設定 (P.156)
- タッチ設定 (P.156)
- ダイヤル操作ガイド (P.156)
- ズームレバー (P.156)
- ズームバック (P.27)

📺 モニター / 表示

- オートレビュー (P.157)
- モノクロライブビュー (P.157)
- ピーキング (P.157)
- ヒストグラム表示 (P.158)
- ガイドライン表示 (P.158)
- センターマーカー表示 (P.158)
- ハイライト表示 (P.158)
- ゼブラパターン表示 (P.159)
- 露出メーター (P.159)
- MF ガイド (P.159)
- 記録枠表示 (P.160)
- 残枚数 / 残時間切替 (P.160)
- 動画記録中の赤枠表示 (P.160)
- メニューガイド (P.160)

🔍 レンズ / その他

- レンズ位置メモリー (P.161)
- レンズ収納 (P.161)
- セルフタイマー自動解除 (P.161)
- 自分撮り (P.161)
- 動画の縦位置情報 (P.161)
- 個人認証 (P.162)
- プロフィール設定 (P.164)

MENU ボタン →  [カスタム] →  [露出]

[ISO 感度ステップ]

ISO 感度を 1EV ごとに設定するか、1/3EV ごとに設定するかを変更します。

[拡張 ISO 感度]

設定できる ISO 感度の数値を拡張することができます。(P.88)

[露出補正リセット]

撮影モードを変更したとき、または本機の電源を切ったときに露出補正値をリセットします。

MENU ボタン →  [カスタム] →  [フォーカス/リリース]

[AF/AE ロック維持]

[AF/AE LOCK] を登録したファンクションボタンを押したあと、ボタンから指を離してもピントや露出が固定されます。もう一度押すとロックが解除されます。

[シャッター半押し AF]

シャッターボタン半押し時に、自動的にピントを合わせるかを設定します。

[シャッター半押しリリース]

シャッターボタン半押しで、すぐにシャッターを切ることができます。

[クイック AF]

シャッターボタンを押していない間も、カメラのブレが小さくなると自動的にピントを合わせます。(バッテリーの消費は早くなります)

- 次の場合、[クイック AF] は動きません。
 - プレビューモード時
 - 低照度時

MENU ボタン →  [カスタム] →  [フォーカス/リリース]

【ピンポイント AF 設定】

ピンポイント AF 時間	オートフォーカスモードを  に設定時、シャッターボタン半押し中に表示される拡大画面の表示時間を設定します。
ピンポイント AF 表示	オートフォーカスモードを  に設定したときの拡大画面を、画面の一部に表示するか、全画面表示にするか設定します。

【AF 補助光】

暗い場所での撮影時、ピントを合わせやすくするためにシャッターボタン半押しで AF 補助光ランプが点灯します。

- AF 補助光の有効距離は 1.5 m です。
- 次の場合、[OFF] に固定されます。
 - ・ シーンガイドモード ([風景をきれいに撮る] [青空をさわやかに撮る] [夕焼けを幻想的に撮る] [夕焼けを印象的に撮る] [水面をキラキラ撮る] [夜景をきれいに撮る] [夜空をクールに撮る] [夜景を暖かく撮る] [夜景をアーティスティックに撮る] [夜景を手持ちで撮る])
 - ・ [サイレントモード] を [ON] に設定時

【ダイレクトフォーカス移動】

撮影時にカーソルボタンを使って、AF エリアや MF アシストを移動します。

- 、、、 選択時は AF エリアを、 選択時はロック開始位置を、 選択時はピントを合わせる位置を移動することができます。
- カーソルボタンに割り当てられている機能は、クイックメニュー (P.38) やファンクションボタン (P.39) を使って設定してください。
- 次の場合、[ダイレクトフォーカス移動] は [OFF] に固定されます。
 - ・ シーンガイドモード ([水面をキラキラ撮る])
 - ・ クリエイティブコントロールモード
 - ・ 4K ライブクロップ撮影時

MENU ボタン →  [カスタム] →  [フォーカス/リリース]

【フォーカス/リリース優先】

オートフォーカス時に、ピントを合わせることを優先するか、シャッターを切ることを優先するかを設定します。

フォーカスモード（[AFS/AFF]、[AFC]）ごとに設定できます。

フォーカス	ピントが合っていないときは撮影できません。
バランス	ピント合わせとリリースタイミングのバランスをとり撮影します。
リリース	ピントが合っていないなくても撮影できます。

【AF+MF】

AF ロックしている間（[撮影] メニューの [AFS/AFF/AFC] を [AFS] に設定時のシャッターボタン半押し、または [AF/AE LOCK] での AF ロック）に手でピントを微調整することができます。

【MF アシスト】

マニュアルフォーカス時に MF アシスト（拡大画面）を表示して、ピントを合わせやすくします。

- 次の場合、MF アシストは表示されません。
 - 動画撮影中
 - 4K フォトの （4K プリ連写）で撮影時
 - デジタルズーム使用時

【MF アシスト表示】

MF アシスト（拡大画面）を、画面の一部に表示するか、全画面表示にするか設定します。

MENU ボタン →  [カスタム] →  [操作]

【露出補正画面の操作】

■ 上 / 下ボタンの割当

露出補正画面で ▲▼ に割り当てる機能を設定します。

設定： （露出ブラケット） / [OFF]

MENU ボタン →  [カスタム] →  [操作]

[操作ロック設定]

[カスタム] メニュー (操作) の [Fn ボタン設定] (P.39) で [操作ロック] を設定時に、操作を無効にする対象を設定します。

カーソル	カーソルボタン、[MENU/SET] ボタンの操作を無効にします。
タッチパネル	タッチパネルを使ったタッチ操作を無効にします。
ダイヤル	コントロールダイヤルとコントロールリングの操作を無効にします。

[タッチ設定]

タッチ操作の有効 / 無効を設定します。

タッチパネル	すべてのタッチ操作。
タッチタブ	画面右に表示される [ >] などのタブ操作。
タッチ AF	タッチした被写体にピント [AF]、またはピントと明るさ [AF+AE] を合わせる操作。

[ダイヤル操作ガイド]

撮影モードを切り換えたときに、ダイヤル操作ガイドを表示します。



[ズームレバー]

ズーム動作の設定を変更できます。

Q (ズーム)	通常のズーム動作を行います。
Q (ステップズーム)	<p>操作するたびに、決められた各焦点距離の位置でズームが停止します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 動画撮影時、4K フォトの [>] (4K フリ連写) で撮影時は動きません。



MENU ボタン →  [カスタム] →  [モニター / 表示]

[オートレビュー]

時間 (写真)	写真撮影後に撮影画像を表示する時間を設定します。
時間 (4K フォト)	4K フォト撮影後に撮影画像を表示する / しないを設定します。
時間 (フォーカスセレクト)	フォーカスセレクト撮影後に撮影画像を表示する / しないを設定します。
再生操作優先	オートレビュー中に再生画面の切り換えや消去などができます。

- [時間 (写真)] を [ホールド] に設定時、シャッターボタンを半押しするまで画像が表示されます。
[再生操作優先] は [ON] に固定されます。

[モノクロライブビュー]

撮影画面を白黒表示にすることができます。

- 撮影時に HDMI 出力する映像は、白黒表示になりません。
- 撮影画像に影響はありません。

[ピーキング]

手でピントを合わせているときに、ピントが合っている部分 (画面上で輪郭がはっきりした部分) に色を付けて表示します。

- [設定] で [検出レベル] を [高] に設定すると、色を付けて表示される範囲を狭くするため、より厳密なピント合わせができます。
- [検出レベル] の設定を変更すると、[表示色] の設定も以下のように切り換わります。

検出レベル	高	←→	低
表示色	 (水色)		 (青)
	 (黄色)		 (オレンジ)
	 (黄緑)		 (緑)
	 (ピンク)		 (赤)
	 (白)		 (灰色)

- [] の [PEAK] をタッチするごとに [PEAK L] (検出レベル：低) → [PEAK H] (検出レベル：高) → [OFF] の順に切り換わります。
- 次の場合、ピーキングは動きません。
 - ・クリエイティブコントロールモード ([ラフモノクローム])

MENU ボタン →  [カスタム] →  [モニター / 表示]

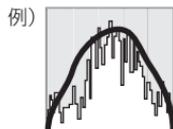
【ヒストグラム表示】

ヒストグラムを表示します。

[ON] 時に ▲▼◀▶ を押し、ヒストグラムの表示位置を移動することができます。

- 撮影画面でも直接ドラッグして位置を設定できます。

画像の明るさの分布を示しており、例えば山が右側にあれば画像に明るい部分が多いことを示します。山が中央にあるときが適正な明るさ（適正露出）です。露出補正などの参考にします。



暗い ← 適正 → 明るい

- 撮影画像とヒストグラムが以下の条件で一致しない場合は、ヒストグラムがオレンジ色で表示されます。

- 露出補正時
- フラッシュが発光するとき
- 低照度時など適正露出にならないとき

【ガイドライン表示】

撮影時に表示するガイドラインのパターンを設定します。

-  にすると、▲▼◀▶ を押し、ガイドラインの位置を移動することができます。
- 撮影画面でも、ガイドライン上の  を直接ドラッグして位置を設定できます。

【センターマーカー表示】

撮影画面の中心を示す [+] を表示します。

【ハイライト表示】

オートレビューまたは再生時に白飛びしている部分を点滅表示できます。

- 白飛びを軽減したい場合は、ヒストグラム表示などを参考に露出をマイナス補正して撮影してください。
- 4K フォト再生、フォーカスセレクト撮影した画像の再生、マルチ再生、カレンダー再生、再生ズーム時は働きません。
- 撮影画像に影響はありません。



MENU ボタン →  [カスタム] →  [モニター / 表示]

【ゼブラパターン表示】

白飛びのおそれがある部分を縞模様に表示して確認できます。

ゼブラ 1 :



ゼブラ 2 :



[設定] から、縞模様で表示する明るさを設定できます。

- 選べる明るさの範囲は [50%] から [105%] までです。[ゼブラ 2] では [OFF] に設定することができます。[100%] または [105%] を選択すると、白飛びを起している部分だけが縞模様で表示されます。数値を小さくすると、縞模様で表示する明るさの範囲が広がります。

- 白飛びを軽減したい場合は、ヒストグラム表示などを参考に露出をマイナス補正して撮影してください。
- 表示される縞模様は記録されません。
- [カスタム] メニュー (操作) の [Fn ボタン設定] (P.39) で [ゼブラパターン表示] を設定すると、設定したファンクションボタンを押すごとに [ゼブラ 1] → [ゼブラ 2] → [OFF] の順に切り換わります。[ゼブラ 2] を [OFF] に設定時は、[ゼブラ 1] → [OFF] の順に切り換わり、素早く切り換えることができます。

【露出メーター】

露出メーターを表示します。

- [ON] に設定すると、プログラムシフト、絞り、またはシャッタースピードを設定時に露出メーターが表示されます。
- 適正でない範囲が、赤色で表示されます。
- 露出メーターが表示されないときは、[DISP.] ボタンを押して画面の表示情報を切り換えてください。
- 約 4 秒間何も操作しないと露出メーターが消灯します。



【MF ガイド】

マニュアルフォーカス時に MF ガイドを表示します。
近距離側、遠距離側へピントを合わせる方向を確認できます。



MENU ボタン →  [カスタム] →  [モニター / 表示]

【記録枠表示】

写真撮影時と動画撮影時の画角を切り換えます。

	写真撮影時の画角で表示します。
	動画撮影時の画角で表示します。

- 記録枠表示は目安です。
- 4K フォト撮影時やフォーカスセレクト撮影時は、 に固定されます。

【残枚数 / 残時間切換】

記録可能枚数または記録可能時間の表示を切り換えます。

【動画記録中の赤枠表示】

撮影画面に、動画記録中であることを示す赤色の枠を表示します。

【メニューガイド】

モードダイヤルを [SCN] /  に切り換えたときに選択画面を表示します。

MENU ボタン →  [カスタム] →  [レンズ / その他]

【レンズ位置メモリー】

電源を切ったときのズーム位置とフォーカス位置を記憶します。

【レンズ収納】

再生画面に切り換えて、しばらくするとレンズ鏡筒を収納します。

【セルフタイマー自動解除】

電源を切ると、セルフタイマーが解除されます。

【自分撮り】

[OFF] に設定すると、モニターを回転させても自分撮りモード (P.49) になりません。

【動画の縦位置情報】

動画撮影時にカメラの縦位置情報を記録します。カメラを縦にして撮影した動画は、パソコンやスマートフォンなどで再生時に自動で縦向きに再生されます。

- カメラの再生画面では、サムネイル表示でだけ縦向きに再生します。

MENU ボタン →  [カスタム] →  [レンズ/その他]

【個人認証】

個人認証とは、登録された顔に近い顔を見つけて、自動で優先的にピントや露出を合わせる機能です。集合写真などで大切な人が奥や隅にいても、大切な人の顔をきれいに撮影することができます。

設定：[ON] / [OFF] / [登録]

■ 個人認証機能の働き

撮影時

- 登録した顔を認識し、ピントと露出を合わせる
- 名前を設定して登録した顔を認識すると、名前を表示（3人まで）

再生時

- 名前や月齢 / 年齢を表示



■ 顔画像を登録する

最大6人までの顔画像を名前や誕生日などの情報とともに登録できます。

- ① ▼ で [登録] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ② ▲ ▼ ◀ ▶ で [新規登録] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



③ ガイドに顔を合わせて撮影する

- 人物以外の被写体の顔（ペットなど）は、登録できません。
- ▶ を押す、または [i] をタッチすると、説明が表示されます。



④ ▲ ▼ で編集項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

名前	名前を設定します。 • 文字の入力方法 (P.43)
月齢 / 年齢	誕生日を設定します。
追加登録	顔画像は3枚まで登録できます。 ① ◀ ▶ で [追加登録] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す • カールボタンで登録済みの顔画像を選ぶと、解除の確認画面が表示されます。 [はい] を選ぶと、顔画像が消去されます。 ② 撮影する (手順 ③)

MENU ボタン →  [カスタム] →  [レンズ/その他]**■ 登録した人物の情報を編集 / 解除する**

- ① ▼ で [登録] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ② ▲▼◀▶ で編集または解除する人物を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ③ ▲▼ で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

情報編集	名前など、登録した情報を修正します。(「顔画像を登録する」の手順 ④)
登録順	ピントや露出の優先順位を設定します。 ① ▲▼◀▶ で登録順を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
解除	登録した人物の情報や顔画像を消去します。

顔画像登録時の撮影ポイント

- 目を開き、口を閉じた状態で正面を向き、髪の毛で顔の輪郭、目や眉が隠れないようにする。
- 顔に極端な陰影が出ないようにする。(登録時、フラッシュは発光しません)

登録時の良い例

**撮影時に認証されにくいと感じたら**

- 同じ人物の顔を室内と屋外で、または表情やアングルを変えて追加で登録する。
- 撮影するその場で追加して登録する。
- 登録している人物を認証しなくなった場合は、登録し直す。
- 登録している人物でも表情や環境によっては個人認証ができない、または正しく認証されない場合があります。

- **【個人認証】は、オートフォーカスモードを [] に設定しているときのみ有効です。**
- 連写撮影時は、1 枚目のみ個人認証に関する撮影情報が付加されます。
- グループ画像では、1 枚目の画像の名前が表示されます。
- 次の場合、【個人認証】を設定できません。
 - クリエイティブコントロールモード ([] ジオラマ)
 - 自分撮りモード ([] スリムモード)
 - 動画撮影時
 - 4K フォト撮影時
 - フォーカスセレクト撮影時
 - インターバル撮影時

MENU ボタン →  [カスタム] →  [レンズ/その他]

【プロフィール設定】

あらかじめ、赤ちゃんやペットの名前や誕生日を設定することで、名前や月齢 / 年齢を画像に記録することができます。

設定: ¹ (赤ちゃん 1)] / ² (赤ちゃん 2)] /  (ペット)] / [OFF] / [設定]

■名前、月齢 / 年齢を設定する

- ①▼で [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ②▲▼で [赤ちゃん 1]、[赤ちゃん 2] または [ペット] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ③▲▼で [月齢 / 年齢] または [名前] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ④▼で [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
 [月齢 / 年齢] (誕生日) を入力する
 [名前] を入力する
 ・ 文字の入力方法 (P.43)

■月齢 / 年齢や名前の表示を解除する

[プロフィール設定] で [OFF] を選ぶ。

- [名前] や [月齢 / 年齢] は、Web サイトからダウンロードしたソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってパソコンで印刷設定をしたり、本機の [文字焼き込み] で写真に焼き込むことができます。
- 4K フォト撮影時またはフォーカスセレクト撮影時、[プロフィール設定] は使えません。
- 次の場合、月齢 / 年齢や名前は記録されません。
 - ・ 動画撮影時
 - ・ 動画撮影中に撮影した写真

【セットアップ】

MENU ボタン →  【セットアップ】

- CLUB Panasonic 登録 (P.165)
- カスタムセット登録 (P.71)
- 時計設定 (P.23)
- ワールドタイム (P.166)
- トラベル日付 (P.167)
- Wi-Fi® (P.167)
- Bluetooth® (P.168)
- WIRELESS 接続ランプ (P.168)
- 電子音 (P.168)
- 電源ボタン (起動時) (P.169)
- エコモード (P.169)
- モニター表示速度 (P.170)
- モニター調整 (P.170)
- モニター輝度 (P.170)
- テレビ接続設定 (P.171)
- 言語設定 (P.171)
- バージョン表示 (P.171)
- フォルダー / ファイル設定 (P.172)
- 番号リセット (P.173)
- 設定リセット (P.173)
- ネットワーク設定リセット (P.173)
- 水準器調整 (P.174)
- デモモード (P.174)
- 認証情報 (P.174)
- フォーマット (P.21)

【CLUB Panasonic 登録】

CLUB Panasonic に登録するための URL または QR コードを表示します。

設定：【URL 表示】 / 【QR コード表示】

MENU ボタン → 設定アイコン [セットアップ]

[ワールドタイム]

お住まいの地域と旅行先の時刻を設定します。

- [旅行先] の設定は、[ホーム] 設定後に行えます。

設定：[旅行先] / [ホーム]

1 ▲▼ で [旅行先] または [ホーム] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ◀▶ で地域を選択し、[MENU/SET] ボタンを押す

**■サマータイムを設定する**

手順 **2** で ▲ を押す（再度、押すと解除）

- サマータイム [設定アイコン] を設定すると、現在時刻が 1 時間進みます。設定を解除すると、自動的に戻ります。

■旅行先から戻ってきた場合

手順 **1** で [ホーム] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- タイムゾーンは国や地域によって改正される場合があるため、画面に表示される地名と実際のタイムゾーンが一致しない場合があります。画面下部に表示される時差も確認のうえ設定してください。

【トラベル日付】

■【トラベル日付設定】

旅行の日程を設定して撮影すると、旅行何日目に撮影したかが記録されます。

■【旅行先】

【トラベル日付設定】が設定されているときは、旅行先を設定できます。

- 文字の入力方法 (P.43)

- 経過日数や旅行先をプリントするときは、[文字焼き込み] (P.184) を行うか、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使ってプリントしてください。
- トラベル日付は、設定された出発日と本機の時計設定の日付により計算されます。[ワールドタイム] で旅行先を設定したときは、旅行先の日付を基に経過日数を表示します。
- 【トラベル日付設定】を [OFF] に設定すると、経過日数は記録されません。撮影後に【トラベル日付設定】を [設定] にしても表示されません。
- 現在の日付が帰着日を経過した場合、【トラベル日付設定】は自動的に解除されます。
- 動画撮影時、4K フォト撮影時とフォーカスセレクト撮影時、【旅行先】は記録できません。

【Wi-Fi®】

■【Wi-Fi 機能】 (P.208)

■【Wi-Fi 設定】 (P.210)

MENU ボタン →  [セットアップ]

[Bluetooth®]

- [Bluetooth] (P.193)
- [スマートフォンに画像を送る] (P.207)
- [リモート起動] (P.197)
- [自動画像転送] (P.201)
- [位置情報記録] (P.202)
- [自動時刻合わせ] (P.202)

[WIRELESS 接続ランプ]

WIRELESS 機能が動作中にランプを点灯します。

設定：[ON] / [OFF]

[電子音]

電子音や電子シャッター音を設定します。

- [電子音音量]
- [シャッター音音量]
- [シャッター音音色]

- [サイレントモード] を [ON] に設定時は、[電子音] は設定できません。

MENU ボタン →  [セットアップ]**[電源ボタン (起動時)]**

電源起動時の電源ボタンの操作を設定します。

長押し	長押しでカメラの電源をオンにします。 <ul style="list-style-type: none"> ・ [長押し] に設定すると、かばんやポケット内で気付かないうちにカメラの電源ボタンが押されて、意図せず電源がオンになることを低減できます。(電源がオンになると鏡筒が繰り出します。鏡筒に圧力を加えると故障の原因になります)
短押し	短押しでカメラの電源をオンにします。(お買い上げ時の設定)

[エコモード]**■ [自動電源 OFF]**

設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的に電源を切ります。

([OFF] にすると、本機の消費電力が増加する可能性があります)

- ・ 再度使うときは、電源を入れ直してください。

■ [自動電源 OFF (Wi-Fi)]

Wi-Fi 接続が切断されている間に約 15 分間操作をしないと、自動的に本機の電源を切ります。

([OFF] にすると、本機の消費電力が増加する可能性があります)

- ・ 再度使うときは、電源を入れ直してください。

■ [モニター自動 OFF]

設定した時間の間に何も操作をしないと、自動的にモニターが消灯します。

- ・ モニターを再度点灯するには、いずれかのボタンを押してください。

● 次の場合、動きません。

- ・ 動画撮影 / 再生時
- ・ 4K フォトの  (4K プリ連写) で撮影時
- ・ パソコン接続時
- ・ スライドショー中
- ・ インターバル撮影時
- ・ [コマ撮りアニメ] 時 ([自動撮影] 設定時のみ)
- ・ 撮影時での HDMI 出力中

MENU ボタン →  [セットアップ]**[モニター表示速度]**

モニターの表示速度を設定します。

ECO 30fps	電力消費を抑え、使用時間が長くなります。
60fps	動きを滑らかに表示できます。動きの速い被写体を撮影する場合に適しています。

- [モニター表示速度] を [ECO 30fps] に設定時はデジタルズームは使用できません。
- 次の場合、[ECO 30fps] に設定できません。
 - ・ クリエイティブ動画モード
 - ・ 4K フォト撮影時
 - ・ フォーカスセレクト撮影時
- 撮影時での HDMI 出力中は、[モニター表示速度] の設定は無効になります。
- [モニター表示速度] の設定は、撮影画像に影響はありません。

[モニター調整]

モニターの明るさや色合いを調整します。

 (明るさ)	明るさを調整します。
 (コントラスト)	明暗差を調整します。
 (彩度)	色の鮮やかさを調整します。
 (赤み)	赤みを調整します。
 (青み)	青みを調整します。

- 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、撮影画像に影響はありません。

[モニター輝度]

周囲の明るさに応じて、モニターの明るさを設定できます。

 (AUTO)	撮影時は、周囲の明るさに応じて、自動的に明るさを調整します。再生時は、最後に撮影したときの明るさに合わせます。(電源を入れたあと一度も撮影していない場合は、標準的な明るさになります)
 (MODE1)	モニターを明るくします。
 (MODE2)	モニターを標準的な明るさにします。
 (MODE3)	モニターを暗くします。

- 被写体によっては実際と違って見える場合がありますが、撮影画像に影響はありません。
- [AUTO] または [MODE1] を設定すると、使用時間が減少します。

MENU ボタン →  [セットアップ]

【テレビ接続設定】

■【HDMI 出力解像度（再生時）】

出力する映像方式を設定します。

AUTO	接続したテレビからの情報を基に、自動的に出力解像度を決定します。
4K/30p	有効走査線数 2160 本のプログレッシブ方式で、出力解像度 3840 × 2160 の出力をします。
1080p	有効走査線数 1080 本のプログレッシブ方式で出力します。
1080i	有効走査線数 1080 本のインターレース方式で出力します。
720p	有効走査線数 720 本のプログレッシブ方式で出力します。
480p	有効走査線数 480 本のプログレッシブ方式で出力します。

- [AUTO] に設定して映像がテレビに出ない場合は、お使いのテレビが表示できる「AUTO」以外の設定に切り換えてください。（テレビの取扱説明書もお読みください）

■【ビエラリンク】

[ON] に設定すると、HDMI マイクロケーブルで接続したビエラリンク対応機器が、自動で本機と連動します。ビエラリンク対応機器のリモコンで操作できます。（P.213）

【言語設定】

画面表示の言語を設定します。

- 誤った言語に設定した場合は、メニューアイコンの  を選び、言語を設定してください。

【バージョン表示】

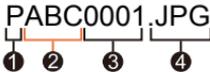
本体のファームウェアのバージョンを確認できます。

- バージョン表示中に [MENU/SET] ボタンを押すと、ライセンスなど本機のソフトの情報が表示されます。

MENU ボタン →  [セットアップ]

【フォルダー / ファイル設定】

画像を保存するフォルダーとファイル名を設定します。

フォルダー名	ファイル名
	
① フォルダー番号 (3桁、100～999) ② 任意の5桁	① 色空間 (sRGB) ② 任意の3桁 ③ ファイル番号 (4桁、0001～9999) ④ 拡張子

フォルダー選択	画像を保存するフォルダーを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> フォルダー名には記録可能なファイル数が表示されます。 	
新規フォルダー作成	フォルダー番号を繰り返して、新規フォルダーを作成します。 <ul style="list-style-type: none"> カード内に記録可能なフォルダーがない場合は、フォルダー番号のリセット画面が表示されます。 	
	OK	フォルダー名の任意の5桁を現在と同じ設定のまま、新規フォルダーを作成します。
	フォルダー名変更	フォルダー名の任意の5桁を入力し、変更して新規フォルダーを作成します。 <ul style="list-style-type: none"> 設定可能な文字：英字 (大文字)、数字、[_] 文字の入力方法：(P.43)
ファイル名設定	フォルダー番号連動	ファイル名の任意の3桁をフォルダー番号に合わせます。
	ユーザー設定	ファイル名の任意の3桁を入力し、設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 設定可能な文字：英字 (大文字)、数字、[_] 文字の入力方法：(P.43)

- 1つのフォルダーに1000ファイルまで保存できます。
- ファイル番号は撮影順に0001～9999の連番で保存されます。保存するフォルダーを変更した場合、前のファイル番号の続きの番号で保存されます。
- 次の場合、以下のファイルを保存するときに、フォルダー番号を繰り返して新しいフォルダーを自動で作成します。
 - フォルダー内に1000ファイルあるとき
 - ファイル番号が「9999」のファイルがフォルダー内にあるとき
- フォルダー番号が100～999までのフォルダーがすべてある場合、新規でフォルダーを作成できません。データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをお勧めします。

MENU ボタン →  [セットアップ]

【番号リセット】

画像のファイル番号をリセットします。(新しいフォルダーを作成し、ファイル番号を0001 にリセットします)

- フォルダ番号を 100 にリセットするには：
まず、カードを本機でフォーマットし、[番号リセット] で [はい] を選びます。その後、フォルダ番号のリセット画面で [はい] を選びます。
- フォルダ番号は 100 ～ 999 まで作成されます。
フォルダ番号が 999 になるとリセットできません。必要な画像をパソコンなどに保存してから本機でフォーマットをしてください。(P.21)

【設定リセット】

設定をお買い上げ時の状態に戻します。

■撮影設定とドライブモード

■セットアップ設定 ([Wi-Fi 設定]、[Bluetooth] の設定内容)

■カスタム設定 ([個人認証]、[プロフィール設定] の設定内容)

■セットアップ / カスタム設定 ([Wi-Fi 設定]、[Bluetooth]、[個人認証]、[プロフィール設定] 以外)

- セットアップ / カスタム設定をリセットした場合、以下もリセットされます。
 - [ワールドタイム] の設定内容
 - [トラベル日付] の設定内容 (出発日、帰着日、旅行先)
 - [再生] メニューの [縦位置自動回転]、[画像表示順] の設定内容
- フォルダ番号、時計設定はリセットされません。

【ネットワーク設定リセット】

[Wi-Fi 設定] や [Bluetooth] で登録した機器情報などをお買い上げ時の状態に戻します。

MENU ボタン →  [セットアップ]

【水準器調整】

■【調整】

カメラを水平な状態にし、[MENU/SET] ボタンを押してください。水準器が調整されます。

■【調整値リセット】

水準器の調整値をお買い上げ時の状態に戻します。

【デモモード】

フォーカスセレクトのピント合わせやピーキングなどをイメージ画像にてお試しください。

【認証情報】

認証情報電波法に基づく工事設計認証番号を表示します。

【マイメニュー】

【マイメニュー設定】

よく使うメニュー項目を【マイメニュー】に登録します。(23 項目まで)

MENU ボタン →  【マイメニュー】 → 【マイメニュー設定】

登録	マイメニューに表示するメニュー項目を選び、登録します。
並べ換え	メニュー項目の順番を変更します。メニュー項目を選び、移動先を設定してください。
消去	登録したメニュー項目を消去します。 【項目消去】：メニュー項目を選び、消去します。 【全消去】：すべてのメニュー項目を消去します。
マイメニューから表示	メニュー画面を表示するときに、最初に表示する画面を設定します。 【ON】：マイメニュー画面を表示します。 【OFF】：最後に使ったメニューの画面を表示します。

【再生】

- スライドショー (P.176)
- 再生モード (P.177)
- プロテクト (P.177)
- レーティング (P.177)
- タイトル入力 (P.178)
- 認証情報編集 (P.178)
- RAW 現像 (P.179)
- 4K フォト一括保存 (P.181)
- 比較明合成 (P.181)
- 軌跡合成 (P.182)
- クリアレタッチ (P.183)
- 文字焼き込み (P.184)
- リサイズ (縮小) (P.185)
- トリミング (切抜き) (P.186)
- 画像回転 (P.186)
- 動画分割 (P.187)
- インターバル動画作成 (P.187)
- コマ撮りアニメ作成 (P.187)
- 縦位置自動回転 (P.188)
- 画像表示順 (P.188)

● 他機で撮影した画像は、設定や編集ができない場合があります。

■ [1枚設定]、[複数設定] での画像の選び方

[1枚設定] または [複数設定] が選べない場合は、[1枚設定] と同じ選び方になります。

[1枚設定]

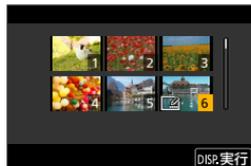
- ① ◀▶ で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 画面右下に [設定 / 解除] と表示される場合、もう一度 [MENU/SET] ボタンを押すと設定が解除されます。



[複数設定]

右のような画面の場合

- ① ▲▼◀▶ で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す (繰り返す)
- 解除するとき→再度 [MENU/SET] ボタンを押す
- ② [DISP.] ボタンを押して実行する



右のような画面の場合

- ① ▲▼◀▶ で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す (繰り返す)
- 解除するとき→再度 [MENU/SET] ボタンを押す



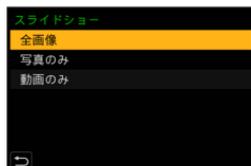
【スライドショー】

撮影した画像を自動で連続再生します。写真のみ、または動画のみを選んでスライドショーで再生することもできます。テレビで見るときにお勧めです。

MENU ボタン →  **[再生]** → **[スライドショー]**

1 ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [写真のみ] 設定時、4K 連写ファイルと、フォーカスセレクト撮影した画像も再生されます。
- フォーカスセレクト撮影した画像は、ピントが合っている代表画像のみが再生されます。



2 ▲で [開始] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■スライドショー中の操作

操作	タッチ操作	操作内容
▲		再生 / 一時停止
◀		前の画像へ
▶		次の画像へ
▼		終了
		音量を下げる / 音量を上げる

■設定を変更する

[効果] や [設定] を選び、[MENU/SET] ボタンを押してください。

効果	画像が切り換わる際の画面効果を選ぶことができます。
設定	再生間隔 [再生間隔] は、[効果] を [OFF] に設定しているときのみ設定できます。
	リピート [ON] / [OFF]
	音設定 [AUTO]: 写真のときは音楽を、動画のときは音声を再生します。 [音楽]: 効果の音楽を再生します。 [音声]: 動画の音声を再生します。 [OFF]: 音楽も音声も再生しません。

- 4K 連写ファイル、フォーカスセレクト撮影した画像またはグループ画像のスライドショー時は、[効果] を設定していても無効になります。
- 次の画像をスライドショー時、[再生間隔] の設定は無効になります。
 - 動画
 - 4K 連写ファイル
 - フォーカスセレクト撮影した画像
 - グループ画像

【再生モード】

再生する画像の種類を選ぶことができます。([通常再生]、[写真のみ]、[動画のみ])

MENU ボタン →  [再生] → [再生モード]

1 ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [写真のみ] 設定時、4K 連写ファイルと、フォーカスセレクト撮影した画像も再生されます。

【プロテクト】

誤消去を防止します。設定すると、消去できなくなります。

MENU ボタン →  [再生] → [プロテクト]

1 画像を選ぶ (P.175)**■全解除する**

[プロテクト] → [全解除] → [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



カードの書き込み禁止スイッチを [LOCK] にしておくと、画像をプロテクトしなくても消去されません。

- 画像をプロテクトしても、フォーマットした場合は消去されます。
- 本機以外では無効になることがあります。

【レーティング】

画像を 5 種類にレベル分け (レーティング) します。レーティングを設定しておくこと以下のことができます。

- レーティングを設定した画像以外をまとめて消去する。
- パソコンのファイル詳細表示などで、レーティングのレベルを確認する。(JPEG 画像のみ)

MENU ボタン →  [再生] → [レーティング]

1 画像を選ぶ (P.175)**2 ◀▶でレーティングのレベル (1 ~ 5) を設定し、[MENU/SET] ボタンを押す**
([複数設定] 時は手順 **1** と **2** を繰り返す)**■全解除する**

[レーティング] → [全解除] → [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- グループ画像に [レーティング] を行った場合は、グループ内の画像すべてにレーティングが設定され、先頭画像のレーティングアイコンに設定枚数が表示されます。合計枚数が 1000 枚以上の場合は、[999+] と表示されます。
- [再生モード] を [通常再生] 以外に設定しているときは、[全解除] を選択できません。

【タイトル入力】

撮影した画像に文字（タイトルなど）を入力します。入力後、[文字焼き込み] (P.184) で撮影画像に焼き込むことができます。

MENU ボタン →  [再生] → [タイトル入力]

1 写真を選ぶ (P.175)

- すでに文字が入力されている画像には  が表示されます。

2 文字を入力する

- 文字の入力方法 (P.43)
- 文字を消去するには文字入力画面ですべての文字を消去してください。

- ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」を使って、文字をプリントすることができます。
- [複数設定] で一度に設定できるのは 100 枚までです。
- 次の画像には設定できません。
 - 動画
 - 4K 連写ファイル
 - フォーカスセレクト撮影した画像
 - [クオリティ] が [RAW ] [RAW ] [RAW] の写真

【認証情報編集】

間違っ個人認証された画像の認証情報を修正したり、解除します。

MENU ボタン →  [再生] → [認証情報編集] → [入換え] または [解除]

1 ◀▶ で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 ◀▶ で人物を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [解除] の場合は手順 4 へ

3 ▲▼◀▶ で入れ換えたい人物を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

4 ◀ で [はい] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 解除した個人認証に関する情報は元に戻せません。
- グループ画像はグループ単位で認証情報編集を行ってください。(1 枚ずつ編集はできません)
- グループ画像は 1 枚目の画像のみ編集できます。

[RAW 現像]

RAW 形式で撮影した写真をカメラで現像できます。作成した写真は JPEG 形式で保存されます。

MENU ボタン →  [再生] → [RAW 現像]

- 1 ◀▶ で RAW 画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 ▲▼ で項目を選んで [MENU/SET] ボタンを押し、設定する

- 以下の項目が設定できます。設定を始めるときは、撮影時の設定が反映されています。



ホワイトバランス	ホワイトバランスを選び、調整することができます。[📷] の付いた項目を選ぶと撮影時と同じ設定で現像できます。
明るさ補正	- 2EV ~ + 2EV の範囲で明るさを補正できます。
フォトスタイル	フォトスタイルの効果を選べます。
iD レンジコントロール	iD レンジコントロールの設定を選べます。
コントラスト	コントラストを調整することができます。
彩度 / 色調	彩度を調整できます。([フォトスタイル] で [モノクローム] を選択している場合は、色調の調整になります)
フィルター効果	フィルター効果を選べます。([フォトスタイル] で [モノクローム] を選択している場合のみ)
ノイズリダクション	ノイズを軽減する設定ができます。
超解像	超解像の設定を選べます。
シャープネス	解像感を調整できます。
詳細設定	▲▼ で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと、次の操作ができます。 [調整前に戻す] : 撮影時の設定に戻すことができます。 [記録画素数] : 保存時の JPEG 画像のサイズ ([L]、[M]、[S]) を選べます。

- 3 [MENU/SET] ボタンを押して決定する
 - 手順 2 の画面に戻ります。他に設定したい項目がある場合は、手順 2 ~ 3 を繰り返してください。
- 4 ▲▼ で [RAW 現像実行] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■各項目の設定方法

項目を選ぶと、設定画面が表示されます。

操作	タッチ操作	操作内容
	ドラッグ	調整の選択
	【色温度設定】	色温度設定画面を表示 （【ホワイトバランス】の【  区】 選択時のみ）
	【調整】	ホワイトバランス微調整画面を表示 （【ホワイトバランス】選択時のみ）
【DISP.】	【DISP.】	比較画面を表示
【MENU/SET】	【決定】	調整内容を決め、項目の選択画面 に戻る



- ・【ノイズリダクション】、【超解像】、【シャープネス】選択時、比較画面の表示はできません。
- ・ズームレバーで拡大表示することができます。
- ・画像を2回連続で素早くタッチしても、拡大表示できます。（拡大表示していた場合は、等倍表示に戻ります）

比較画面では以下の方法で調整ができます。

操作	タッチ操作	操作内容
	ドラッグ	調整の選択
【DISP.】	【DISP.】	設定画面に戻る
【MENU/SET】	【決定】	調整内容を決め、項目の選択画面 に戻る



現在の設定

- ・中央の写真をタッチすると拡大表示できます。【】をタッチすると元の表示に戻ります。

- 本機で行う RAW 現像の結果と、ソフトウェア「SILKYPIX Developer Studio」で行う RAW 現像の結果は完全には一致しません。
- 本機で撮影した RAW 画像は常に [4:3] (5184 × 3888) で記録されますが、【再生】メニューの【RAW 現像】では撮影時の画像横縦比固定で現像されます。
- グループ画像は1枚ずつ編集してください。グループ画像とは別に新規保存されます。
- HDMI マイクロケーブル接続時、【RAW 現像】は使えません。
- RAW 現像できるのは本機で撮影した RAW 画像のみです。

[4K フォト一括保存]

4K 連写ファイルから、5 秒分の写真を一括保存することができます。

MENU ボタン →  [再生] → [4K フォト一括保存]

1 ◀▶ で 4K 連写ファイルを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 連写時間が 5 秒以下の場合、すべてのコマを写真として保存します。

2 一括で写真として保存する最初のコマを選ぶ (P.98、99)

- 写真は JPEG 形式で、ひとつの連写グループとして保存されます。

[比較明合成]

4K 連写ファイルから、合成したいコマを複数枚選び、前のコマと比較して明るく変化した部分を重ね合わせて、1 枚の写真に合成します。



MENU ボタン →  [再生] → [比較明合成]

1 ◀▶ で 4K 連写ファイルを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 合成方法を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ [選択合成]：合成したいコマを選ぶ

① スライダーをドラッグするか、▲▼◀▶ で合成したいコマを選ぶ

② [MENU/SET] ボタンを押す

- 選んだコマが記憶され、プレビュー画面になります。
- ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと、次の操作ができます。
 - [次の画像]：さらに合成したいコマを選べます。
 - [選び直す]：直前で選んだコマを破棄し、選び直します。

③ 手順 ①～② を繰り返し、合成したいコマを選ぶ (最大 40 コマ)

④ ▼で [保存] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

■ [範囲合成]：合成する範囲を選ぶ

① 先頭画像のコマを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- 選択方法は、[選択合成] の手順 ① と同じです。

② 終了画像のコマを選び、[MENU/SET] ボタンを押す



- 写真は JPEG 形式で保存され、1 コマ目のシャッタースピード、絞り、ISO 感度などの撮影情報 (Exif 情報) も記録されます。

【軌跡合成】

4K 連写ファイルから合成したいコマを複数枚選び、動いている被写体の軌跡を 1 枚の写真に合成します。



MENU ボタン →  [再生] → 【軌跡合成】

- 1 ◀▶ で 4K 連写ファイルを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 合成したいコマを選ぶ

コマの前後で動いている被写体が重ならないように、コマを選択してください。
(被写体が重なると正しく合成されない場合があります)

- ① スライダーをドラッグするか、▲▼◀▶ で合成したいコマを選ぶ
- ② [MENU/SET] ボタンを押す
 - 選んだコマが記憶され、プレビュー画面になります。
 - ▲▼で項目を選び、[MENU/SET] ボタンを押すと、次の操作ができます。
 - [次の画像]：さらに合成したいコマを選べます。
 - [選び直す]：直前で選んだコマを破棄し、選び直します。
- ③ 手順 ①～② を繰り返し、合成したいコマを選ぶ (3 コマ～ 40 コマ)
- ④ ▼で [保存] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す



軌跡合成のコツ

軌跡合成に使用する画像を撮影時は、三脚の使用をお勧めします。

- 写真は JPEG 形式で保存され、1 コマ目のシャッタースピード、絞り、ISO 感度などの撮影情報 (Exif 情報) も記録されます。

【クリアタッチ】 不要な部分を消去する

- 消去操作はタッチでのみ行えます。
【クリアタッチ】では自動的にタッチ操作が可能な状態になります。



MENU ボタン → ▶ **【再生】** → **【クリアタッチ】**

1 ◀▶ で写真を選び、**【MENU/SET】** ボタンを押す

2 消去したい部分をなぞる

- 消去される部分に色が付きます。
- 【1つ戻す】をタッチすると、色が付いた部分が1つ前の状態に戻ります。



細かい部分を消去するには（拡大表示）

- ① **【移動】** をタッチする
 - 画面をピンチアウト / ピンチインすると、拡大 / 縮小表示できます。
 - 画面をドラッグすると、拡大部分を移動することができます。
- ② **【消去】** をタッチする
 - 消去したい部分をなぞる操作に戻ります。拡大したまま、消去したい部分をなぞることができます。



3 **【決定】** をタッチする

4 **【保存】** をタッチする、または **【MENU/SET】** ボタンを押す

- 消去した部分の背景を合成するため、画像が不自然になることがあります。
- グループ画像は1枚ずつ編集してください。グループ画像とは別に新規保存されます。
- HDMI マイクロケーブル接続時、【クリアタッチ】は使えません。
- 次の画像はクリアタッチできません。
 - 動画
 - 4K 連写ファイル
 - フォーカスセレクト撮影した画像
 - 【クオリティ】が【RAW】の写真

【文字焼き込み】

撮影した写真に、撮影日時、名前、旅行先、トラベル日付などを焼き込むことができます。

MENU ボタン →  **[再生]** → **[文字焼き込み]**

1 写真を選ぶ (P.175)

- すでに文字焼き込みされた画像には、画面に  が表示されます。

2 ▼ で **[設定]** を選び、**[MENU/SET]** ボタンを押す

撮影日時	[日付]：撮影日を焼き込む [日時]：撮影日時を焼き込む
名前	 ：個人認証に登録された名前を焼き込む  ：[プロフィール設定] で登録された名前を焼き込む
旅行先	[セットアップ] メニューの [トラベル日付] で登録された旅行先を焼き込む
トラベル日付	[セットアップ] メニューの [トラベル日付] で設定された旅行日の経過日数を焼き込む
タイトル	[タイトル入力] で登録した文字を焼き込む

3  ボタンを押す4 ▲ で **[実行]** を選び、**[MENU/SET]** ボタンを押す

- 文字焼き込み済みの写真は、お店やプリンターで日付プリント指定しないでください。(重なってプリントされることがあります)
- [複数設定] で一度に設定できるのは 100 枚までです。
- 文字焼き込みをすると画質が粗くなることがあります。
- グループ画像に文字焼き込みをすると、グループ画像とは別に新規保存されます。
- 次の画像には設定できません。
 - ・ 動画
 - ・ 4K 連写ファイル
 - ・ フォーカスセレクト撮影した画像
 - ・ [クオリティ] が [RAW] の写真
 - ・ 文字焼き込み済みの写真
 - ・ 時計設定を行わずに撮影した画像

【リサイズ (縮小)】 画像サイズ (画素数) を小さくする

ホームページ用やメール添付などで送信しやすいように、写真の容量 (記録画素数) を小さくします。

MENU ボタン →  **[再生]** → **[リサイズ (縮小)]**

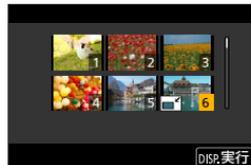
1 写真、サイズを選ぶ

【1 枚設定】

- ① ◀▶ で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ② ▲▼ でサイズを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

【複数設定】 (100 枚まで)

- ① ▲▼ でサイズを選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- ② ▲▼◀▶ で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
(繰り返す)
 - 解除するとき→再度 [MENU/SET] ボタンを押す
- ③ [DISP.] ボタンを押して実行する



- リサイズすると画質が粗くなります。
- 次の画像には設定できません。
 - 動画
 - 4K 連写ファイル
 - フォーカスセレクト撮影した画像
 - [クオリティ] が [RAW] の写真
 - グループ画像
 - 文字焼き込み済みの写真

【トリミング (切抜き)】 画像を切り抜く

写真を拡大して、必要な部分を切り抜きます。

MENU ボタン →  [再生] → 【トリミング (切抜き)】

- 1 ◀▶ で写真を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 写真を切り抜く部分を表示して、[MENU/SET] ボタンを押す

操作	タッチ操作	操作内容
		画像を拡大
		画像を縮小
	ドラッグ	拡大表示位置の移動

- グループ画像は 1 枚ずつ編集してください。グループ画像とは別に新規保存されます。
- トリミングした写真には、元の写真の個人認証に関する情報はコピーされません。
- トリミングすると画質が粗くなります。
- 次の画像には設定できません。
 - ・ 動画
 - ・ 4K 連写ファイル
 - ・ フォーカスセレクト撮影した画像
 - ・ [クオリティ] が [RAW] の写真
 - ・ 文字焼き込み済みの写真

【画像回転】

画像を手動で 90° ずつ回転します。

- ・ [縦位置自動回転] を [OFF] に設定すると、[画像回転] は選択できません。

MENU ボタン →  [再生] → 【画像回転】

- 1 ◀▶ で画像を選び、[MENU/SET] ボタンを押す
- 2 ▲▼ で回転方向を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

- [↻] : 時計回りに 90° 回転します。
- [↺] : 反時計回りに 90° 回転します。



【動画分割】

1 つの動画を 2 つに分割します。必要なシーンのみ残したいときや、旅先などでカードの空き容量を増やすために不要なシーンを消去したいときに便利です。

MENU ボタン →  [再生] → 【動画分割】

1 ◀▶ で分割する動画を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 分割したい位置で ▲ を押し一時停止する

- 一時停止中に ▶▶ を押し、分割位置の細かい調整をすることができます。

3 ▼ を押し

- 分割した元の動画は残りません。
(分割後の 2 つの動画のみになります)



- 分割中は、電源を切ったり、カードやバッテリーを抜かないでください。動画が消失するおそれがあります。
- 動画の最初や最後の部分では分割できない場合があります。
- 次の画像には設定できません。
 - 撮影時間が短い動画

【インターバル動画作成】

インターバル撮影したグループ画像から動画を作成します。

MENU ボタン →  [再生] → 【インターバル動画作成】

1 ▶▶ でインターバル撮影グループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 動画の作成方法を選び、動画化する

- 詳しくは [110 ページ](#) の手順 **4** 以降をお読みください。

【コマ撮りアニメ作成】

【コマ撮りアニメ】で撮影したグループ画像から動画を作成します。

MENU ボタン →  [再生] → 【コマ撮りアニメ作成】

1 ▶▶ でコマ撮りグループを選び、[MENU/SET] ボタンを押す

2 動画の作成方法を選び、動画化する

- 詳しくは [112 ページ](#) の手順 **7** 以降をお読みください。

【縦位置自動回転】

本機を縦に構えて撮影した写真を自動で縦向きに表示します。

MENU ボタン →  **【再生】** → **【縦位置自動回転】** → **【ON】**

- パソコンで再生するとき、OSまたはソフトウェアが Exif に対応していない場合は、画像が回転して表示されないことがあります。Exif とは、一般社団法人電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された、撮影情報などの付帯情報を追加することができる写真用のファイルフォーマットです。

【画像表示順】

本機で画像を再生するときの表示順を設定します。

MENU ボタン →  **【再生】** → **【画像表示順】**

ファイル名	フォルダー名 / ファイル名の順番で表示します。カード内での画像の位置が分かりやすい表示形式です。
撮影日時	画像が撮影された日時の順番で表示します。複数のカメラで同じカードに撮影した場合に画像を探しやすい表示形式です。

- 本機にカードを入れた直後は **【撮影日時】** の順で表示できない場合があります。しばらくすると、**【撮影日時】** の順で表示されます。

Wi-Fi[®]/Bluetooth[®] 機能でできること

スマートフォンとつないで使う

- スマートフォンで、カメラのシャッターボタンを操作する（リモート撮影）
（P.198）
- カメラの画像を再生 / 保存する（P.200）
- スナップムービーで撮影した動画をスマートフォンでお好みに結合する（P.203）

Bluetooth low energy に対応したスマートフォンと接続して、さらに広がる楽しみ方

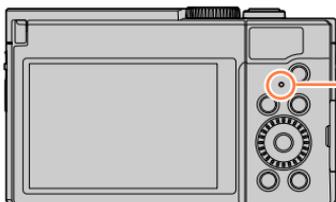
- ペ어링（接続設定）（P.193）
 - スマートフォンで、カメラの電源を操作する（P.197）
 - 撮影した画像をスマートフォンに自動転送する（P.201）
 - 撮影する画像にスマートフォンの位置情報を記録する（P.202）
 - カメラの時刻をスマートフォンに合わせる（P.202）
- 特にスマートフォンとタブレットを区別しない限り、本書では「スマートフォン」と記載します。

Wi-Fi/Bluetooth 機能について

■ご使用前に

- あらかじめ時計を設定してください。(P.23)
- 本機で Wi-Fi 機能を使用するには、接続先の機器に無線 LAN 機能が必要です。

■WIRELESS 接続ランプの表示 (青色)



点灯	Wi-Fi/Bluetooth 機能 ON 時、または接続中
点滅	カメラ操作で画像データ送信時

- [セットアップ] メニューの [WIRELESS 接続ランプ] で、点灯 / 点滅しないように設定できます。(P.168)

■[Wi-Fi] ボタン

本書では [Wi-Fi] を設定したファンクションボタンを [Wi-Fi] ボタンと記載して説明しています。(お買い上げ時、撮影時は [Fn4] に、再生時は [Fn1] に [Wi-Fi] が設定されています)

- ファンクションボタンについて詳しくは 39 ページをお読みください。

[Wi-Fi] ボタンを押す操作 (撮影時)

① [Fn] をタッチする



② [Fn4] をタッチする



Wi-Fi/Bluetooth 機能について

■ [Wi-Fi] ボタンを押してできる操作

Wi-Fi 接続していないときに [Wi-Fi] ボタンを押すと、本機がスマートフォンとの接続待機状態になり、スマートフォンに直接接続することができます。(P.195)

Wi-Fi 接続後に [Wi-Fi] ボタンを押すと、以下の操作ができます。

接続を終わる	Wi-Fi 接続を終了します。
接続先を変える	Wi-Fi 接続を終了し、新たに Wi-Fi 接続を選択します。
画像の送信設定を変える	(P.206)
今の接続先をお気に入りに入れる	現在の接続先や接続方法を登録しておく、次回以降、同じ設定で接続することができます。
ネットワークアドレス表示	(P.210)

- お使いの Wi-Fi 機能や接続先によっては、一部の操作ができない場合があります。

■ 操作の記載方法

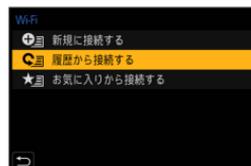
手順で「**履歴から接続する**」を選ぶなどと記載されている場合は、以下のいずれかの操作をしてください。

ボタン操作

カーソルボタンで [履歴から接続する] を選び、[MENU/SET] ボタンを押す

タッチ操作

[履歴から接続する] をタッチする



- 通信中はカードやバッテリーを抜き差ししたり、通信可能エリア外に移動したりしないでください。
- 画像を送信する際は、十分に充電されたバッテリーの使用をお勧めします。
- 電波の状況によっては、送信が完了できないことがあります。また、画像送信中に切断された場合、一部が表示できない画像が送信されることがあります。

スマートフォンと接続する

スマートフォンを使って、離れた場所からカメラを操作できます。
お使いのスマートフォンに「Panasonic Image App」（以降では「Image App」と表記）をインストールする必要があります。

スマートフォン / タブレットアプリ「Panasonic Image App」をインストールする

対応 OS	Android™ : Android 10 以上 iOS : iOS 15 以上
-------	---

- 1 スマートフォンをネットワークに接続する
- 2 (Android)「Google Play™ ストア」を選ぶ
(iOS) 「App Store」を選ぶ
- 3 検索フィールドに「Panasonic Image App」または「LUMIX」と入力する
- 4 「Panasonic Image App」を選び、インストールする



- 最新のバージョンをお使いください。
- 対応 OS は 2024 年 12 月現在のものであります。また、対応 OS は変更する場合があります。
- お使いのスマートフォンによっては、正しく動作しない場合があります。「Image App」の最新情報については、下記サポートサイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/support/dsc/>
- 操作方法などについて、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。
- 対応 OS や「Image App」のバージョンによって、本書に掲載している画面や内容と一部異なる場合があります。

Bluetooth low energy 対応のスマートフォンと接続する

カメラとスマートフォンを Bluetooth 接続します。

対応スマートフォン

Android : Android 10 以上で、Bluetooth 4.0 以上を搭載
(Bluetooth low energy 非対応の一部の端末を除く)
iOS : iOS 15 以上

■初めて接続する

初回のみペアリング設定（接続設定）が必要です。ペアリング設定をすると、Wi-Fi 接続も自動で行います。

(カメラ側)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Bluetooth]
→ [Bluetooth] → [設定] → [ペアリング]

- カメラがペアリングの待機状態になり、デバイス名が表示されます。



(スマートフォン側)

- 「Image App」を起動する
 - カメラを検索中のメッセージが表示される場合は、メッセージを閉じてください。
- [Bluetooth] を選ぶ
- Bluetooth を ON にする
- [登録可能な機器] の項目から、カメラの画面に表示されているデバイス名を選ぶ
 - カメラとスマートフォンが Bluetooth 接続されます。
(Android 機器) [接続] を選ぶと、Wi-Fi 接続されます。

Android 機器は以上で操作が完了します。
iOS 機器のみ、以下の手順に進んでください。

- プロフィールのインストールが必要です。
 - プロフィールをインストールする
[インストール] を選び、[インストール] → [完了] を選んでください。
 - スマートフォンにパスコードを設定している場合は、パスコードの入力が必要です。
 - ブラウザを終了する
- 設定メニューで Wi-Fi 機能を ON にする
- Wi-Fi 設定画面で、カメラに表示された SSID を選ぶ
(手順 ④ で選んだデバイス名)
 - SSID が表示されない場合、Wi-Fi 機能を OFF にしてから再度 ON にすると表示される場合があります。
 - 接続先の変更が必要な場合は、メッセージに従って設定してください。
- 「Image App」を起動する
 - Wi-Fi 接続の完了後、ペアリング設定したスマートフォンはペアリング済み機器として登録されます。



スマートフォンと接続する

■ ペ어링済みのスマートフォンと接続する（2 回目以降の接続）

（カメラ側）

① Bluetooth 機能を有効にする

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Bluetooth] → [Bluetooth] → [ON]

（スマートフォン側）

② 「Image App」を起動する

- カメラを検索中のメッセージが表示される場合は、メッセージを閉じてください。

③ [Bluetooth] を選ぶ

④ Bluetooth を ON にする

⑤ [登録済みの機器] の項目から、接続したいカメラ（デバイス名）を選ぶ

- 複数のスマートフォンとペアリング設定していても、一度に接続できるスマートフォンは 1 つです。

■ Bluetooth 接続を終了する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Bluetooth] → [Bluetooth] → [OFF]

- 接続を終了し、カメラの Bluetooth 機能が停止します。
- 接続を終了してもペアリング設定は解除されません。

■ ペ어링設定を解除する

（カメラ側）

① メニューを設定する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Bluetooth] → [Bluetooth] → [設定]
→ [解除]

② 解除したいスマートフォンを選ぶ

（スマートフォン側）

[登録済みの機器] の項目から、ペアリングを解除したいカメラ（デバイス名）を選び、登録解除する

- Bluetooth 接続中は撮影画面に  が表示されます。Bluetooth 機能が有効になっていても、スマートフォンと接続されていないときは  が半透明で表示されます。
- スマートフォンとカメラのペアリングに時間がかかるときは、一度両方のペアリング設定を解除してから再設定すると正しく認識される場合があります。
- 登録できるスマートフォンは 16 件までです。16 件を超えて登録すると、古いものから順番に消去されます。
- [ネットワーク設定リセット] を行うと登録済み機器情報は消去されます。

Bluetooth low energy に対応していないスマートフォンと接続する

スマートフォンと Wi-Fi 接続を行います。

- Bluetooth low energy に対応したスマートフォンでも、同じ操作で Wi-Fi 接続できます。

(カメラ側)

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [新規に接続する] → [スマートフォンとつないで使う]

- スマートフォンをカメラに直接接続するために必要な情報 (QR コード、SSID とパスワード) が表示されます。
- カメラの [Wi-Fi] ボタンを押すことでも表示できます。



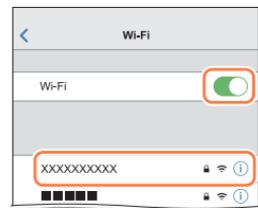
(スマートフォン側)

■ QR コードを読み取って接続する場合

- [Image App] を起動する
- [QR コード] を選ぶ
 - スマートフォンが無線アクセスポイントに接続している場合、QR コードが表示されるまでに時間がかかる場合があります。
 - (iOS 機器) 確認画面が表示されます。[OK] を選んで進んでください。
- カメラに表示された QR コードを [Image App] で読み取る
 - カメラの [MENU/SET] ボタンを押すと、QR コードが拡大表示されます。

Android 機器は以上で操作が完了します。
iOS 機器のみ、以下の手順に進んでください。

- プロファイルをインストールする
[インストール] を選び、[インストール] → [完了] を選んでください。
スマートフォンにパスコードを設定している場合は、パスコードの入力が必要です。
- ブラウザを終了する
- 設定メニューで Wi-Fi 機能を ON にする
- Wi-Fi 設定画面で、カメラに表示された SSID を選ぶ
- [Image App] を起動する



- (iOS 機器) 手順 ① ~ ⑤ は 2 回目以降は不要です。

スマートフォンと接続する

■パスワードを手動入力して接続する場合

- ① 設定メニューで Wi-Fi 機能を ON にする
- ② Wi-Fi 設定画面で、カメラに表示された SSID を選ぶ
- ③ カメラに表示されたパスワードを入力する（初回接続時のみ）
- ④ 「Image App」 を起動する



Wi-Fi 接続を終了する

1 カメラを撮影モードにする

- シャッターボタン半押しで撮影モードに戻ります。

2 カメラのメニューで Wi-Fi 接続を終了する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi]
→ [Wi-Fi 機能] → [はい]

- カメラの [Wi-Fi] ボタンを押すことでも終了できます。



3 スマートフォンで「Image App」を終了する

- スマートフォンで 4K プリ連写を撮影時は、カメラの  ボタンを押して 4K 連写に切り換えてから、接続を終了してください。

スマートフォンとつないで使う

■ 必要な無線接続の種類

スマートフォンとつないで使う機能により、必要な無線接続の種類が異なります。

必要な無線接続	Bluetooth low energy の対応
Bluetooth	Bluetooth low energy 対応のスマートフォンで使えます。
Wi-Fi	Bluetooth low energy に対応していないスマートフォンでも使えます。
Bluetooth Wi-Fi	Bluetooth low energy 対応のスマートフォンで使えます。 • Bluetooth と Wi-Fi の両方でスマートフォンと接続する必要があります。

スマートフォンで、カメラの電源を操作する

必要な無線接続：**Bluetooth** **Wi-Fi**

カメラの電源を切っている場合でも、スマートフォンでリモートで起動して操作することができます。離れた場所からカメラの電源を入れて撮影したり、かばんの中にカメラを入れたまま電源を入れて画像を確認したりできます。



1 スマートフォンと Bluetooth 接続する (P.193)

2 カメラのメニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [リモート起動] → [ON]

3 カメラの電源を切る

4 スマートフォンで「Image App」を起動し、Bluetooth 接続可能な状態 (スタンバイ) にする

5 スマートフォンを操作する

① を選ぶ



② [リモート操作] を選ぶ

- カメラの電源が入り、自動で Wi-Fi 接続を行います。
- (iOS 機器) スマートフォンの接続状況により、Wi-Fi 設定画面で接続先の変更が必要な場合があります。スマートフォンに表示されるメッセージに従って設定してください。

■ カメラの電源を切る

① を選ぶ

② OFF を選ぶ

- [リモート起動] を [ON] に設定時、カメラの電源を切っても Bluetooth 機能が働くため、バッテリーが消耗します。

スマートフォンで、カメラのシャッターボタンを操作する (リモート撮影)

必要な無線接続： Wi-Fi

1 スマートフォンと接続する (P.195)

2 スマートフォンを操作する

すでに Bluetooth 接続している場合は、[] → [リモート操作] を選んでください。
(iOS 機器) スマートフォンの接続状況により、Wi-Fi 設定画面で接続先の変更が必要な場合があります。スマートフォンに表示されるメッセージに従って設定してください。

① [] を選ぶ

② 撮影する

- 撮影した画像はカメラに保存されます。
- 設定など一部利用できないものがあります。



■ カメラとスマートフォンのどちらの操作を優先するかを設定する

MENU ボタン →  **[セットアップ]** → **[Wi-Fi]** → **[Wi-Fi 設定]** → **[リモート優先操作設定]**

 (カメラ)	カメラとスマートフォンの両方で操作できます。 • ダイヤルの設定はスマートフォンで変更できません。
 (スマートフォン)	スマートフォンでのみ操作できます。 • ダイヤルもスマートフォンで操作できます。 • リモート撮影を終了するときは、カメラのいずれかのボタンを押して画面を表示し、 [終了] を選んでください。

• 接続中は設定を変更できません。

- レンズ鏡筒が伸びてカメラが傾くおそれがあります。三脚を使用するなどして、カメラを固定してください。
- 次の場合、リモート撮影はできません。
 - インターバル撮影時

Bluetooth 接続だけで、スマートフォンでシャッターボタンを操作する必要な無線接続： **Bluetooth****1** スマートフォンと Bluetooth 接続する (P.193)**2** スマートフォンを操作する

- ① [🏠] を選ぶ
- ② [シャッターリモコン] を選ぶ
- ③ 撮影する



- [シャッターリモコン] を使ってカメラの電源を入れることはできません。
- カメラのライブビューはスマートフォンで確認できません。
- 本機は「Image App」の撮影ボタン操作によるバルブ撮影機能に対応していません。
- 「Image App」の [シャッターリモコン] の操作について、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。

カメラの画像を再生 / 保存する

必要な無線接続： **Wi-Fi**

1 スマートフォンと接続する (P.195)

2 スマートフォンを操作する

すでに Bluetooth 接続している場合は、[🏠] → [リモート操作] を選んでください。
(iOS 機器) スマートフォンの接続状況により、Wi-Fi 設定画面で接続先の変更が必要な場合があります。スマートフォンに表示されるメッセージに従って設定してください。

① [▶] を選ぶ

- 画面左上のアイコンで、表示する画像の機器を切り換えられます。
カメラの画像を表示するには [LUMIX] を選んでください。



(再生する)

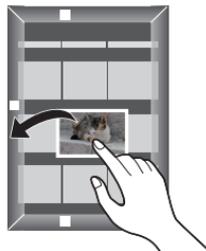
② 画像をタッチすると、画像が大きく再生されます

- 動画再生時は、データサイズを小さくして「Image App」に送信しているため、実際に撮影された画質とは異なります。また、お使いのスマートフォンや使用環境によって、動画や写真の再生時に、画質劣化や音飛びが発生する場合があります。

(保存する)

③ 画像を長押ししてドラッグする

- 4K 動画、4K 連写ファイル、フォーカスセレクト撮影した画像は保存できません。



撮影した画像をスマートフォンに自動転送する

必要な無線接続： **Bluetooth** Wi-Fi

Bluetooth で接続したスマートフォンに、撮影した画像を Wi-Fi で自動転送します。

1 スマートフォンと Bluetooth 接続する (P.193)

2 カメラのメニューを設定する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Bluetooth] → [自動画像転送] → [ON]

- カメラに Wi-Fi 接続の終了確認画面が表示されたら、[はい] を選んで終了してください。

3 スマートフォンで [はい] (Android 機器) または [Wi-Fi 設定] (iOS 機器) を選ぶ

- Wi-Fi 接続を自動で行います。
 - (iOS 機器) スマートフォンに表示されるメッセージに従って Wi-Fi 設定画面で接続先を変更してください。

4 カメラで送信設定を確認し、[決定] を選ぶ

- 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。(P.206)
- 自動画像転送できる状態になり、撮影画面に [] が表示されます。(表示されないときは自動画像転送できません。スマートフォンとの Wi-Fi 接続状況をご確認ください)

5 カメラで写真を撮影する

- 写真を撮るたびに、指定した機器に自動で画像を送ります。
- ファイルを送信中は [] が表示されます。



[自動画像転送] を [ON] にしておくと、次回カメラの電源を入れてスマートフォンで「Image App」を起動したときに、自動で Wi-Fi/Bluetooth 接続機能が働き、自動画像転送できる状態になります。

■自動画像転送を終了する

手順 **2** で [OFF] を選ぶ

- Wi-Fi 接続の終了確認画面が表示されます。

- [Bluetooth] の [自動画像転送] を [ON] に設定時は、[Wi-Fi 機能] が使用できません。
- 画像を転送中にカメラの電源が切れてファイルの送信が中断された場合は、カメラの電源を入れ直すと送信を再開します。
 - 電源を入れ直す前にカードを入れ換えた場合など、送信していないファイルの保存状況が変化するとう再送信できない場合があります。
 - 未送信のファイル数が多い場合、すべてのファイルを再送信できない場合があります。
- 動画、4K 連写ファイル、フォーカスセレクト撮影した画像は自動転送できません。

撮影する画像にスマートフォンの位置情報を記録する

必要な無線接続： **Bluetooth**

スマートフォンの位置情報を Bluetooth でカメラに送信し、位置情報を書き込みながら撮影します。



① 位置情報を取得

② 位置情報を送信

③ 位置情報を書き込みながら撮影

準備

スマートフォンの GPS 機能を有効にする。

1 スマートフォンと Bluetooth 接続する (P.193)

2 カメラのメニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [位置情報記録] → [ON]

- 位置情報の記録ができる状態になり、撮影画面に [GPS] が表示されます。

3 カメラで撮影する

- 撮影した画像に位置情報が書き込まれます。

[GPS] が半透明で表示される時

位置情報が取得できないため書き込みできません。建物やかばんの中などでは、スマートフォンの GPS が測位できない場合があります。

- 空を広く見渡せる場所など測位しやすい場所に移動してお試しください。
- スマートフォンの説明書もお読みください。

- 位置情報が書き込まれた画像には、[GPS] が表示されます。
- 本機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。
- 位置情報の取得中はスマートフォンの電池の消耗が早くなります。

カメラの時刻をスマートフォンに合わせる

必要な無線接続： **Bluetooth**

[セットアップ] メニューの [時計設定] と、[ワールドタイム] の [ホーム] または [旅行先] の設定を、スマートフォンの設定に合わせます。

1 スマートフォンと Bluetooth 接続する (P.193)

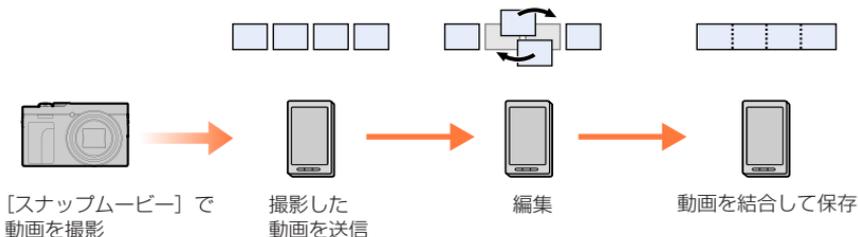
2 カメラのメニューを設定する

MENU ボタン → [セットアップ] → [Bluetooth] → [自動時刻合わせ] → [ON]

■ スナップムービーで撮影した動画をスマートフォンでお好みに結合する

必要な無線接続： [Wi-Fi]

スマートフォンを使って、カメラの [スナップムービー] で撮影した動画をつなぎ合わせて音楽を付けることができます。



■ スマートフォンを操作して動画を結合する

① スマートフォンと接続する (P.195)

② スマートフォンを操作する

すでに Bluetooth 接続している場合は、[🏠] → [リモート操作] を選んでください。
(iOS 機器) スマートフォンの接続状況により、Wi-Fi 設定画面で接続先の変更が必要な場合があります。スマートフォンに表示されるメッセージに従って設定してください。

① [🏠] を選ぶ



② [SNAP] を選ぶ

- スマートフォンに表示されるメッセージに従って、[スナップムービー] で撮影した動画をスマートフォンに送信してください。

③ スマートフォンを操作して動画を編集する

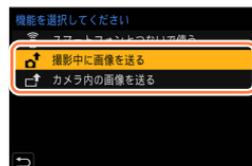
- 「Image App」の [スナップムービー] の操作について、詳しくは「Image App」のメニューの中の「ヘルプ」をお読みください。

スマートフォンに画像を送る

準備

「Image App」をインストールしておく。(P.192)

MENU ボタン →  **【セットアップ】** → **【Wi-Fi】**
 → **【Wi-Fi 機能】** → **【新規に接続する】**
 → **【撮影中に画像を送る】** または **【カメラ内の画像を送る】**



1 スマートフォンと接続する

(スマートフォン側)

- ① Wi-Fi 機能を ON にする
- ② 本機の画面に表示されている SSID と同じものを選ぶ
- ③ 「Image App」を起動する

2 接続したい機器を選ぶ

3 送信設定を確認し、【決定】を選ぶ

- 画像の送信設定を変更するには【DISP.】ボタンを押してください。(P.206)

【撮影中に画像を送る】選択時

4 写真を撮る (P.205)

【カメラ内の画像を送る】選択時

4 画像を選ぶ (P.206)

- 【Bluetooth】の【自動画像転送】を【ON】に設定時は、【Wi-Fi 機能】が使用できません。

■本機で送信できる画像

JPEG	RAW	MP4	4K 連写ファイル フォーカスセレクト 撮影した画像
○	○	○※1	×

※1 4K 動画を除く。【撮影中に画像を送る】時は送信できません。

- お使いの機器によっては、送信または再生できない場合があります。
- 画像の再生については、送信先機器の取扱説明書をご確認ください。

スマートフォンに画像を送る

【撮影中に画像を送る】

写真を撮るたびに、指定した機器に自動で画像を送ります。

- 接続を終了するには、以下の操作を行ってください。
MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi]
 → [Wi-Fi 機能] → [はい]
- 写真を送信中は設定を変更することはできません。

【撮影中に画像を送る】で
接続中に表示



ファイルを送信中に表示

- 撮影動作中は撮影を優先するため、送信完了までに時間がかかります。
- 送信完了前に電源を切ったり、Wi-Fi 接続を終了した場合、送信されなかったファイルの再送信は行われません。
- 送信中はファイルの消去や [再生] メニューの使用はできない場合があります。
- インターバル撮影時は、Wi-Fi 接続を終了するため使用できません。

スマートフォンに画像を送る

【カメラ内の画像を送る】

撮影後に画像を選んで送信できます。

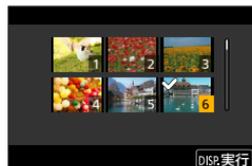
【1枚選択】選択時

- ① 画像を選ぶ
- ② [決定] を選ぶ



【複数選択】選択時

- ① 画像を選ぶ（繰り返す）
 - もう一度選ぶと設定が解除されます。
- ② [実行] を選ぶ



- 接続を終了する場合は、[終了] を選んでください。

- 本機以外で撮影した画像、パソコンで編集・加工した画像は送信できない場合があります。

画像の送信設定を変更する

接続が完了したあとに [DISP.] ボタンを押すと、送信する画像サイズなどの送信設定を変更することができます。

送信サイズ	送信する画像のサイズを変更します。 [元画像] / [変更] ([M]、[S]、[VGA])
送信ファイル形式	[JPG] / [RAW+JPG] / [RAW]

スマートフォンに画像を送る

■カメラ内の画像を簡単にスマートフォンに送る

再生時に  (スマートフォン転送) ボタンを押すだけで、Bluetooth 接続したスマートフォンに画像を転送できます。メニューから簡単に転送することもできます。

- [スマートフォンに画像を送る] を登録した Fn ボタンで操作します。初期設定では [Fn2] ボタンに登録されています。Fn ボタンについては、39 ページをお読みください。

準備

- スマートフォンに「Image App」をインストールする (P.192)
- カメラとスマートフォンを Bluetooth 接続する (P.193)
- カメラの  ボタンを押して再生画面を表示する

写真を 1 枚送る

- 1   で画像を選ぶ
- 2  ボタンを押す
- 3 [1 枚選択] を選ぶ
 - 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。(P.206)
- 4 スマートフォンで
[[はい] (Android 機器) または [接続] (iOS 機器)] を選ぶ
 - Wi-Fi 接続を自動で行います。

複数枚の写真を送る

- 1  ボタンを押す
- 2 [複数選択] を選ぶ
 - 画像の送信設定を変更するには [DISP.] ボタンを押してください。(P.206)
- 3 画像を選び、転送する
 - ◀▶ : 画像の選択
 -  : 設定/解除
 - [DISP.] : 転送の実行
- 4 スマートフォンで
[[はい] (Android 機器) または [接続] (iOS 機器)] を選ぶ
 - Wi-Fi 接続を自動で行います。

メニュー操作で簡単に転送する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Bluetooth] → [スマートフォンに画像を送る]

設定 : [1 枚選択] / [複数選択]

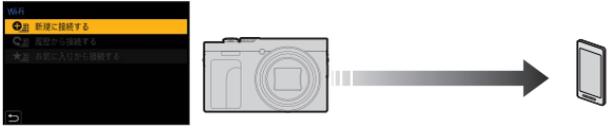
- [1 枚選択] のときは、◀▶ で画像を選び、 を押して実行します。
- [複数選択] のときは、「複数枚の写真を送る」の場合と同じ操作で実行できます。

- [Bluetooth] の [自動画像転送] を [ON] に設定しているときは、本機能が使用できません。

Wi-Fi 接続について

接続には以下の種類があります。

MENU ボタン →  【セットアップ】 → 【Wi-Fi】 → 【Wi-Fi 機能】

新規に接続する	<p>Wi-Fi 機能を選択して接続します。</p> 
履歴から接続する / お気に入りから接続する	<p>以前と同じ設定で接続します。(P.208)</p>

以前と同じ設定で素早く接続する (【履歴から接続する】 / 【お気に入りから接続する】)

Wi-Fi 機能を使うと履歴が保存されます。履歴はお気に入りに登録することができます。履歴やお気に入りから接続すると、簡単に以前と同じ設定で接続することができます。

- 接続する機器の Wi-Fi 設定が変更されていると、接続できない場合があります。

1 メニューを設定する

MENU ボタン →  【セットアップ】 → 【Wi-Fi】 → 【Wi-Fi 機能】

履歴から接続する	以前と同じ設定で接続します。
お気に入りから接続する	お気に入りに登録された設定で接続します。

2 接続したい項目を選ぶ

- 履歴やお気に入りの項目を選ぶときに、[DISP.] ボタンを押すと、接続の詳細を表示できます。

履歴をお気に入り登録する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [履歴から接続する]

1 登録したい項目を選び、▶ を押す

2 登録名を入力する

- 文字の入力方法 (P.43)
- 入力できる文字数は最大 30 文字です。全角文字は 2 文字の扱いになります。

お気に入り登録した項目を編集する

MENU ボタン →  [セットアップ] → [Wi-Fi] → [Wi-Fi 機能] → [お気に入りから接続する]

1 編集したいお気に入り項目を選び、▶ を押す

お気に入りを消す	—
お気に入りの順番を変える	移動先を選びます。
登録名を変える	• 文字の入力方法 (P.43)

- 履歴に保存できる数には制限があります。よく使う Wi-Fi 接続設定はお気に入り登録してください。
- [ネットワーク設定リセット] を行うと、履歴とお気に入り登録した内容は消去されます。
- スマートフォンなどの接続する機器が本機以外の無線アクセスポイントと接続されているときは、本機と接続できません。スマートフォンなどの接続する機器側の Wi-Fi 設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。または、[新規に接続する] で接続し直してください。(P.208)

[Wi-Fi 設定]

Wi-Fi 機能を使うために必要な各種設定を行います。Wi-Fi 接続中は変更できません。

MENU ボタン →  **[セットアップ]** → **[Wi-Fi]** → **[Wi-Fi 設定]**

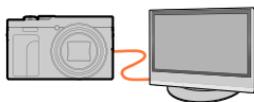
リモート優先操作設定	(P.198)
機器名称 本機の名前 (SSID) を変更することができます。	① [DISP.] ボタンを押す ② 任意の機器名称を入力する (最大 32 文字) ・ 文字の入力方法 (P.43)
Wi-Fi 機能ロック 誤操作や第三者による Wi-Fi 機能の使用を防いだり、設定した個人情報を保護したりするため、Wi-Fi 機能をパスワードで保護することをお勧めします。	[設定] ：数字 4 桁で任意のパスワードを設定します。 [解除] ・ 文字の入力方法 (P.43) ・ パスワードを忘れた場合、[ネットワーク設定リセット] (P.173) を行うとパスワードをリセットできます。
ネットワークアドレス表示 本機の MAC アドレスと IP アドレスを表示します。	・ 「MAC アドレス」とは、ネットワーク機器を識別するための固有アドレスです。 ・ 「IP アドレス」とは、インターネットなどのネットワークに接続されたコンピューターを識別する番号のことです。(例：192.168.0.87)

4K 動画を楽しむ

4K 動画を見る

■テレビで見る

本機と 4K 動画対応テレビを接続して、[画質設定] のサイズが [4K] で撮影された動画を再生すると、きめ細かい 4K 動画を楽しむことができます。出力解像度は下がりますが、4K 動画に対応していないハイビジョンテレビなどに接続して再生することもできます。



準備

- [HDMI 出力解像度 (再生時)] (P.171) を [AUTO] または [4K/30p] に設定する。
- 4K 動画に対応していないテレビに接続する場合は、[AUTO] に設定する。

① HDMI マイクロケーブルで本機と 4K 動画対応テレビをつなぎ、再生画面を表示する (P.212)

- [ピエラリンク] を [ON] に設定していてピエラリンク対応テレビに接続した場合は、テレビの入力切り替えが自動で切り換わり、再生画面が表示されます。詳しくは、[213 ページ](#)をお読みください。
- テレビの取扱説明書もお読みください。

■パソコンで見る

4K 動画をパソコンで再生する場合は、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をお使いください。

- 4K 動画の再生、編集には、高性能なパソコン環境が必要です。
- 詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書 (PDF ファイル) をお読みください。



4K 動画を残す

■パソコンに残す

4K 動画をパソコンに取り込むには、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」をお使いください。詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書 (PDF ファイル) をお読みください。

■当社製ブルーレイディスクレコーダーに残す

4K 動画は、4K 動画取り込みに対応した当社製ブルーレイディスクレコーダーのハードディスクヘダビングすることができます。

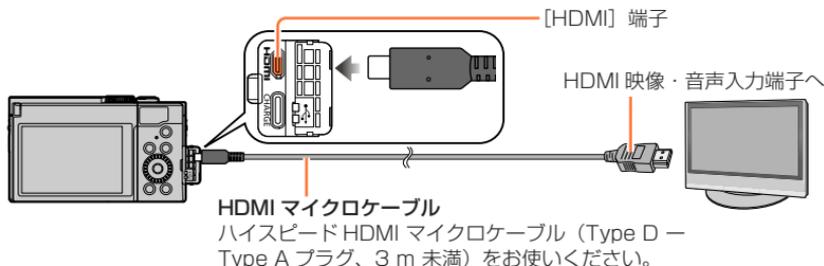
テレビで見る

準備

本機とテレビの電源を切る。

1 本機とテレビを接続する

端子の向きを確認し、まっすぐ入れてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります) また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。



2 テレビの電源を入れ、接続する端子に合わせてテレビの入力切換を選ぶ

3 本機の電源を入れ、[▶] (再生) ボタンを押す

- 画像横縦比によっては、上下や左右に帯が表示されることがあります。
- 画像の上下の端が切れて表示される場合は、テレビ側で画面モードの設定を変えてください。
- [HDMI 出力解像度 (再生時)] (P.171) を確認してください。
- 本機の画面に画像は表示されません。また、本機のスピーカーからは音声は出ません。
- USB 接続ケーブルと同時に接続すると、[HDMI] 端子は動きません。
- テレビの取扱説明書もお読みください。

ビエラリンク (HDMI) (HDAVI Control™) を使う

ビエラリンク (HDMI) とは

- 本機と HDMI マイクロケーブルを使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、ビエラのリモコンで簡単に操作できる機能です。(すべての操作ができるものではありません)
- ビエラリンク (HDMI) は HDMI CEC (Consumer Electronics Control) と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。ビエラリンク (HDMI) に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本機は、ビエラリンク (HDMI) Ver.5 に対応しています。ビエラリンク (HDMI) Ver.5 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。

準備

[ビエラリンク] を [ON] に設定しておく。(P.171)

- 1 HDMI マイクロケーブルで、本機とビエラリンク (HDMI) に対応した当社製テレビ (ビエラ) をつなぐ (P.212)
- 2 本機の電源を入れ、[▶] (再生) ボタンを押す
- 3 テレビのリモコンで操作する

電源 OFF

- テレビのリモコンを使ってテレビの電源を切ると、本機の電源も連動して切れます。

自動入力切換

- HDMI マイクロケーブルで接続して本機の電源を入れ、本機の [▶] (再生) ボタンを押すと、テレビの入力切換が自動で本機の画面に切り換わります。また、テレビの電源が待機状態のときは自動で電源が入ります。(テレビの [電源オン連動] を [する] に設定している場合)

- 本機のボタンを使っでの操作は制限されます。
- スライドショーで動画の音声を再生するには、スライドショー設定画面で [音設定] を [AUTO] または [音声] に設定してください。
- ハイスピード HDMI マイクロケーブル (Type D - Type A プラグ、3 m 未満) をお使いください。
- ビエラリンク (HDMI) が正しく動かない場合は、[232 ページ](#)をご確認ください。

写真や動画をパソコンに残す

本機とパソコンを接続して、本機の画像をパソコンに取り込みます。

- お使いのパソコンによっては、取り出したカードから直接読み込むこともできます。詳しくはパソコンの取扱説明書をお読みください。

■使用できるパソコン

マストレージデバイス（大容量記憶装置）を認識できるパソコンに接続することができます。

Windows	Windows 10、Windows 11
Mac	macOS 13、14、15.0 ~ 15.1

ソフトウェアをダウンロードする

- ソフトウェアをダウンロードするためには、パソコンをインターネットに接続する必要があります。
- 通信環境によっては、ダウンロードに時間がかかる場合があります。
- 対応 OS は 2024 年 12 月現在のものです。また、対応 OS は変更する場合があります。

PHOTOfunSTUDIO 10.0 AE

写真や動画をパソコンに取り込んで、撮影日やデジタルカメラの機種名などで分類できます。また、画像補正や動画編集、DVD への書き込みなどもできます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード/インストールしてください。

本ダウンロードは 2030 年 1 月まで有効です。

https://panasonic.jp/support/software/photofun/download/d_pfs10ae.html

写真や動画をパソコンに残す

• 動作環境

対応 OS	Windows 8.1 (32 bit/64 bit) Windows 10 (32 bit/64 bit) Windows 11 • 4K 動画、4K フォトをご利用の場合、Windows 8.1 / Windows 10 の 64 bit 版 OS または Windows 11 が必要です。
CPU	Pentium® 4 2.8 GHz 以上
ディスプレイ	1024 × 768 以上 (1920 × 1080 以上を推奨)
搭載メモリ	1 GB 以上 (32 bit) / 2 GB 以上 (64 bit)
ハードディスク	インストールに 450 MB 以上の空き容量

- 4K 動画の再生、編集機能や、4K フォトの写真切り出し機能をご利用の場合の動作環境について、詳しくは「PHOTOfunSTUDIO」の取扱説明書（PDF）をお読みください。
- 「PHOTOfunSTUDIO」は Mac では使えません。

SILKYPIX Developer Studio SE

RAW ファイルの画像を現像や編集するソフトウェアです。編集した画像をパソコンなどで表示できるファイル形式（JPEG、TIFF など）で保存できます。

下記サイトをご確認いただき、ダウンロード / インストールしてください。

<http://www.isl.co.jp/SILKYPIX/japanese/p/>

• 動作環境

対応 OS	Windows : Windows 10 (64 bit)、Windows 11 Mac : macOS 10.13 ~ 10.15、11、12、13、14
-------	---

- SILKYPIX Developer Studio の動作環境や使い方などの詳しい説明は、「ヘルプ」またはアドワーカーのサポートサイトをご覧ください。

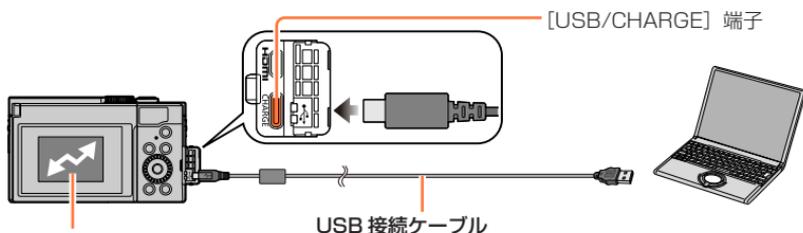
写真、動画を取り込む

準備

- パソコンに「PHOTOfunSTUDIO」をインストールしておく。(P.214)
- 本機とパソコンの電源を入れる。

1 本機とパソコンを接続する

- 端子の向きを確認し、まっすぐ入れてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります) また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。
- 付属の USB 接続ケーブル、または USB 規格に準拠した市販の Type-C USB 接続ケーブルをお使いください。



通信中

- 表示中は USB 接続ケーブルを抜かない。

2 「PHOTOfunSTUDIO」を使って画像をパソコンにコピーする

- コピーしたファイルやフォルダーを、Windows のエクスプローラーなどで消去や移動などを行わないでください。「PHOTOfunSTUDIO」を使って再生、編集などができなくなります。

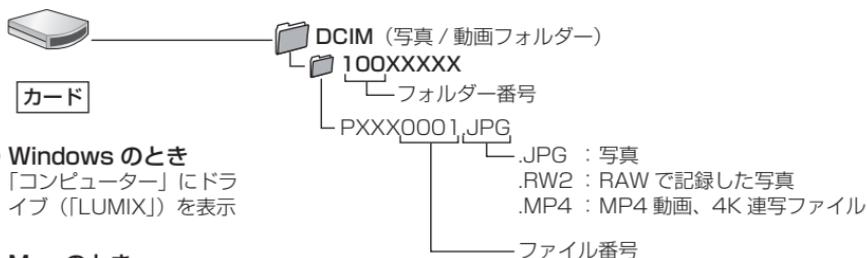
- カードの抜き差しは、本機の電源を切って、USB 接続ケーブルを抜いてから行ってください。データが破壊されるおそれがあります。
- 画像の取り込み中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- バッテリー使用時、USB 接続中にバッテリー残量が少なくなると、警告音が鳴ります。USB 接続ケーブルを安全に取り外してください。データが破壊されるおそれがあります。

写真や動画をパソコンに残す

■「PHOTOfunSTUDIO」を使わずにパソコンにコピーする

取り込みたい画像が入っているフォルダーやファイルを、パソコン上の別のフォルダーにドラッグ&ドロップするとパソコンに画像を保存することができます。

- 本機のカードの中（フォルダー構造）は以下のようになります。



● Windows のとき

「コンピューター」にドライブ（「LUMIX」）を表示

● Mac のとき

デスクトップ上にドライブ（「LUMIX」）を表示

写真や動画をレコーダーに残す

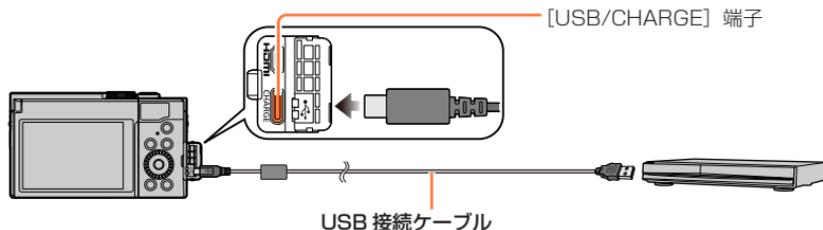
本機を当社製ブルーレイレコーダーまたは DVD レコーダーに接続して、本機の画像をレコーダーに残すことができます。

準備

- 本機とレコーダーの電源を入れる。

1 本機とレコーダーを接続する

- 端子の向きを確認し、まっすぐ入れてください。(斜めに差し込むと、端子が変形して故障の原因になります) また、誤った端子には接続しないでください。故障の原因になります。
- 付属の USB 接続ケーブル、または USB 規格に準拠した市販の Type-C USB 接続ケーブルをお使いください。



2 レコーダーを操作してダビングする

- ダビングや再生方法について、詳しくはレコーダーの取扱説明書をお読みください。
- お使いのレコーダーによっては、4K 動画などのモードに対応していない場合があります。

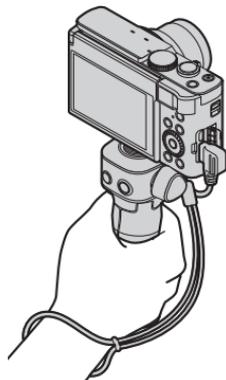
- ダビング中にカメラの電源が切れないようにしてください。
- カードの抜き差しは電源を切って、USB 接続ケーブルを抜いてから行ってください。

別売品を使う

トライポッドグリップ (別売)

トライポッドグリップ (別売 : DMW-SHGR2) を取り付けて、歩き撮り用のグリップや、三脚、シャッターリモコンとして使用できます。

- カメラにトライポッドグリップを取り付けたあと、カメラの [USB/CHARGE] 端子にグリップのケーブルを差し込んでください。



- トライポッドグリップのスリープボタンを押してカメラの電源を切ることができます。再度使うときは、電源ボタンを押して電源を入れ直してください。
- カメラを取り付けた状態で、トライポッドグリップのハンドストラップだけを持って運ばないでください。
- 詳しくは、トライポッドグリップの取扱説明書をお読みください。

海外旅行先で使う

AC アダプター（付属）は、日本国内で使用することを前提として設計されておりますが、海外旅行等での使用は問題ありません。

- 電源電圧（100 V～240 V）、電源周波数（50 Hz、60 Hz）でご使用いただけます。
- 国、地域によって電源コンセントの形状は異なるため変換プラグが必要です。変換プラグは旅行会社や販売店にご相談のうえ、お求めください。
- ご使用にならないときは AC アダプターと変換プラグを電源コンセントから外してください。
- 市販の変圧器などを使用すると、故障するおそれがありますので、使用しないでください。

変換プラグの付け方



主な国、地域の代表的な電源コンセントのタイプ

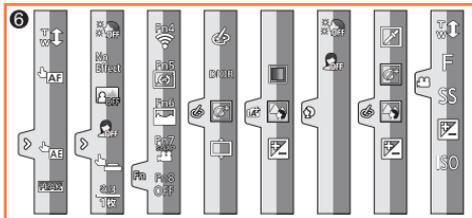
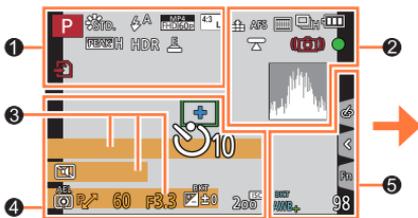
北米							
アメリカ合衆国 A	カナダ A	ハワイ A					
ヨーロッパ							
イギリス BF, B3	イタリア C (C2)	オーストリア C (C2), SE	オランダ C (C2), SE	ギリシャ A, B, B3, C (C2), SE	スイス A, B, C (C2), SE		
スウェーデン B, C (C2), SE	スペイン A, C (C2), SE	デンマーク C (C2)	ドイツ A, C (C2), SE	ノルウェー C (C2)	ハンガリー C (C2)		
フィンランド B, C (C2)	フランス A, C (C2), SE	ベルギー B, C (C2), SE	ロシア A, C (C2), SE				
アジア							
インド B, BF, B3, C (C2)	インドネシア B, B3, C (C2), SE	シンガポール B, BF, B3	タイ A, BF, C (C2)	大韓民国 A, C (C2), SE	台湾 A, C (C2), O		
中華人民共和國 すべて	フィリピン A, O	ベトナム A, BF, C (C2), SE	香港特別行政区 B, BF, B3, C (C2)	マカオ特別行政区 B, BF, B3, C (C2)	マレーシア B, BF, B3, C (C2)		
オセアニア							
オーストラリア O	グァム島 A	サイパン島 A	トンガ O	ニュージーランド O	フィジー A, B, C (C2), O		
中南米							
アルゼンチン BF, C (C2), SE	プエルトリコ A, BF, C (C2)	ブラジル A, C (C2), SE	メキシコ A, C (C2), SE				
中東・アフリカ							
アラブ首長国連邦 B, BF, B3	エジプト BF, B3, C (C2), SE	クウェート B, B3, C (C2)	トルコ A, B, C (C2), SE	南アフリカ共和国 B, BF, B3, C (C2)	モロッコ A, C (C2), SE		
タイプ	A	B	BF	B3	C (C2)	SE	O
	アメリカンタイプ	U.K. タイプ			ヨーロッパタイプ		オーストラリアンタイプ
コンセント 形状							
変換 プラグ	不要です						

モニター表示一覧

モニターの画面表示は、本機の操作状態を示しています。

- 表示されるヒストグラムや倍率、数値などの情報は目安です。

撮影時



	撮影モード (P.29)
	C1 カスタムセット (P.71)
	フォトスタイル (P.142)
	フラッシュモード (P.121)
	画質設定 (P.127)
	スナップムービー (P.130)
	画像縦横比 (P.140) / 記録画素数 (P.141)
	画像効果 (フィルター) 調整表示 (P.63、144)
	画像効果 (フィルター) 種別 (P.144)
	カード (記録時のみ表示) (P.20)
	記録経過時間※1 (P.125)
	同時記録表示 (P.129)
	ピーキング (P.157)
	HDR (P.149) /iHDR (P.47)
	電子シャッター (P.148)
	温度上昇表示 (P.229)

	RAW クオリティ (P.141)
	240fps 120fps ハイスピード動画 (P.68)
	AFS AFF AFC MF AFS/AFF/AFC (P.73) / MF (P.84)
	オートフォーカスモード (P.74)
	プリント送り (P.131)
	個人認証 (P.162)
	AFL AF ロック (P.86)
	連写 (P.93)
	4K フォト (P.95)
	フォーカスセレクト (P.104)
	セルフタイマー (P.108)
	バッテリー残量表示 (P.18)
	マクロ撮影 (P.83)
	動画傾き補正 (P.150)
	手ブレ補正 (P.115)
	手ブレ警告表示 (P.115)
	フォーカス (緑点灯) (P.28) / 記録動作 (赤点灯) (P.125)
	フォーカス (低照度時) (P.72)
	Wi-Fi 接続状態
	Bluetooth 接続状態 (P.194)
	GPS 位置情報記録 (P.202)
	ヒストグラム表示 (P.158)

モニター表示一覧

③

名前*2 (P.164)
トラベル経過日数*3 (P.167)
月齢 / 年齢*2 (P.164)
旅行先*3 (P.167)
現在日時 / 旅行先設定*3 : ✈ (P.166)
露出メーター (P.159)
ズーム表示 (P.119)

④

	AF エリア (P.80)
+	スポット測光ターゲット (P.145)
+	センターマーカー表示 (P.158)
	セルフタイマー (P.108)
	ズームマイク (P.151)
	サイレントモード (P.147)
AEL	AE ロック (P.86)
	測光モード (P.35、145)
P	プログラムシフト (P.54)
60	シャッタースピード (P.28)
F3.3	絞り値 (P.28)
	露出補正 (P.87)
	露出ブラケット (P.114)
	明るさ (露出) (P.48、66)
	マニュアル露出アシスト (P.56)
	ISO 感度 (P.88)

⑤

	ダイヤル操作ガイド (P.156)
AWBc AWBw	ホワイトバランス (P.89)
	ホワイトバランスブラケット (P.91)
	ホワイトバランス微調整 (P.90)
	色合い (P.47)
98	記録可能枚数 (P.21)
r20	連続撮影可能枚数 (P.93)
残 XXmXXs	記録可能時間*1 (P.22)

⑥

タッチタブ (P.156)

	タッチズーム (P.120)
	タッチシャッター (P.34)
	タッチ AF (P.34)
	タッチ AE (P.35)
	ピーキング (P.157)
	自分撮りモード (P.49)
	ファンクションボタン (P.39)
	色合い (P.48)
	ポケ味コントロール (P.48、66)
	明るさ (露出) (P.48、66)
	ぼかし方 (ジオラマ) (P.65)
	ワンポイントカラー (P.65)
	サンシャイン (P.65)
	画像効果 (フィルター) 調整表示 (P.63、144)
	画像効果の入 / 切 (P.144)
	画像効果 (フィルター) (P.144)
F	絞り値 (P.67)
SS	シャッタースピード (P.67)
ISO	ISO 感度 (P.67)
	シーンガイドモード (美肌効果、スリムモード) (P.60)

*1 h は「hour (時間)」、m は「minute (分)」、s は「second (秒)」を省略した表示です。

*2 [プロフィール設定] を設定時、電源を入れた場合に約 5 秒間表示されます。

*3 電源を入れたとき / 時計設定後 / 再生から撮影モードへ切り換え後、約 5 秒間表示されます。

再生時



①		再生モード (P.177)
		プロテクト (P.177)
	GPS	位置情報あり (P.202)
	★3	レーティング (P.177)
		動画再生 (P.133)
		グループ画像連続再生 (P.137)
		4K 連写ファイルから写真を保存 (P.97)
		フォーカスセレクト撮影した画像から写真を保存 (P.105)
		文字焼き込み済み (P.184)
	XXhXXmXXs	再生経過時間*1

②		マーカーあり表示 (P.98、99、100)
		4K フォト (4K 連写ファイル) (P.95)
		フォーカスセレクト (P.104)
		フォーカス合成 (P.106)

	画像横縦比 (P.140) / 記録画素数 (P.141)
	画質設定 (P.127)
	スナップムービー (P.130)
	クオリティ (P.141)
240fps 120fps	ハイスピード動画 (P.68)
	バッテリー残量表示 (P.18)
1/98	画像番号 / トータル枚数
	Wi-Fi 接続状態
15 枚	グループ画像枚数
XXhXXmXXs	動画記録時間*1 (P.133)

③		クリアレタッチ済み表示 (P.183)
		情報取得中アイコン
		再生 (動画) (P.133)
		トラベル経過日数 (P.167)
		グループ表示 (P.137)
		サイレントモード (P.147)
		マルチ再生 (P.135)
		消去 (P.138)

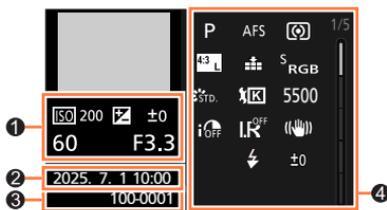
④	名前*2 (P.162、164)
	旅行先*2 (P.167)
	タイトル*2 (P.178)
	月齢 / 年齢 (P.162、164)

⑤	撮影情報
---	------

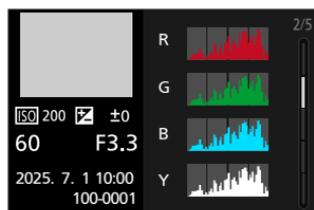
*1 hは「hour (時間)」、mは「minute (分)」、sは「second (秒)」を省略した表示です。

*2 [タイトル]、[旅行先]、[名前] (赤ちゃん/ペット)、[名前] (個人認証) の優先順位で表示されます。

詳細情報表示



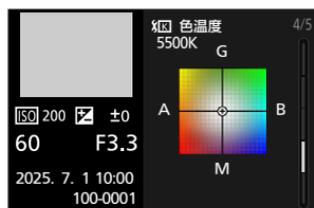
ヒストグラム表示



フォトスタイル表示



ホワイトバランス表示



レンズ情報表示



①
撮影情報（基本）

②
撮影日時 / ワールドタイム (P.166)

③
100-0001 フォルダー・ファイル番号 (P.217)

④
撮影情報（詳細）

5500	ホワイトバランス（色温度） (P.89)
iOFF	iD レンズコントロール (P.146)
HDR ON	HDR (P.149) / iHDR (P.47)
I.R OFF	超解像 (P.146)

メッセージ表示

画面に表示される、主なメッセージの意味と対処法です。

■カード

メモリーカードエラー / フォーマットしますか？

- パソコンなどに必要なデータを保存してから本機でフォーマット (P.21) してください。
- 別のカードを入れてお試してください。

リードエラー / ライトエラー / カードを確認してください

- カードが確実に入っているか確認してください。(P.19)
- 電源を切ってからカードを抜き、再びカードを入れてから電源を入れてください。
- 別のカードを入れてお試してください。

カードの書き込み速度不足のため記録を終了しました

- 動画の [画質設定] によって必要なカードのスピードクラスが異なります。4K フォトの撮影には、必要なカードのスピードクラスがあります。対応したカードをお使いください。(P.20)
- 推奨のスピードクラスのカード (P.20) を使用しても停止した場合は、データの書き込み速度が低下しているので、バックアップをとりフォーマット (P.21) することをお勧めします。カードの種類によっては、途中で撮影が終了する場合があります。

メモリーカードエラー / このカードは使用できません

- 対応するカードをお使いください。(P.20)

■バッテリー

このバッテリーは使えません

- パナソニック純正バッテリーをお使いください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- バッテリーの端子部のごみなどを取り除いてください。

■ その他

消去できない画像があります / この画像は消去できません

- DCF 規格 (P.132) に準拠していない画像は消去できません。パソコンなどに必要なデータを保存してから、本機でフォーマットして消去してください。(P.21)

この画像には設定できません

- DCF 規格 (P.132) に準拠していない画像は [タイトル入力]、[文字焼き込み] などができません。

フォルダーを作成できません

- 使用できるフォルダー番号がなくなったため、フォルダーを作成できません。パソコンなどを使って必要なデータを保存してから本機でフォーマット (P.21) してください。フォーマットを行ったあとに [セットアップ] メニューの [番号リセット] を実行すると、フォルダー番号が 100 にリセットされます。(P.173)

電源を入れ直してください / システムエラー

- 電源を入れ直してください。(それでも表示されるときは、お買い上げの販売店にご相談ください)

Q&A 故障かな?と思ったら

①まず、227～232 ページの方法をお試しください。

それでも解決できない場合は、

- ② [セットアップ] メニューの [設定リセット] (P.173) を行うと症状が改善する場合があります。
- ③ また、パナソニックのサポートサイトで最新のサポート情報をご確認いただけます。
<https://panasonic.jp/support/dsc/>
- ④ これらの処置しても直らないときは、付属冊子「取扱説明書」の「保証とアフターサービス」をお読みください。

■ 電源、バッテリー

充電ランプが点滅している。

- 温度が極端に高い、または低いところで充電している。
→ 周囲の温度が 10℃～30℃ (バッテリーの温度も同様) のところで USB 接続ケーブルをつなぎ直し、再度充電をお試しください。
- パソコンの給電能力が低い場合は、充電できません。

電源を入れても動作しない。電源を入れてもすぐ切れる。

- バッテリーが消耗している。
→ 充電してください。(P.14)
- [電源ボタン(起動時)] が [長押し] になっている。
→ [短押し] に設定すると、電源ボタン短押しでカメラの電源をオンにできます。(P.169)

電源が勝手に切れる。

- [エコモード] が動いている。(P.169)

バッテリーの消耗が早い。

- [4K] (4K プリ連写) に設定している。
→ [4K] (4K プリ連写) で撮影できる状態では、バッテリーの消耗が早くなります。
撮影するときだけ [4K] (4K プリ連写) に設定してください。
- 長時間 Wi-Fi 接続を行っている。
→ Wi-Fi 接続中はバッテリーの消耗が早くなります。[エコモード] (P.169) を使うなどして、こまめに電源を切ってください。

Q&A 故障かな?と思ったら

■ 撮影

蛍光灯や LED などの照明下で、ちらつきや横しまが出る。

- 本機の撮像素子である MOS センサーの特徴であり、異常ではありません。
- 電子シャッターで写真を撮影している場合は、シャッタースピードを遅くすると横しまが軽減されることがあります。(P.55)
- 動画撮影中、蛍光灯や LED などの照明下でちらつきや横しまが目立つ場合、[フリッカー軽減] (P.150) を設定してください。シャッタースピードを固定することで、ちらつきや横しまを軽減できます。クリエイティブ動画モード (P.67) でも手動でシャッタースピードを設定できます。



撮影できない。シャッターボタンを押しても、すぐにシャッターが切れない。

- [フォーカス / リリース優先] が [フォーカス] に設定されている場合は、ピントが合うまで撮影されません。(P.155)

撮影した画像が白っぽい。

- レンズが汚れている。(指紋などの汚れが付いている)
→ 電源を入れてレンズ鏡筒を出し、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。

撮影した画像が明るすぎる。または暗すぎる。

- 不適切な状態で AE ロック (P.86) がかかっている。

1 回の撮影で、複数の画像が撮れるときがある。

以下の設定をご確認ください。いずれかだけでも設定している場合は、複数枚撮影します。

- ドライブモードを [単写] 以外に設定している。
→ ドライブモードを [単写] に設定してください。(P.92)
- ブラケットを設定している。
→ 画面に [BKT] 付きのアイコン (例: [BKT ±0], [BKT AWB] など) が表示されている場合は、ブラケット撮影の設定になっています。[撮影] メニューの [ブラケット] で、[ブラケット種類] を [OFF] に設定してください。(P.113)

ピントが合わない。

- 撮影可能範囲から外れている。
- [フォーカス / リリース優先] が [リリース] になっている。(P.155)
- [シャッター半押し AF] が [OFF] になっている。(P.153)
- 不適切な状態で AF ロック (P.86) がかかっている。
- レンズに指紋やほこりなどの汚れがついていると、レンズにピントが合ってしまい被写体にピントが合わない場合があります。

撮影した画像がブレる。手ブレ補正が効かない。

- 暗い場所でシャッタースピードが遅くなり、手ブレ補正が十分に働いていない。
→ 遅いシャッタースピードで撮影するときは、三脚とセルフタイマー (P.108) の使用をお勧めします。

Q&A 故障かな?と思ったら

撮影した画像が粗い。ノイズが出る。

- 以下をお試しください。
 - ISO 感度を低くしてください。(P.88)
 - [フォトスタイル] の [ノイズリダクション] をプラス方向にするか、[ノイズリダクション] 以外の各項目をマイナス方向に調整してください。(P.143)

被写体が曲がって撮影される。

- 電子シャッター撮影時、動画撮影時または 4K フォト撮影時、動いている被写体を撮影すると、被写体が曲がって撮影される場合があります。これは、本機の撮像素子である MOS センサーの特徴であり、異常ではありません。

撮影した画像の明るさや色合いが実際と違う。

- 蛍光灯や LED などの照明下での撮影時、シャッタースピードが速くなると、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは光源の特性により発生するものであり、異常ではありません。
- 極端に明るい場所で撮影したり、蛍光灯、LED、水銀灯、ナトリウム灯などの照明下で撮影すると、色合いや画面の明るさが変わったり、画面に横しまが現れたりすることがあります。

4K フォトの撮影が途中で止まる。

- 周囲の温度が高かったり、連続で 4K フォトの撮影を行ったとき、 が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。

■ 動画**動画が撮影できない。**

- 容量の大きなカードをご使用の場合は、電源を入れたあとしばらくの間撮影できないことがあります。

動画撮影が途中で止まる。

- 周囲の温度が高かったり、連続で動画撮影を行ったとき、 が表示されたあと、撮影が停止する場合があります。本機の温度が下がるまでお待ちください。
- 動画の [画質設定] によって必要なカードのスピードクラスが異なります。対応したカードをお使いください。(P.20)

4K 動画撮影時、オートフォーカスでピントが合いにくいことがある。

- 高い精度でピントを合わせるために、オートフォーカスの速度を抑えて撮影する場合に生じる現象ですので、異常ではありません。

動画に「カチッ」、「ジー」などの音が録音される。録音される音声が小さい。

- 静かな環境下での撮影では、絞りやフォーカスなどの動作音が動画に録音されることがあります。これは異常ではありません。動画撮影中のフォーカス動作は [AF 連続動作] (P.128) で [OFF] に設定することができます。
- 動画撮影中にマイクの穴を指で塞ぐと音声が小さく録音されたり、録音されない場合があります。またこのとき、レンズの動作音が録音されやすくなりますのでお気をつけください。

Q&A 故障かな？と思ったら

動画に操作音が記録される。

- 操作音が気になるときは、クリエイティブ動画モードで撮影することをお勧めします。(P.67)

■フラッシュ**発光しない。**

- 次の場合は発光しません。
 - [ⓧ] (発光禁止) になっている。(P.121、122)
- [シャッター方式] を [自動切換] または [メカシャッター] に設定してください。(P.148)
- [サイレントモード] を [OFF] に設定してください。(P.147)

■モニター**電源が入っているときに、モニターが消える。**

- 設定した時間の間に何も操作をしないと、[モニター自動 OFF] (P.169) が働き、モニターが消灯します。

一瞬ちらつく、または一瞬画面の明るさが大きく変化することがある。

- シャッターボタンを半押ししたときや、被写体の明るさが変化したときにレンズの絞りが変化することで発生する現象です。故障ではありませんので、安心してお使いください。

■再生**再生できない。撮影した画像がない。**

- カメラにカードが入っていない。
- パソコンでファイル名を変更した画像ではないですか？その場合、本機で再生することはできません。
 - パソコンからカードに画像を書き込む場合は、ソフトウェア「PHOTOfunSTUDIO」(P.214) を使うことをお勧めします。
- [再生モード] を [通常再生] に設定してください。(P.177)

Q&A 故障かな?と思ったら

■ Wi-Fi 機能

接続できない。電波が途切れる。

- スマートフォンなどの接続する機器をカメラに近づけて通信を行ってください。(通信距離は使用環境等により大きく変化します)
- 2.4 GHz 帯の周波数を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くで同時に使用された場合、電波が途切れることがあります。
→ 機器から十分に離してご使用ください。
- スマートフォンなどの接続する機器が本機以外の無線アクセスポイントと接続されているときは、本機と接続できません。スマートフォンなどの接続する機器側の Wi-Fi 設定で、接続するアクセスポイントを本機に変更してください。
- バッテリー残量表示が赤く点滅している場合は、他の機器と接続できなかったり、通信が途切れたりすることがあります。([通信エラー] などのメッセージが表示されます)
- 本機を金属のテーブルや棚に置くと電波に影響し接続しにくくなる場合があります。金属面から離してご使用ください。

スマートフォンの Wi-Fi 設定画面で本機が表示されない。

- スマートフォンの Wi-Fi 設定で、Wi-Fi 機能を OFF にしてから、再度 ON にしてください。

画像送信が途中で失敗する。送信できなかった画像がある。

- 画像のサイズが大きすぎませんか?
→ [動画分割] で動画を分割して送信してください。(P.187)
→ [送信サイズ] で画像サイズを小さくして送信してください。(P.206)
- 送信できる画像のファイル形式 (P.201、204)

Wi-Fi のパスワードを忘れた。

- [セットアップ] メニューの [ネットワーク設定リセット] を実行してください。(P.173)
ただし、お客様が [Wi-Fi 設定] や [Bluetooth] で設定した情報もリセットされます。

Q&A 故障かな?と思ったら

■テレビ、パソコン

テレビに画像が出ない。画面が流れたり色が付かない。

- ・正しく接続していない。(P.212)
- ・テレビの入力切替を外部入力にしていない。

ビエラリンク (HDMI) が働かない。

- ・本機の [ビエラリンク] を [ON] に設定していますか? (P.171)
→接続した機器側のビエラリンク (HDMI) の設定を確認してください。
→本機の電源を入れ直してください。

パソコンにカードが認識されない。(SDXC メモリーカードを使用している)

- ・お使いのパソコンが SDXC メモリーカードに対応しているか確認してください。
- ・接続時にカードのフォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットしないでください。
- ・モニターの [通信中] の表示が消えない場合、電源を切ってから USB 接続ケーブルを抜いてください。

■その他

レンズ部から音がする。

- ・電源を入れたり、切ったりするときにレンズ移動や絞り動作を行う音で、故障ではありません。
- ・ズーム操作や本機を動かしたときなどに明るさの変化することで自動的に絞り動作を行う音で、異常ではありません。

ズームの動きが一瞬止まる

- ・EX 光学ズーム時、ズームの動きが一瞬止まりますが、異常ではありません。

暗い場所でシャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯する。

- ・[AF 補助光] を [ON] にしている。(P.154)

本機が熱くなる。

- ・ご使用時、多少熱くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。

時計が合っていない。

- ・本機を長期間放置すると、時計がリセットされることがあります。
→再度時計を設定してください。(P.23)

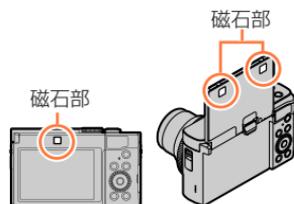
ズーム撮影すると画像がわずかにゆがんだり、被写体の周りに実際にはない色が付く。

- ・倍率によってわずかにゆがんだり、輪郭などに着色して撮影されることがありますが、異常ではありません。

使用上のお願いとお知らせ

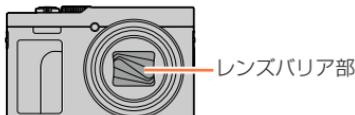
お使いのとき

- 磁気が発生するところや電磁波が発生するところ（電子レンジ、テレビ、スピーカーや大型モーターなど）からはできるだけ離れて使ってください。
 - ・ テレビの上や近くで操作すると、電磁波の影響で画像や音声が乱れることがあります。
 - ・ スピーカーや大型モーターなどが出す強い磁気により、記録が損なわれたり、画像がゆがんだりします。
 - ・ マイコンを含めたデジタル回路の出す電磁波により、お互いに影響を及ぼし、画像や音声が乱れることがあります。
 - ・ 本機が影響を受け、正常に動作しないときは、バッテリーや AC アダプターを一度外してから、あらためて挿入または接続し、電源を入れ直してください。
- 電波塔や高圧線が近くにあるときは、なるべく使わないでください。
 - ・ 近くで撮ると、電波や高電圧の影響で撮影画像や音声が悪くなることがあります。
- 付属品、または別売品に付属のコード、ケーブルは延長しないでください。
- 本機の磁石部にクレジットカードなど磁気の影響を受けるものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。
- 殺虫剤や揮発性のものを本機にかけないでください。
 - ・ かかると、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがあります。



お手入れのとき

- お手入れの際は、バッテリー、カード（別売）を取り出しておく、または電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。
- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
 - ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
 - 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。
 - レンズバリア部を触らないでください。



使用上のお願いとお知らせ

しばらく使わないとき

- 電源を切ってからバッテリーとカードは抜いておく。
 - 特にバッテリーは、過放電により故障の原因になります。
 - 時計設定はバッテリーを取り出しても、約 3 か月記憶します。
(満充電のバッテリーを入れて約 24 時間経過した場合)
- ゴムやビニール製品が接触したままにしない。
- 押し入れなどでは、乾燥剤（シリカゲル）とともに保管する。また、バッテリーは、涼しく（15℃～25℃）、湿気の少ない（湿度 40%RH～60%RH）、温度変化の少ない場所で保管する。
- 1年に1回は充電し、いったん使用して、残量がなくなってから再保管する。
- 長期間使用していないときは、撮影前に各部を点検してから使用してください。

モニターについて

- モニターを強く押さえないでください。画面にむらが出たり、故障の原因になります。
- 寒冷地などで本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後はモニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。

モニターは、精密度の高い技術で作られています。画面上に黒い点が現れたり、常時点灯（赤や青、緑の点）することがあります。これは故障ではありません。モニターの画素については高精度管理をしておりますが、画素欠けするものがあります。またこれらの点は、カードの画像には記録されませんのでご安心ください。

レンズについて

- レンズ部を強く押さないでください。
- レーザー光などの強い光線を、直接、本機（レンズ）に照射しないでください。撮像素子が破損し、本機の故障の原因になることがあります。
- レンズが汚れたら電源を入れ、レンズ鏡筒を出した状態でレンズ鏡筒を指で固定して、レンズの表面を乾いた柔らかい布で軽くふいてください。（レンズに指紋などの汚れが付くと画像が白っぽくなる場合があります）
- レンズを太陽に向けたまま放置すると、集光により故障の原因になります。屋外や窓際に置くときにはお気をつけください。
- レンズバリア部を触らないでください。（故障の原因になります。かばんなどから取り出すときにもお気をつけください）

使用上のお願いとお知らせ

バッテリーについて

本機で使用するバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。

このバッテリーは温度や湿度の影響を受けやすく、温度が高くなる、または、低くなるほど影響が大きくなります。

- 使用後は、必ずバッテリーを取り出す
 - ・取り出したバッテリーはポリ袋に入れ、金属類（クリップなど）から離して保管、持ち運びしてください。
- 出かけるときは予備のバッテリーを準備する
 - ・スキー場などの寒冷地では撮影できる時間がより短くなります。
 - ・旅行をされるときは、現地でバッテリーを充電できるように AC アダプターと USB 接続ケーブルも忘れずに準備してください。海外で使う場合は、変換プラグが必要な場合があります。(P.220)
- バッテリーを誤って落下させてしまった場合、端子部が変形していないか確認する
 - ・端子部が変形したまま本機に入れると、本機をいためます。

不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

ホームページ <http://www.jbrc.com>

使用済み充電式電池の取り扱いについて

- ・端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- ・分解しないでください。



AC アダプターについて

- 充電時の環境によっては、静電気や電磁波の影響で充電ランプがちらつく場合がありますが、充電への影響はありません。
- ラジオ（特に AM 受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入ることがあります。使用時は 1 m 以上離してください。
- 使用中に AC アダプター（付属）の内部で発振音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 使用後は、必ず電源コンセントから電源プラグを抜いてください。（接続したままにすると、少量の電力を消費します）

カードやデータについて

- カードやデータの破損を防ぐために
 - ・高温や直射日光、電磁波、静電気を避ける。
 - ・折り曲げない、落とさない、強い振動を与えない。
 - ・使用後や保管、持ち運びするときはケースや収納袋に入れてください。
 - ・カード裏の端子部に触れない、汚さない、ぬらさない。
- 不適切な取り扱いにより故障した結果、記録したデータが破壊されたり、消滅したりすることがあります。記録したデータの消滅による損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い
 - ・本機やパソコンの機能による [フォーマット] や [消去] では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、メモリーカード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってメモリーカード内のデータを完全に消去することを勧めます。メモリーカード内のデータはおお客様の責任において管理してください。

三脚 / 一脚を使うとき

- 無理な力を加えたり、斜めにねじ止めしないでください。(本体、ねじ穴、定格ラベルの損傷の原因になります)
- 三脚が安定していることを確認してください。(三脚の取扱説明書もお読みください)
- 三脚 / 一脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。

個人情報について

- [プロフィール設定] / 個人認証機能で名前または誕生日を設定した場合は、カメラ内および撮影した画像に個人情報が含まれます。
- [サイレントモード]、位置情報の書き込み、シャッター音の変更などの機能のご利用につきましては、被写体のプライバシー、肖像権などに十分ご配慮のうえ、お客様の責任で行ってください。
- 個人情報の保護のため、Wi-Fi 機能ロックを設定することをお勧めします。(P.210)
- パスワードを設定する際は、以下のことをお守りください。
 - ・誕生日など第三者に推測されやすいパスワードの使用は避ける。
 - ・他社サービスとは異なるパスワードを設定する。
- 免責事項
 - ・個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失することがあります。個人情報を含む情報の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

使用上のお願いとお知らせ

- **修理依頼または譲渡 / 廃棄されるとき**
 - ・ 個人情報の控えを取ったあと、本機内にお客様が登録または設定した無線 LAN 接続設定等の個人情報を含む情報を [ネットワーク設定リセット] を行って必ず消去してください。(P.173)
 - ・ 個人情報保護のため、設定をリセットしてください。(P.173)
 - ・ メモリーカードは、本機より取り出してください。
 - ・ 修理をすると、設定はお買い上げ時の状態に戻ることがあります。
 - ・ 故障の状態により上記の操作が困難な場合は、お買い上げの販売店までご相談ください。
- **メモリーカードを譲渡 / 廃棄する際は、「メモリーカードを廃棄 / 譲渡するときのお願い」をお読みください。(P.236)**
- **画像を Web サービスにアップロードするとき**
 - ・ 画像には、タイトル、撮影日時、位置情報など、個人を特定する情報が含まれる場合があります。Web サービスに画像をアップロードする際は、よくご確認のうえ、アップロードしてください。

Wi-Fi 機能について

■本機は無線 LAN 機器としてお使いください

無線 LAN 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用する場合は、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を十分に行ってください。無線 LAN 機器としての用途以外で使用して損害が生じた場合、当社は一切の責任を負いかねます。

■Wi-Fi 機能は日本での利用を前提としています

本機の Wi-Fi 機能は、日本での利用を前提としています。日本国外での使用は、その国の電波関連規制等に違反するおそれがあり、当社は一切の責任を負いかねます。

■電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります

電波によるデータの送受信は、第三者に傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください

- ・ 電子レンジ付近など磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。電波が届かないことがあります。
- ・ 2.4 GHz 帯の電波を使用する電子レンジやコードレス電話機などの機器の近くで使用すると、両方の処理速度が低下することがあります。

使用上のお願いとお知らせ

- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface という語、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- USB Type-C[®] および USB-C[®] は USB Implementers Forum の登録商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- Adobe は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Pentium は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Google、Android、Google Play は Google LLC の商標です。
- Bluetooth[®] ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。パナソニックホールディングス株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。
- “Wi-Fi[®]” は “Wi-Fi Alliance[®]” の登録商標です。
- “WPA™”、“WPA2™” は “Wi-Fi Alliance[®]” の商標です。
- QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。



使用上のお願いとお知らせ

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニックが独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ~ (5) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、[MENU/SET] → [セットアップ] → [バージョン表示] → [ソフト情報] で表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも 3 年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0 または LGPL V2.1 に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。

<https://docs.connect.panasonic.com/oss/>

本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報を AVC 規格に準拠して (以下、AVC ビデオ) 記録すること。
- (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, L.L.C. ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

- 本製品に付属するソフトウェアを無断で営業目的として複製 (コピー) したり、ネットワークに転載したりすることを禁止します。
- 本製品の使用 (他社製品との組み合わせ使用含む)、または故障により生じた直接、間接の損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品によるデータの破損につきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

さくいん

あ行

青空をさわやかに撮る	60
アクセス表示	20
圧縮率	141
位置情報記録	202
イルミネーションをキラキラ撮る	61
色温度設定	89
インターバル撮影	109
インターバル動画作成	187
インテリジェントオートプラスモード	44
インテリジェントオートメニュー	46
インテリジェントオートモード	44
インテリジェント ISO	88
インプレッシブアート	63
ヴィヴィッド	142
動くペットをきちんと撮る	61
エコモード	169
オートフォーカス	72
オートフォーカスモード	74
オートホワイトバランス (AWB)	90
オートマーキング	100
オートレビュー	157
オールドデイズ	63
お気に入りから接続する (Wi-Fi)	208
お手入れ	233

か行

カード	19、20、236
回折補正	147
ガイドライン表示	158
顔・瞳認識	45、75
拡張 ISO 感度	153
下限シャッター速度	147
画質設定 (動画撮影時)	127
画質調整	143
カスタムセット登録	71
カスタムマルチ (AF)	77
カスタムメニュー	152
カスタムモード	71
カスタムモードメニュー	139
風音キャンセラー	151

画像回転	186
画像表示順	188
画像横縦比	140
カメラ内の画像を送る (Wi-Fi)	206
カレンダー再生	136
機器名称 (Wi-Fi)	210
軌跡合成	182
逆光でしっかり撮る	60
逆光でふんわり撮る	60
逆光補正	46
記録画素数	141
記録可能時間 (動画撮影時)	22
記録可能枚数	21
記録枠表示	160
クイックメニュー	38
クイック AF	153
クオリティ	141
クリアレタッチ	183
クリエイティブコントロールメニュー	62
クリエイティブコントロールモード	62
クリエイティブ動画メニュー	67
クリエイティブ動画モード	67
グループ画像	137
クロスフィルター	64
クロスプロセス	64
言語設定	171
光学ズーム	117
個人認証	162
子どもをかわいく撮る	60
コマ撮りアニメ	111
コマ撮りアニメ作成	187
コントラスト	143
コントロールダイヤル	30、42
コントロールリング	30、42

さ行

再生..... 132
 再生ズーム..... 135
 再生メニュー..... 175
 再生モード..... 177
 彩度..... 143
 サイレントモード..... 147
 撮影中に画像を送る (Wi-Fi)..... 205
 撮影メニュー..... 140
 撮影 / 再生切換..... 40、41
 三脚..... 236
 サンシャイン..... 64、65
 残枚数 / 残時間切換..... 160
 シーンガイドモード..... 59
 シーン切換..... 59
 ジオラマ..... 64、65
 色調..... 143
 自動画像転送..... 201
 自動時刻合わせ..... 202
 自動シーン判別..... 45
 自動電源 OFF..... 169
 自動電源 OFF (Wi-Fi)..... 169
 自分撮り..... 49、161
 絞り優先 AE モード..... 55
 シャープネス..... 143
 シャッター半押しリリース..... 153
 シャッター半押し AF..... 153
 シャッター方式..... 148
 シャッター優先 AE モード..... 55
 シャッターリモコン..... 199
 充電..... 14
 消去..... 138
 シルキーモノクローム..... 63
 人物..... 142
 人物の肌をきれいに撮る..... 60
 人物をきれいに撮る..... 60
 スイーツをかわいく撮る..... 61
 水準器..... 32
 水準器調整..... 174
 水面をキラキラ撮る..... 61
 ズーム..... 26、117
 ズームバック..... 27
 ズームマイク..... 151

ズームマクロ撮影..... 83
 ズームレバー..... 26、156
 スタンダード (フォトスタイル)..... 142
 ステップズーム..... 156
 スナップムービー..... 130
 スポーツをきれいに撮る..... 61
 スポット測光..... 145
 スマートフォンとつないで使う..... 197
 スマートフォンに画像を送る..... 207
 スライドショー..... 176
 スライドフォトセレクト画面..... 98
 設定リセット..... 173
 セットアップメニュー..... 165
 セピア..... 63
 ゼブラパターン表示..... 159
 セルフタイマー..... 108
 セルフタイマー自動解除..... 161
 センターマーカー表示..... 158
 操作ロック..... 40
 操作ロック設定..... 156
 送信サイズ..... 206
 送信ファイル形式..... 206
 測光モード..... 145
 ソフトフォーカス..... 64

た行

タイトル入力..... 178
 ダイナミックモノクローム..... 63
 ダイヤル操作ガイド..... 156
 ダイレクトフォーカス移動..... 154
 タッチシャッター..... 34
 タッチズーム..... 120
 タッチ設定..... 156
 タッチタブ..... 156
 タッチパネル..... 33
 タッチ AE..... 35
 タッチ AF..... 34、80、82、156
 縦位置検出機能..... 24
 縦位置自動回転..... 188
 ダビング..... 211、218
 中央重点測光..... 145
 超解像..... 146
 追尾 (AF)..... 76

露付き	10
低照度 AF	72
デジタルズーム	119
手ブレ補正	115
デモモード	174
テレビ再生	211、212
テレビ接続設定	171
電源ボタン (起動時)	169
電子音	168
電子シャッター	148
トイフォト	64
トイポップ	64
動画傾き補正	150
動画から写真を作成	134
動画記録中の赤枠表示	160
動画再生	133
動画撮影	29、40、67、125
動画撮影中に写真を撮影する	129
動画の縦位置情報	161
動画分割	187
動画ボタン	29、125
動画メニュー	150
動画露出設定	67
時計設定	23
ドライブモード	92
トラベル日付	167
トリミング (切抜き)	186

な行

ナチュラル	142
認証情報	174
認証情報編集	178
ネットワークアドレス表示	210
ネットワーク設定リセット	173
ノイズリダクション	143

は行

バージョン表示	171
ハイキー	63
ハイスピード動画	68
ハイダイナミック	63
ハイライト表示	158

パソコンに画像を残す	214
発光禁止	121、122
バッテリー	14、235
花をふんわり撮る	61
番号リセット	173
ハンドストラップ	13
ピーキング	84、157
ピエラリンク	171、213
比較明合成	181
ヒストグラム表示	158
ピント	28、72、84、128
ピント送り	131
ピンポイント AF 設定	154
ピンポイント (AF)	79
ファイル番号	172、173、217、224
ファンクションボタン	39
ファンタジー	64
フィルター効果	62、143、144
フィルター設定	144
フィルターなし同時記録	62、145
風景	142
風景をきれいに撮る	60
フェード	130
フォーカスエリア選択	40
フォーカス合成	106
フォーカスセレクト	105
フォーカスセレクト撮影	104
フォーカスモード	72、83、84
フォーカス/リリース優先	155
フォーマット	21
フォトスタイル	142
フォルダー番号	172、173、217、224
フォルダー/ファイル設定	172
ブラケット撮影	113
フラッシュ	45、121
フラッシュ光量調整	124
フラッシュモード	121
ブリーチバイパス	64
フリッカー軽減	150
プレビューモード	57
プログラムシフト	54
プログラム AE モード	54
プロテクト	177

プロフィール設定.....	164
ボケ味コントロール.....	48、66
ポップ.....	63
ほのほのした雰囲気では撮る.....	60
ホワイトバランス.....	89
ホワイトバランス微調整.....	90
ホワイトバランスブラケット.....	91

ま行

マーカー.....	100
マイメニュー設定.....	174
マクロ撮影.....	83
マニュアルフォーカス.....	84
マニュアル露出モード.....	56
マルチ再生.....	135
マルチ測光.....	145
メカシャッター.....	148
メニューガイド.....	160
文字入力.....	43
文字焼き込み.....	184
モニター.....	221
モニター輝度.....	170
モニター自動 OFF.....	169
モニター調整.....	170
モニター表示速度.....	170
モノクローム.....	63、142
モノクロで撮る.....	61
モノクロライブビュー.....	157

や行

夜景をアーティストティックに撮る.....	61
夜景を暖かく撮る.....	61
夜景をきれいに撮る.....	61
夜景を手持ちで撮る.....	61
夜景をバックに人物をきれいに撮る.....	61
夕焼けを印象的に撮る.....	61
夕焼けを幻想的に撮る.....	60
夜空をクールに撮る.....	61

ら行

ラフモノクローム.....	63
リサイズ (縮小).....	185
リモート起動.....	197
リモート撮影.....	198
リモート優先操作設定.....	198
料理をおいしそうに撮る.....	61
履歴から接続する (Wi-Fi).....	208
リング/ダイヤル設定.....	42
レーティング.....	177
レトロ.....	63
連写.....	93
連写速度.....	93
レンズ.....	234
レンズ位置メモリー.....	161
レンズ収納.....	161
ローキー.....	63
露出ブラケット.....	114
露出補正.....	87
露出補正画面の操作.....	155
露出補正リセット.....	153
露出メーター.....	159

わ行

ワールドタイム.....	166
ワンプッシュ AE.....	58
ワンポイントカラー.....	64、65

英数字

1 点 (AF).....	79
1 枚消去.....	138
49 点 (AF).....	77
4K セルフィー.....	52
4K 動画.....	125、127、211
4K フォト.....	95
4K フォト一括保存.....	181
4K プリ連写.....	95、96
4K ライブクローズ.....	69
4K 連写.....	95、96
4K 連写ファイル.....	96、97
4K 連写 (広角).....	52
4K 連写 (S/S).....	95、96

5 軸ハイブリッド手ブレ補正	116	クイックメニュー	
AC アダプター	16、220、235	Q.MENU.....	38
AF 補助光	154	RAW.....	141
AF マクロ撮影	83	RAW 現像	179
AF 連続動作 (動画撮影時)	128	SD スピードクラス	20
AFC	73、128	UHS スピードクラス	20
AFF	73、128	USB 接続ケーブル	16、216
AF-ON	86	Wi-Fi	167、189
AFS	73、128	Wi-Fi 機能ロック	210
AFS/AFF/AFC	73	Wi-Fi 設定	210
AF/AE ロック	86	WIRELESS 接続ランプ	168、190
AF/AE ロック維持	153		
AF/AE ロック切換	86		
AF+AE	82		
AF+MF	155		
Bluetooth	168、189		
CLUB Panasonic 登録	165		
DCF 規格	132		
EX 光学ズーム	117		
<small>ファンクション</small> Fn ボタン設定	39		
HDAVI <small>コントロール</small> Control™	213		
HDMI 出力解像度 (再生時)	171		
HDMI マイクロケーブル	211 ~ 213		
HDR	149		
i 手持ち夜景	46		
iA ズーム	118		
iD レンジコントロール	146		
iHDR	47		
Image App	192		
iOS	192		
IP アドレス	210		
ISO オート上限設定 (写真)	146		
ISO オート上限設定 (動画)	67		
ISO 感度	88		
ISO 感度ステップ	153		
i.ISO (インテリジェント ISO)	88		
MAC アドレス	210		
MF	84		
MF アシスト	84、155		
MF アシスト表示	155		
MF ガイド	84、159		
MP4	127		
PHOTOfunSTUDIO	214		

